

高千穂町文化財調査報告書 第12集

い わ と ご か む ら
岩戸五ヶ村遺跡

2000年3月

宮崎県西臼杵郡高千穂町教育委員会

いわとごかむら
岩戸五ヶ村遺跡

2000年3月

宮崎県西臼杵郡高千穂町教育委員会

序

高千穂町は、古事記・日本書紀・風土記などの「神話と伝説の町」をはじめ、高千穂高校インターハイ男女アベック優勝以来の「剣道の町」、年間観光客120万人と宮崎県内第1位の「観光の町」で有名ですが、このたび新たなキャッチフレーズが誕生しました。「出湯の町～高千穂町～」です。

高千穂町では竹下登首相時代の「ふるさと創世」資金でヘリコプターによる温泉探査を行い、岩戸五ヶ村地区でボーリングを開始し、温泉湧出に成功しました。ところが、温泉館建設予定地が文化財保護法の「周知の遺跡」であったため、事前に埋蔵文化財の発掘調査を実施しました。

発掘調査の結果、縄文時代早期の集石遺構と弥生時代の竪穴住居跡2軒を検出しました。

なお、調査に際しては、当時、高千穂町には文化財専門職員が未採用であったため、宮崎県教育委員会文化課より竹井(旧姓:戸高)眞知子主任主事に調査をお願いしました。

現在、温泉館入口には、有田焼の陶板に写真とイラストと説明を焼きつけた看板を設置しており、温泉館を訪れた方々にも、貴重な文化財について知っていただくようPRしているところです。

本報告書が学校教育や社会教育の現場で幅広く活用されますことを願っています。

平成12年3月

高千穂町教育長 **出口 哲郎**

総目次

序・総目次	3
図・表目次	4～5
例言	5～6
第1章 調査に至る経過	7
第2章 遺跡の位置と環境	7～9
第3章 遺構	10～16
第4章 遺物	16～59
第5章 まとめ	59～60
SUMMARY	60
遺物観察表	61～80
図版編	81～110
自然遺物編	111～123
報告書抄録	125

図・表目次

第1図	岩戸五ヶ村遺跡周辺の主要遺跡分布地図(縮尺=1/25,000).....	8
第2図	岩戸五ヶ村遺跡調査地点位置図.....	10
第3図	岩戸五ヶ村遺跡土層模式図.....	11
第4図	岩戸五ヶ村遺跡調査区実測図.....	12
第5図	岩戸五ヶ村遺跡1号竪穴住居跡実測図.....	13
第6図	岩戸五ヶ村遺跡2号竪穴住居跡実測図.....	14
第7図	岩戸五ヶ村遺跡1～3号土壇実測図.....	15
第8図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その1).....	19
第9図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その2).....	20
第10図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その3).....	21
第11図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その4).....	22
第12図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その5).....	23
第13図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その6).....	24
第14図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その7).....	25
第15図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その8).....	26
第16図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その9).....	27
第17図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その10).....	28
第18図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その11).....	29
第19図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その12).....	30
第20図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その13).....	31
第21図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その14).....	32
第22図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その15).....	33
第23図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その16).....	34
第24図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その17).....	35
第25図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その18).....	36
第26図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その19).....	37
第27図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その20).....	38
第28図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その21).....	39
第29図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その22).....	40
第30図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その23).....	41
第31図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その24).....	42
第32図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その25).....	43
第33図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その26).....	44

第34図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その27).....	45
第35図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その28).....	46
第36図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その29).....	47
第37図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その30).....	48
第38図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その31).....	49
第39図	岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その32).....	50
第40図	岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その1).....	51
第41図	岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その2).....	52
第42図	岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その3).....	53
第43図	岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その4).....	54
第44図	岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その5).....	55
第45図	岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その6).....	56
第46図	岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その7).....	57
第47図	岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その8).....	58
第1表	岩戸五ヶ村遺跡周辺の主要遺跡地名表.....	9
第2表	集石遺構一覧表.....	11
第3表	竪穴住居一覧表.....	16
第4表	土壌一覧表.....	16
第5表	岩戸五ヶ村遺跡出土縄文土器の分類(その1).....	17
第6表	岩戸五ヶ村遺跡出土縄文土器の分類(その2).....	18
第7表	岩戸五ヶ村遺跡出土弥生土器の分類.....	18
第8表	岩戸五ヶ村遺跡出土石器の分類.....	18

例言

1. この報告書は、高千穂町教育委員会が平成4年度に実施した高千穂町大字岩戸字才原所在の「岩戸五ヶ村遺跡」の報告書である。

2. 調査期間と調査関係者は下記のとおりである。

【調査期間】 発掘調査＝平成4年7月20日～11月24日

整理作業＝平成4年11月25日～平成7年3月31日

執筆及び報告書刊行＝平成11年4月1日～平成12年3月31日

【調査主体】 高千穂町教育委員会 社会教育課 文化財係

教育長 安田繁 (平成4～5年度)

出口哲郎 (平成6年度～11年度)

教育次長 久我道雄 (平成4年度)

戸高昭十（平成5年度）
 奈須印史（平成6～9年度）
 甲斐榮夫（平成10～11年度）

社会教育課長 興梠 初（平成4年度）
 河内和郷（平成5～6年度）
 花田忠則（平成7～8年度）
 工藤忠則（平成9～10年度）
 飯干金利（平成11年度）

課長補佐 工藤元生（平成4年度）
 興梠政則（平成5～6年度）
 興梠勝春（平成7～8年度）
 田尻隆介（平成9～11年度）

係 長 興梠満広（平成4年度）
 田尻隆介（平成5～11年度、内9～11年度は兼務）

主任主事 田尻隆介（平成4年度）
 緒方俊輔（平成7～11年度）

主 事 緒方俊輔（平成5～6年度）

【発掘調査担当】主 事 竹井(旧姓:戸高)眞知子(宮崎県教育委員会文化課文化財調査第1係、平成11年度現在は宮崎県埋蔵文化財センター主任主事)

【発掘調査作業員】上村綾子・内倉ヒサ子・佐藤ケイ子・木村節子・工藤ノブ子・工藤チガ子・工藤三女・工藤紀子・甲斐冬子・徳永ヤスエ・土持幸子・富高チホ・工藤香緒里・甲斐小百合・伊木ツル子・佐藤恭子・佐藤ユミ子・佐藤則子・佐藤キヨ子・工藤壹孝・工藤ヤス子・工藤ツユ子・工藤明子・工藤マチ子・工藤トミエ・甲斐秀子・本田洋子・甲斐易・佐藤孝允・横手浩二郎(鹿児島大学学生、現在鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財研究員)・西谷彰(鹿児島大学学生、現在・大阪大学大学院生)・古澤生(鹿児島大学学生、現在・鹿児島市立ふるさと考古歴史館学芸室主事)

【遺物整理作業員】興梠任香・佐藤ひろ子・伊木ツル子・都啓子・甲斐ミチ子・矢野真由美

3. 遺構の実測・写真撮影は竹井(旧姓:戸高)眞知子、遺物の実測・写真撮影は緒方俊輔、本書の編集は現場担当の竹井と協議の上、緒方が行った。遺跡の空中写真はスカイサーベイに委託した。自然遺物の分析は、株式会社・古環境研究所(<http://www5a.biglobe.ne.jp/~kokankyo/index.htm>)に委託した。

4. 出土遺物及び図面・写真は、高千穂町コミュニティセンター(歴史民俗資料館)で保管している。

〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井1515番地
 高千穂町コミュニティセンター(歴史民俗資料館)
 (Tel.0982-72-6139 Fax.0982-72-6140)
 入館料:大人・高生200円、小・中生100円(20名以上の団体は50円引き)
 休館日:年末・年始(12月29日～1月3日)、薫蒸作業のため西暦奇数年に4日間臨時休館。

5. 集石遺構の一部は天岩戸温泉の前に復原展示している。

第1章 調査に至る経過

商工観光課より町営の温泉施設「森の温泉館(仮称)」建設の話があり、予定地がこれまでも土器や石器が多数出土していた地点であったため、県教育委員会に調査員の派遣を要請し、高千穂町教育委員会の予算でトレンチ法による試掘調査を実施した。

その結果、遺構・遺物の密度の高い地区を本調査対象地に設定し、グリッド法による発掘調査を行った。

なお測量については、近くに国土座標点が無かったため任意座標とし、標高についても開発部局が測量基準として打った杭をそのまま仮のベンチマーク(300m)として利用した。したがって現時点では、国土座標には乗っていない。

調査地はクマザサや広葉樹が茂る丘陵地帯で、人力と一部、重機も使用して表土除去作業を行った。クマザサの根が深くまで入っていたため、発掘調査当初は土を掘るよりも根を掘る状態であった。

現在の温泉館のある場所(I区)に縄文時代早期の集石遺構12基、現在の駐車場の場所(II区)に弥生時代の土壇3基と竪穴住居跡2軒を検出した。

基本的な層位は、第3図のとおりで、表土の下にアカホヤ火山灰があり、弥生時代や縄文時代後期～晩期の遺物の包含層は、表土とアカホヤ火山灰層の間に存在している。アカホヤ火山灰の下には褐色土層があるが、I区では薄い、II区では厚く、明褐色土の下に暗褐色土がある。その下に薄く始良丹沢火山灰があるが、アカホヤ火山灰よりも残りは悪い。

第2章 遺跡の位置と環境

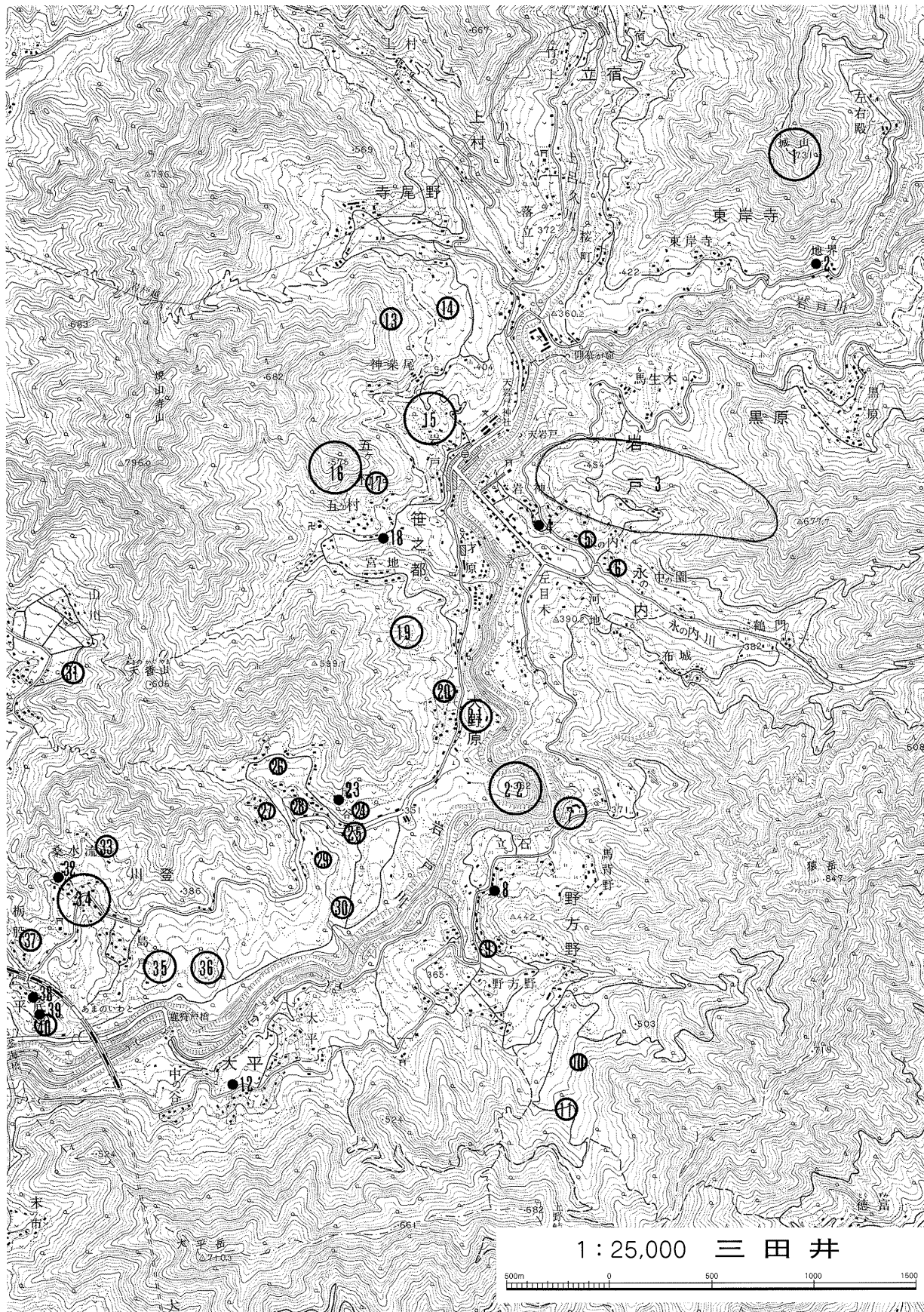
高千穂町内の遺跡については、昭和57年度に三田井・押方・向山地区については遺跡詳細分布調査を実施し、分布地図を作成しているため、周知化が図られているが、その他の地区は未完了であった。平成10年度に田原・河内・五ヶ所地区、平成11年度に上野・下野地区、平成12年度に岩戸・上岩戸地区と順次進めて平成13年度に町内全域の遺跡詳細分布調査報告書を刊行の予定である。

したがって、現在の段階では岩戸五ヶ村遺跡周辺の遺跡の状況はあまりよくわかっていないが、主な遺跡を第1図と第1表に示している。

調査地点は、天香山の中腹より延びた狭小な舌状丘陵の上部平坦面から南面にかけての標高約398～412mの位置にある。大字岩戸の五ヶ村地区では、これまでしばしば遺物が表面採集されており、それらの一部は天岩戸神社徴古館に展示されている。特に縄文早期のものが多い。当遺跡の北側の低い丘陵の斜面(大字岩戸字向久保570の2)には古墳時代の横穴墓も発見されており、県指定の岩戸村1号古墳(横穴墓)として登録されている。現在、畑の土手にあり、羨道は崩壊して玄室と閉塞石のみ残っている。

谷を隔てたすぐ北西の丘陵上には、歳神社があり、早稲田大学安藤更生博士の鑑定によると木製の神像には平安時代中期のものと言われている。^①

町内には約30ヶ所の中世山城が確認されているが、岩戸五ヶ村地区にも「城山(じょんやま)」という地名が残っている。^{②③}



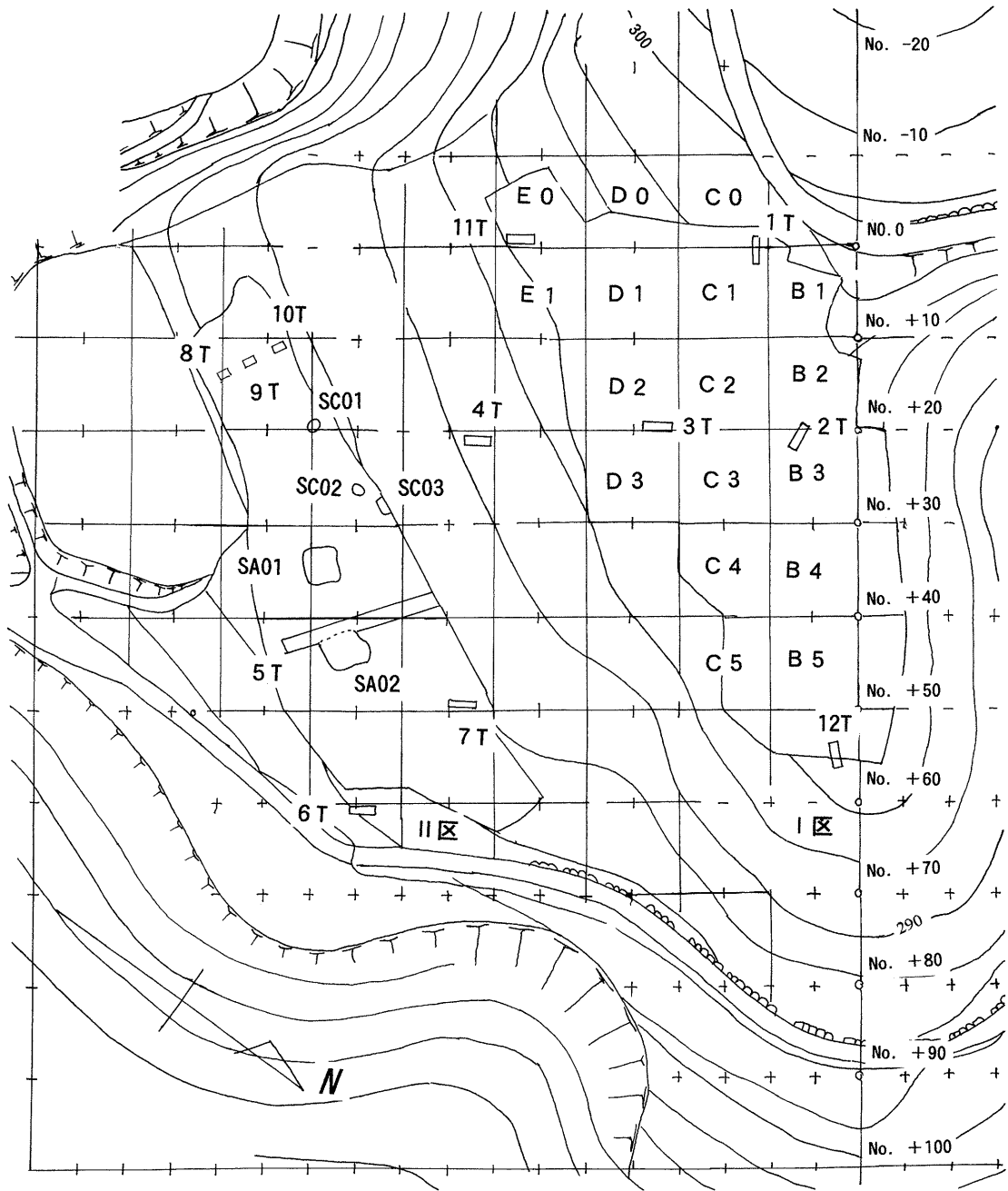
第1図 岩戸五ヶ村遺跡周辺の主要遺跡分布地図 (縮尺=1/25,000)

番号	遺跡名	所在地	時代	性格
1	左右殿城跡	大字岩戸字左右殿	中世	山城
2	岩戸5～6号横穴墓群	大字岩戸字東岸寺	古墳時代	墳墓（横穴墓）
3	永の内城跡	大字岩戸字中の園・有富	中世	山城
4	岩戸2～3号横穴墓群	大字岩戸字岩神上	古墳時代	墳墓（横穴墓）
5	馬場遺跡	大字岩戸字馬場	弥生時代	散布地
6	中ノ園遺跡	大字岩戸字中ノ園	弥生時代	散布地
7	詰の尾羽根陣跡	大字岩戸字土葉美	中世	陣跡
8	岩戸4号横穴墓	大字岩戸字立石	古墳時代	墳墓（横穴墓）
9	極殿遺跡	大字岩戸字極殿	弥生時代	散布地
10	野方野神殿遺跡	大字岩戸字神殿	縄文時代・弥生時代	散布地
11	馬場先遺跡	大字岩戸字馬場先	弥生時代	散布地
12	岩戸1号横穴墓	大字岩戸字中の谷	古墳時代	墳墓（横穴墓）
13	宮ノ平第1遺跡	大字岩戸字宮ノ平	縄文時代	散布地
14	宮ノ平第2遺跡	大字岩戸字宮ノ平	縄文時代	散布地
15	岩戸出城跡	大字岩戸字笹の都	中世	山城
16	城山	大字岩戸字神楽尾・向久保	中世	山城
17	五ヶ村板碑・五輪塔	大字岩戸字五ヶ村	中世	墳墓
18	岩戸1号横穴墓	大字岩戸字向久保	古墳時代	墳墓（横穴墓）
19	岩戸五ヶ村遺跡	大字岩戸字才原	縄文時代・弥生時代	集落
20	大野原遺跡	大字三田井字大野原	縄文時代	落とし穴・散布地
21	古城遺跡	大字三田井字古城	縄文時代・弥生時代	集落
22	龜山城跡	大字三田井字古城	中世	山城
23	高千穂48号古墳	大字三田井字尾谷	古墳時代	墳墓（横穴墓）
24	櫛宜ノ地遺跡	大字岩戸字櫛宜ノ地	縄文時代	散布地
25	梅ノ木原遺跡	大字三田井字梅ノ木原	縄文時代・弥生時代	散布地
26	堂ノ元遺跡	大字三田井字陣内	縄文時代・弥生時代	散布地
27	今村遺跡	大字三田井字今村	縄文時代～古墳時代	散布地
28	尾谷遺跡	大字三田井字尾谷	縄文時代	散布地
29	松ノ原遺跡	大字三田井字松ノ原	縄文時代	散布地
30	長迫遺跡	大字三田井字長迫	縄文時代	散布地
31	柿ノ木水流遺跡	大字三田井字柿ノ木水流	縄文時代	散布地
32	高千穂55号横穴墓	大字三田井字桑水流	古墳時代	墳墓（横穴墓）
33	桑水流遺跡	大字三田井字桑水流	弥生時代	散布地
34	桑水流陣内遺跡	大字三田井字桑水流	中世	館跡
35	尾久保第2遺跡	大字三田井字尾久保	縄文時代・弥生時代	散布地
36	尾久保第1遺跡	大字三田井字尾久保	縄文時代・弥生時代	散布地
37	栃又第2遺跡	大字三田井字栃又	縄文時代	散布地
38	高千穂4号横穴墓	大字三田井字栃又	古墳時代	墳墓（横穴墓）
39	高千穂3号横穴墓	大字三田井字栃又	古墳時代	墳墓（横穴墓）
40	栃又第1遺跡	大字三田井字栃又	縄文時代・弥生時代	散布地

第1表 岩戸五ヶ村遺跡周辺の主要遺跡地名表

《参考文献》

- ①高千穂町教育委員会「高千穂町遺跡詳細分布調査報告書（三田井・押方・向山地区）」1983年
- ②高千穂町教育委員会「セベット遺跡 高千穂町文化財調査報告書第3集」1984年
- ③高千穂町教育委員会「梅ノ木原遺跡 高千穂町文化財調査報告書第4集」1985年
- ④高千穂町教育委員会「陣内遺跡・丸山石棺群・春姫登横穴墓 高千穂町文化財調査報告書第8集」1989年
- ⑤宮崎県教育委員会「宮崎県中近世城館跡緊急分布調査報告書Ⅰ（地名表・分布地図編）」1998年
- ⑥宮崎県教育委員会「宮崎県中近世城館跡緊急分布調査報告書Ⅱ（詳説編）」1999年
- ⑦神道文化会「高千穂 阿蘇」1960年

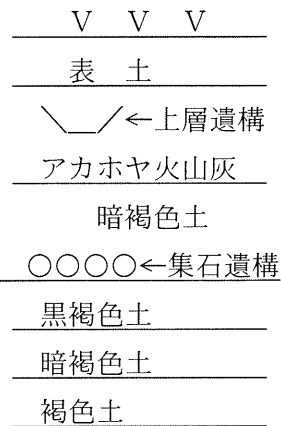


第2図 岩戸五ヶ村遺跡調査地点位置図

第3章 遺構

調査地点は、第2図のとおり I 区とII 区の2ヶ所からなる。

基本層位は、第3図のとおり、表土を除去し、アカホヤ火山灰層をはさんで上と下で弥生時代の竪穴住居跡や土壇などと縄文早期の集石遺構とを検出した。



第3図 岩戸五ヶ村遺跡土層模式図

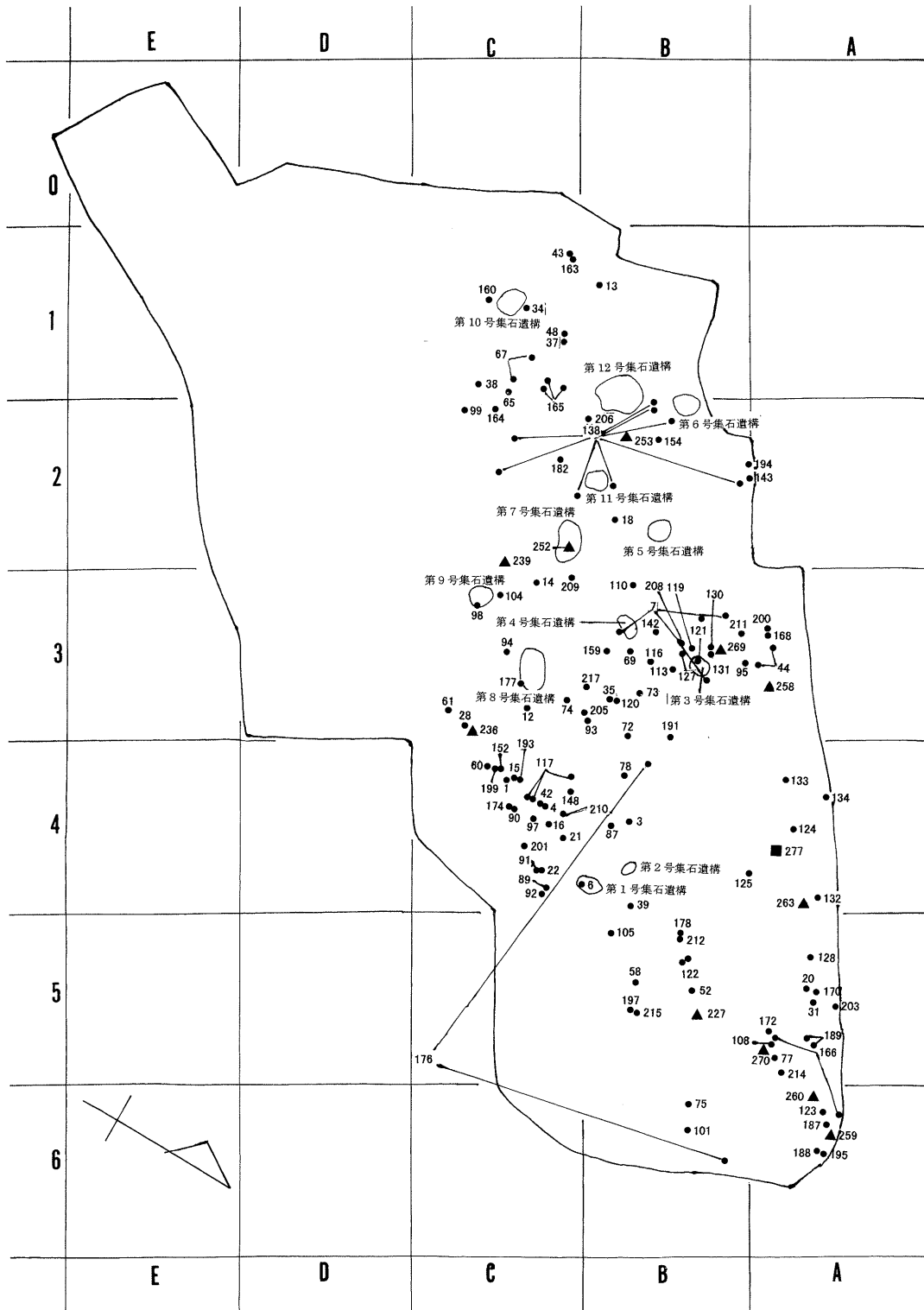
(I 区) 現在、天岩戸温泉館が建っている標高 296 ～ 300 m の高台である。

集石遺構 12 基を検出した。

平成4年当時、集石遺構の実測図作成は今日ほど進んでいなかったため、略測図と写真から数値を第2表にまとめた。台石を伴うものは第3号集石と第11号集石とがある。

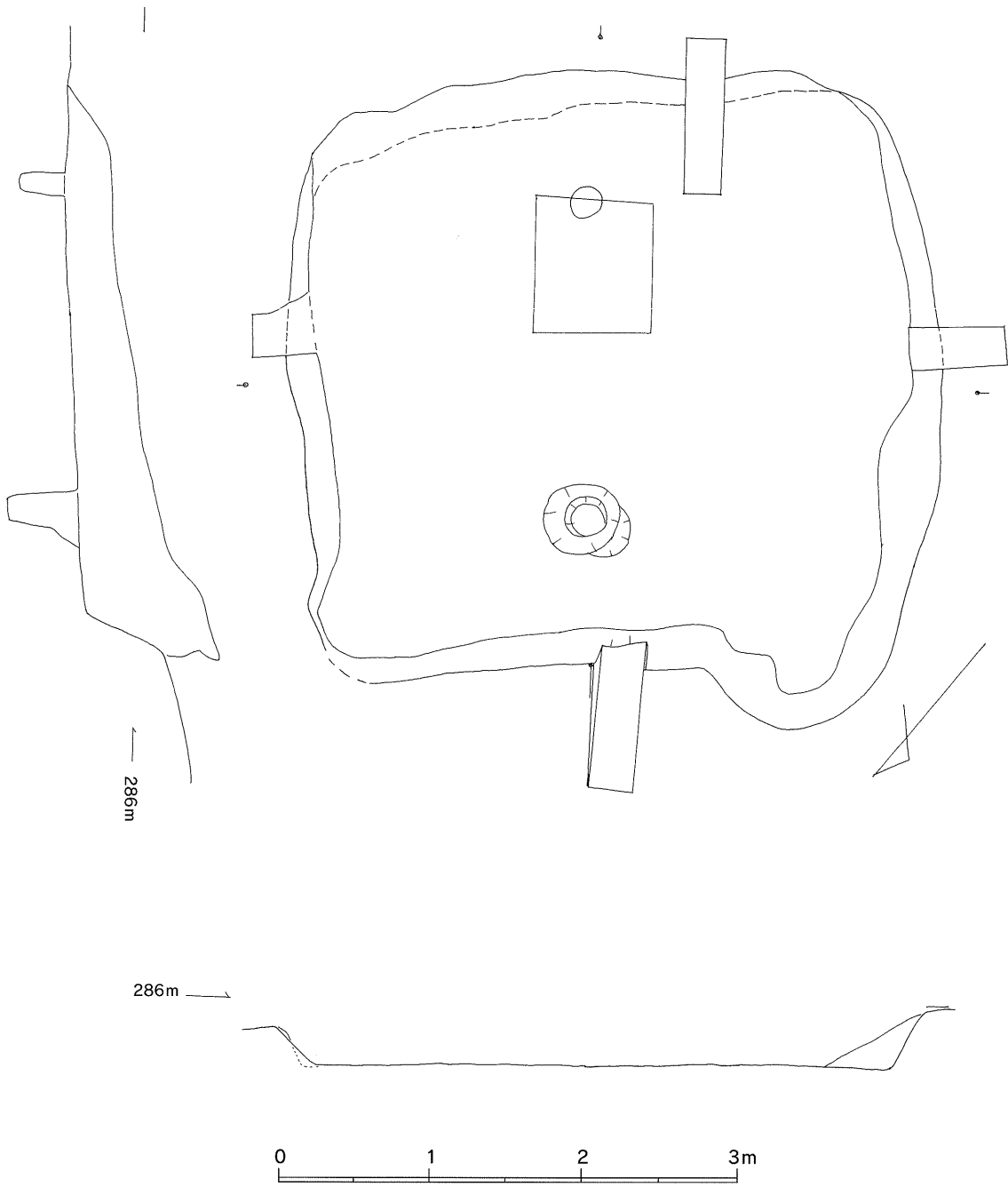
集石遺構番号	地区	長辺	短辺	台石	出土遺物
第1号集石遺構	C4&B4	150	100	無し	縄文土器 (6)
第2号集石遺構	B4	110	70	無し	無し
第3号集石遺構	B3	125	110	有り	縄文土器 (121)
第4号集石遺構	B3	115	95	無し	縄文土器 (7)
第5号集石遺構	B2	160	135	無し	無し
第6号集石遺構	B2	140	110	無し	無し
第7号集石遺構	C2	250	150	無し	打製石器スクレーパー (252)
第8号集石遺構	C3	250	155	無し	縄文土器 (85・126)
第9号集石遺構	C3	135	115	無し	縄文土器 (98)
第10号集石遺構	C1	175	130	無し	無し
第11号集石遺構	B2	140	115	有り	無し
第12号集石遺構	B1&B2	250	210	無し	無し

第2表 集石遺構一覧表

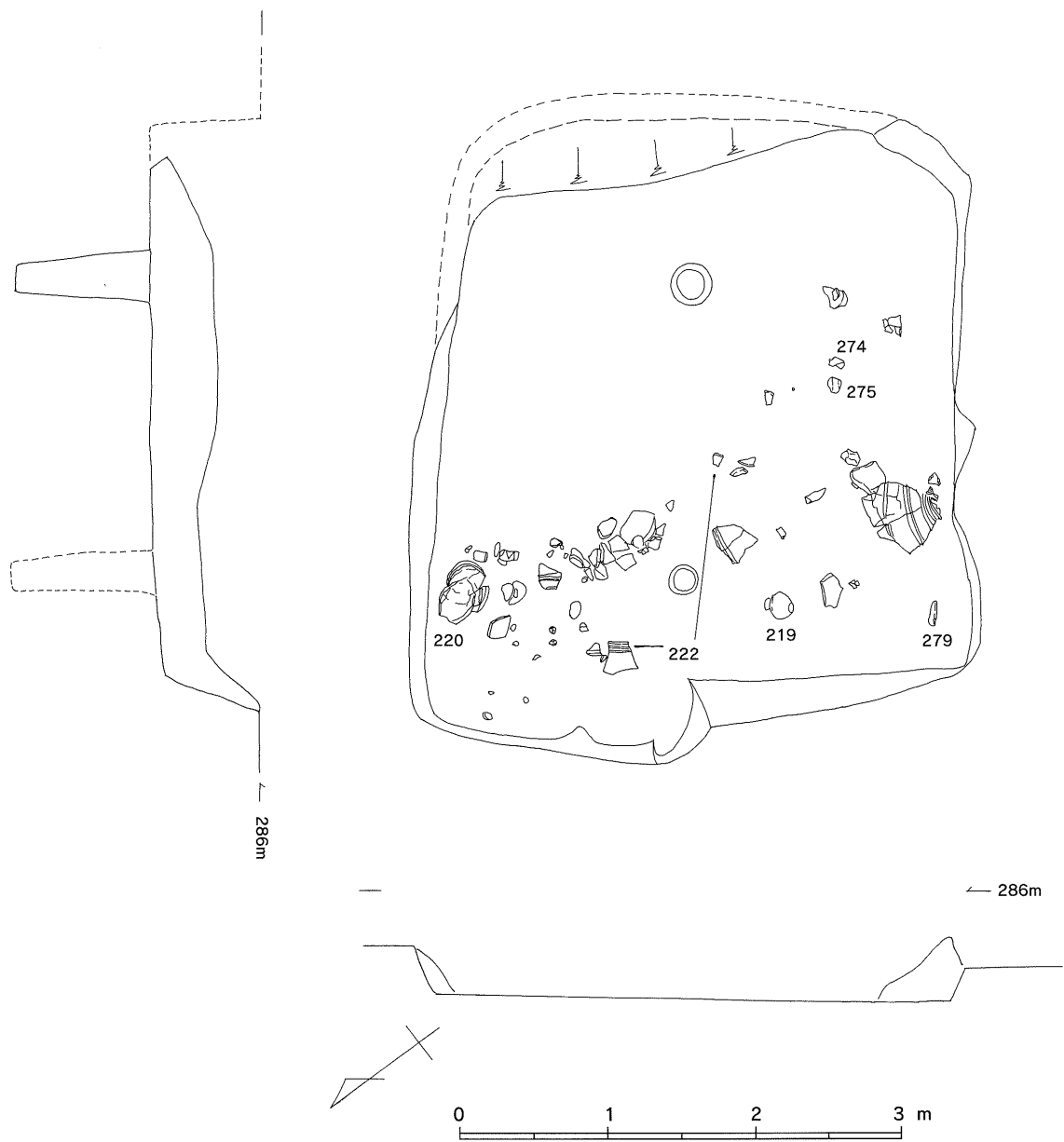


第4図 岩戸五ヶ村遺跡I区遺構実測図

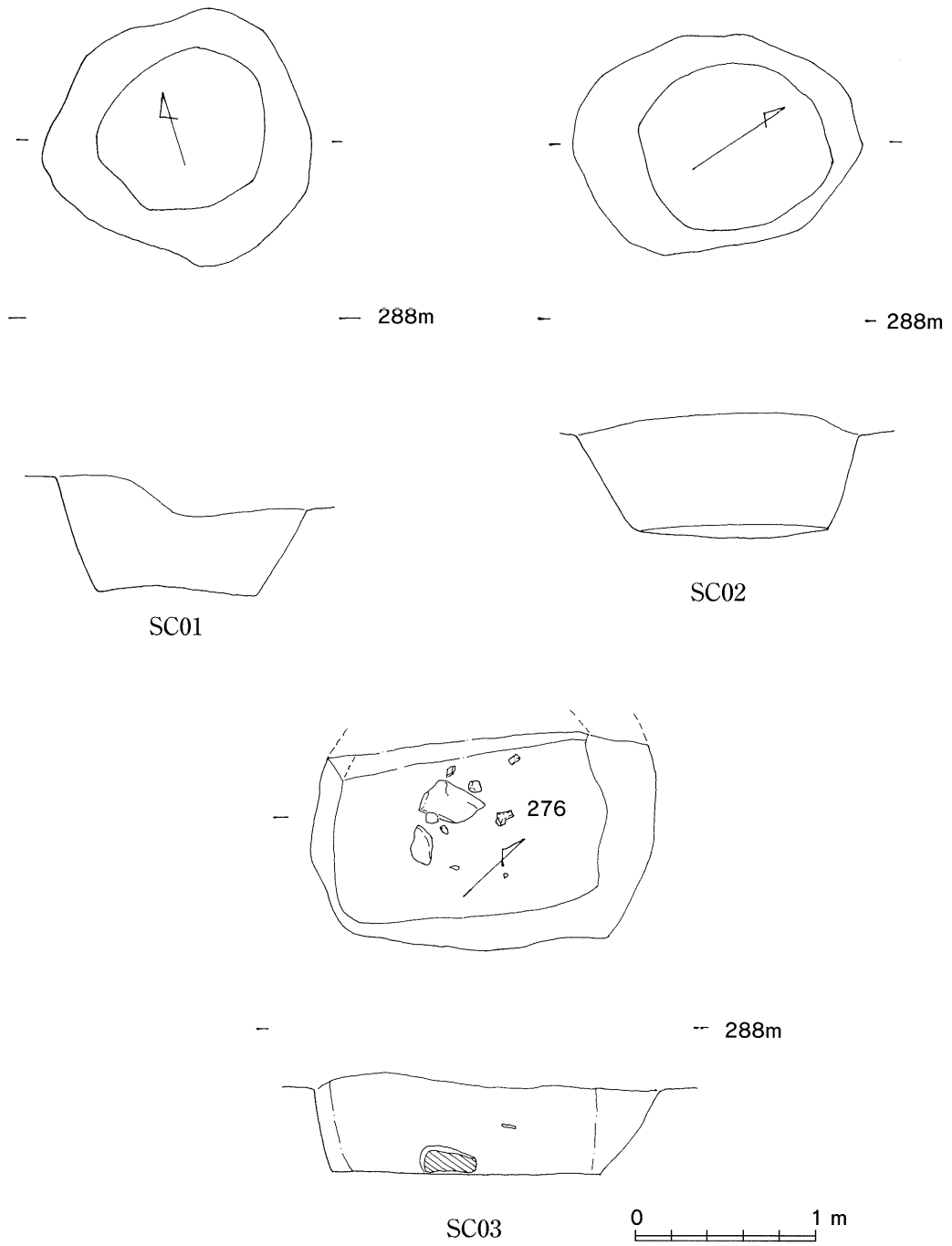
(●は縄文土器、▲は石器、■は土製紡錘車。番号は実測図に対応する。)



第5図 岩戸五ヶ村遺跡1号竪穴住居跡実測図



第6図 岩戸五ヶ村遺跡2号竪穴住居跡実測図



第7図 岩戸五ヶ村遺跡1～3号土壌実測図

(II区) 現在、天岩戸温泉の下の駐車場で標高 288 ～ 290 mの緩かな斜面である。

竪穴住居跡 2軒を検出した。

竪穴住居番号	規模	柱穴	出土遺物
1号竪穴住居 (SA1)	東西 3.9 + α m 南北 4.25 m 深さの残りの良い方は 45.3cm 残る。	2本柱 直径 24 ～ 28cm 深さ 25 ～ 45cm	弥生土器(223) 石器(235)
2号竪穴住居 (SA2)	東西 4.0 m 南北 3.7 m 深さの残りの良い方は 69.8 cm 残る。	2本柱 直径 16 ～ 28cm 深さ 92 ～ 96cm	弥生土器(218 ～ 222・224 ～ 225) 石器(240・246・265・274・275・276)

第3表 竪穴住居一覧表

土壇 3基を検出した。

土壇番号	規模	出土遺物
1号土壇(SC01)	東西 1.5 m × 南北 1.4 m。深さ 62 cm。	縄文土器の細片
2号土壇(SC02)	東西 1.2 m × 南北 1.8 m。深さ 70 cm。	弥生土器の細片
3号土壇(SC03)	東西 1.2 + α m × 南北 1.96 m。深さ 56 cm。	石器(267)

第4表 土壇一覧表

第4章 遺物

土器

縄文土器

縄文土器は、第5～6表に示すように分類できる。およそ早期・前期、後期・晩期の2グループがあり、特に早期後半の手向山式が特徴的である。

弥生土器

弥生土器は、第7表に示すように分類できる。後期前半の資料が特徴的であり、第2号竪穴住居跡からは、工字突帯甕と畿内第IV様式や瀬戸内系の水注土器が共伴しており、地域間交流や土器編年のクロスチェックの上でも重要な資料である。将来、胎土分析など理科学的分析に

	大分類	中分類	小分類	細分類	岩戸五ヶ村遺跡	
押型文 土器	(A) 山形押 型文	(a) 外面の施文方向が横方向	(あ) 両面にあるもの	(ア) 口縁が直立 (イ) 口縁がラップ状に開く	1~4 5~6・37	
			(い) 外面だけにあるもの		該当なし	
			(あ) 両面にあるもの	(ア) 口縁が直立 (イ) 口縁がラップ状に開く	該当なし 7~18	
		(b) 外面の施文方向が縦方向	(い) 外面だけにあるもの	特殊例 (①穿孔があるもの・ ②燃糸文に近い細かい施文) も含む。	19~25	
			(あ) 両面にあるもの		26~36	
			(い) 外面だけにあるもの		38~44	
		(B) 楕円形 押型文	(a) 外面の施文方向が横方向	(あ) 両面にあるもの		該当なし
				(い) 外面だけにあるもの		45~46
				(あ) 両面にあるもの	(ア) 口縁内側は横方向楕円形押型文 (イ) 口縁内側は斜め方向凹線文	47~49 50~51
	(b) 外面の施文方向が縦方向		(い) 外面だけにあるもの		52~55・57~58	
			(あ) 両面にあるもの	(ア) 口縁内側は横方向楕円形押型文 (イ) 口縁内側は斜め方向凹線文	56 該当なし	
			(い) 外面だけにあるもの		59	
	(C) 格子形 押型文	(a) 外面の施文方向が縦方向 (正格子) □	(あ) 両面にあるもの	(ア) 長い柵状文 (イ) 短い柵状文 (ウ) 柵状文が無い	60~61 62 63	
			(い) 外面だけにあるもの		該当なし	
			(あ) 両面にあるもの	(ア) 柵状文 (イ) 柵状文が無い	該当なし 64	
		(b) 外面の施文方向が斜方向 (斜格子) ◇	(い) 外面だけにあるもの		該当なし	
			(あ) 両面にあるもの	(ア) 口縁が直立 (イ) 口縁がラップ状に開く	該当なし 65	
			(い) 外面だけにあるもの	口縁上部に貝殻刻み目文	66	
	(D) 菱形押 型文	(a) 外面の施文方向が縦方向	(あ) 両面にあるもの		該当なし	
			(い) 外面だけにあるもの		67~69	
		(b) 外面の施文方向が斜め方向	(あ) 両面にあるもの (い) 外面だけにあるもの		該当なし 70	
	(E) 単節縄 文によ る押型 文	(a) 外面の施文方向が横方向	(あ) 両面にあるもの		該当なし	
			(い) 外面だけにあるもの		71~72	
			(あ) 両面にあるもの (い) 外面だけにあるもの		73~74	
		(b) 外面の施文方向が縦方向	(あ) 両面にあるもの		75	
			(い) 外面だけにあるもの	(ア) 細かい右下り (イ) 粗い右下り (ウ) 右上り	76~79 80~82 83~84	
			(あ) 両面にあるもの		85	
押型文 系統の 手向山 式土器	(A) 山形押 型文	(a) 外面の施文方向が縦方向+波状口縁		86~88		
		(b) 外面の施文方向が横方向+刻み目突帯 外面の施文方向が右下りの単節縄文+刻み目突帯		89~92		
		(c) 外面の施文方向が縦方向+竹管文		93~97		
		(d) 貼付隆起線文+山形押型文				
貝殻文 系統の 塞ノ神 式土器	貝殻腹縁刺突文			98~105		
	貝殻条痕文			106~110		
燃糸文 系統の 塞ノ神 式土器				111~116		
凹線文 +縄文 の塞ノ 神式土 器				117~118		
凹線文 系統の 手向山 式土器	凹線による重弧文			119~121		
	凹線による三角形割付平行線文+刺突文突帯			122・124~126		
天道ヶ 尾式・ 妙見式 土器	凹線による重弧文+3条の刺突文突帯			123		

第5表 岩戸五ヶ村遺跡出土縄文土器の分類 (その1)

	大分類	中分類	小分類	細分類	岩戸五ヶ村遺跡
	条痕文土器				127~134
	曾畑式土器				127~128・142 ~143
	轟式土器	1式			129~137・151
		2式			138~141
	稻荷山式(無文)土器				161・162
	鐘ヶ崎式土器				165~167
	西平式土器	1式			168~172・174
		2式			175
	三万田式土器	1式			該当なし
		2式			182
		3式			178・180・181
		4式			177・179
		5式			176
	御領式土器				190・191・196

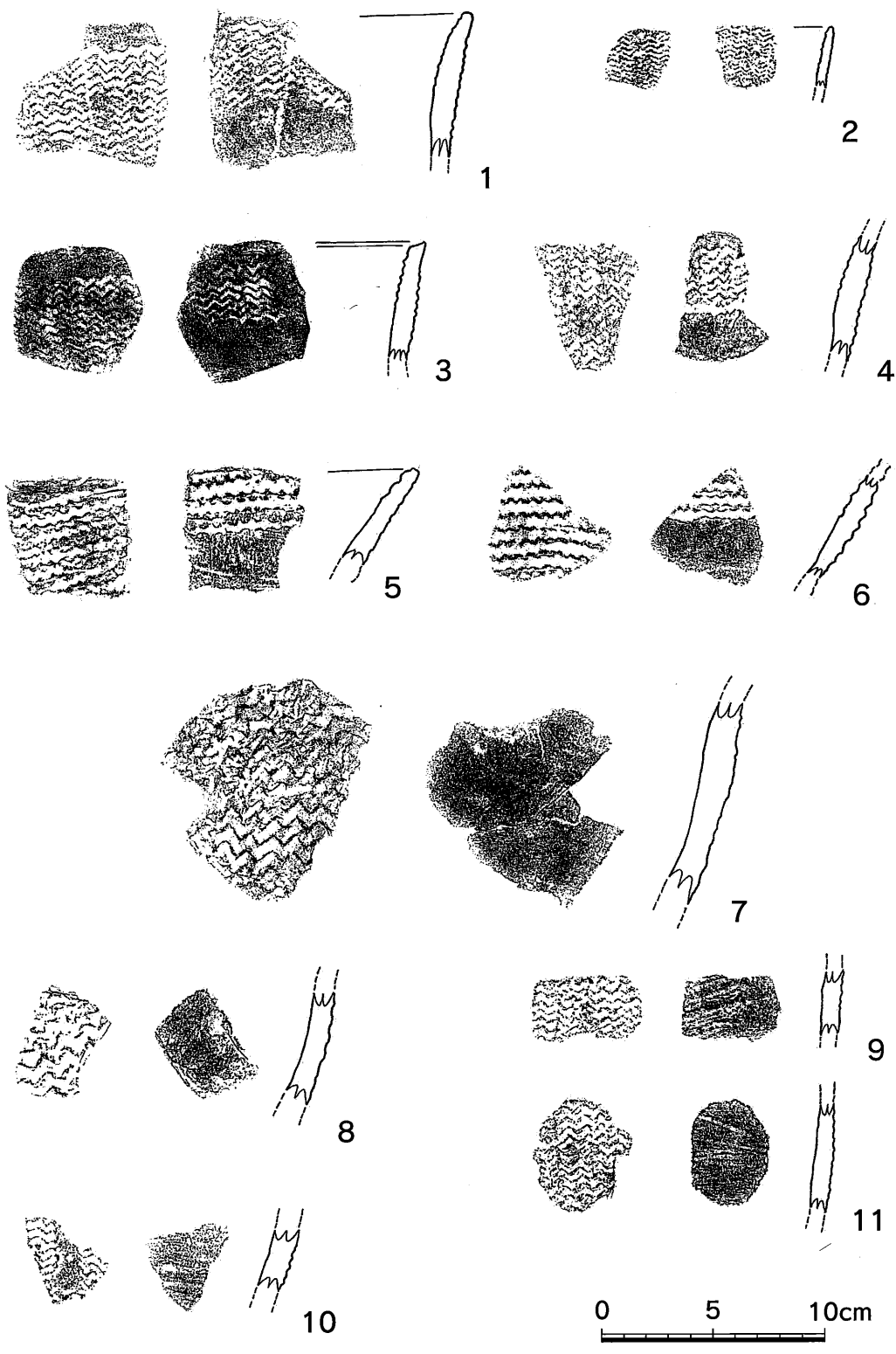
第6表 岩戸五ヶ村遺跡出土縄文土器の分類(その2)

	大分類	中分類	小分類	細分類	岩戸五ヶ村遺跡
甕形土器	突帯有り	エ字突帯なし			218・221
		エ字突帯有り			222
	突帯なし				220
壺形土器	把手有り				219
					225
	把手なし	突帯有り	円形・勾玉浮文あり		224
		突帯なし	長頸をもつもの		223

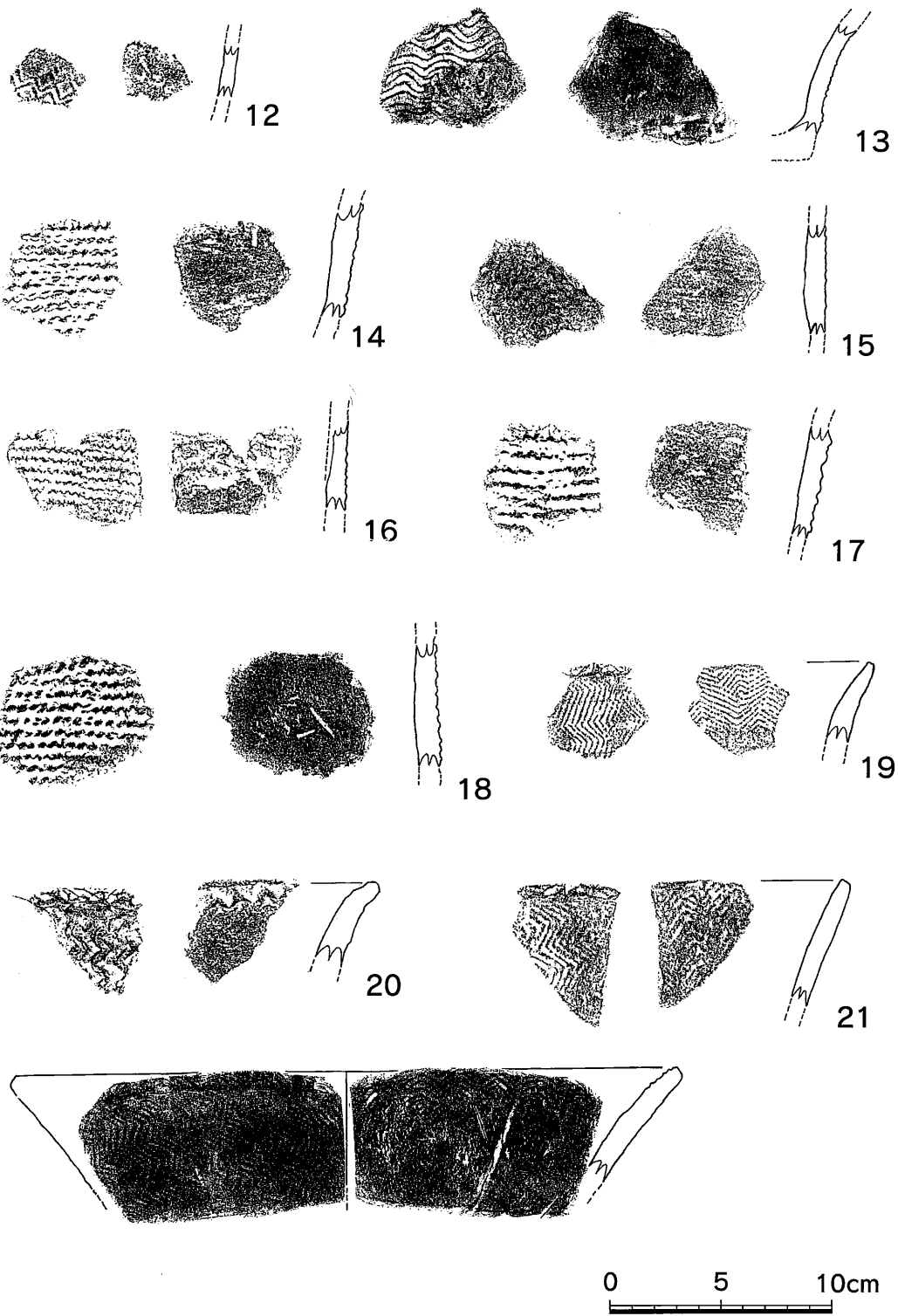
第7表 岩戸五ヶ村遺跡出土弥生土器の分類

	大分類	中分類	小分類	細分類	岩戸五ヶ村遺跡
打製石器	石鏃	抉りあり			226~238
		抉り無し			239~246
	削器				247
	石錐				248
	横型石匙				250~258
	スクレーパー				259~261
	石鎌				262
	石斧				263~268
	磨製石器	石斧			
石鎌					272~275
砥石					276

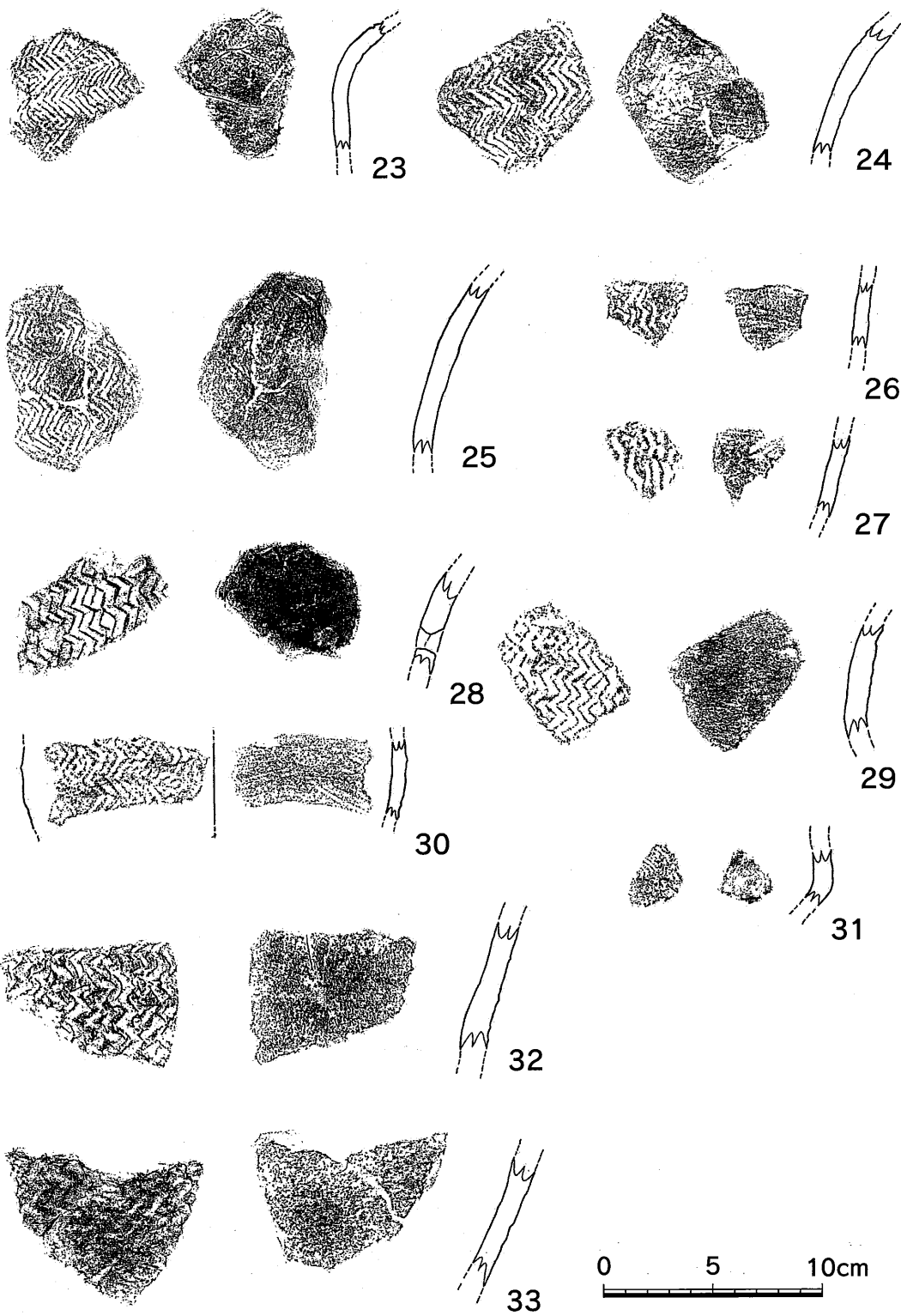
第8表 岩戸五ヶ村遺跡出土石器の分類



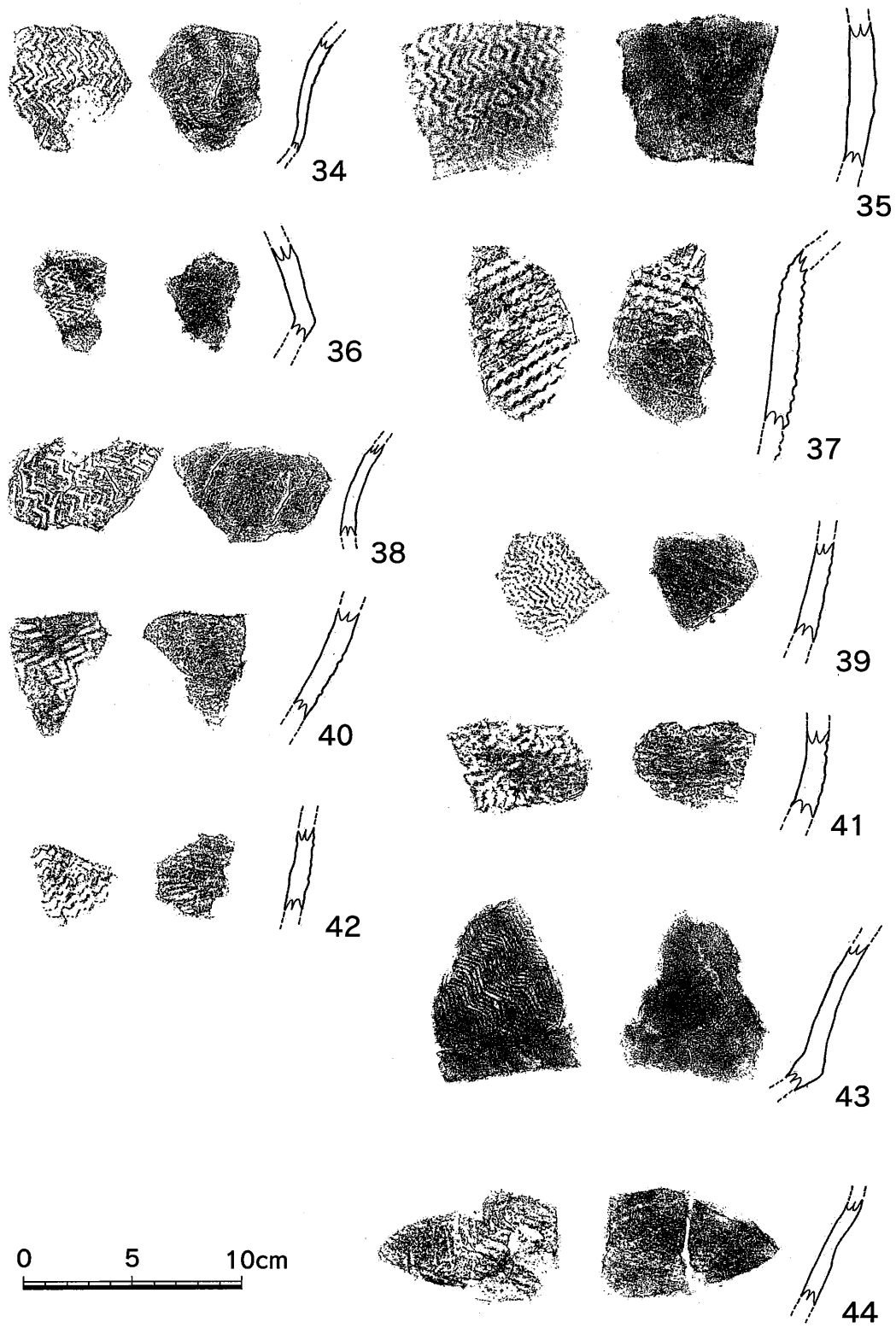
第8図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その1)



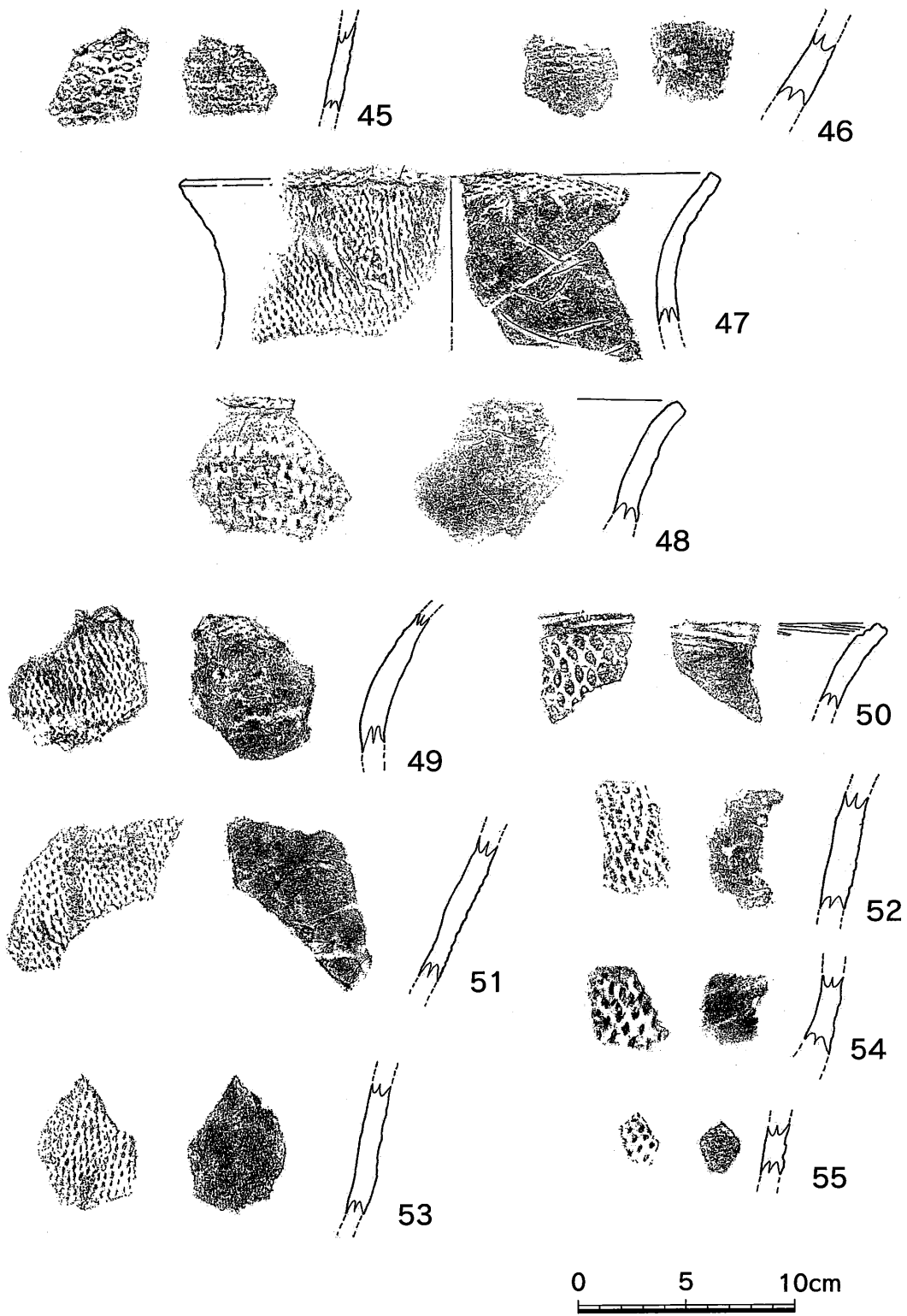
第9図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その2)



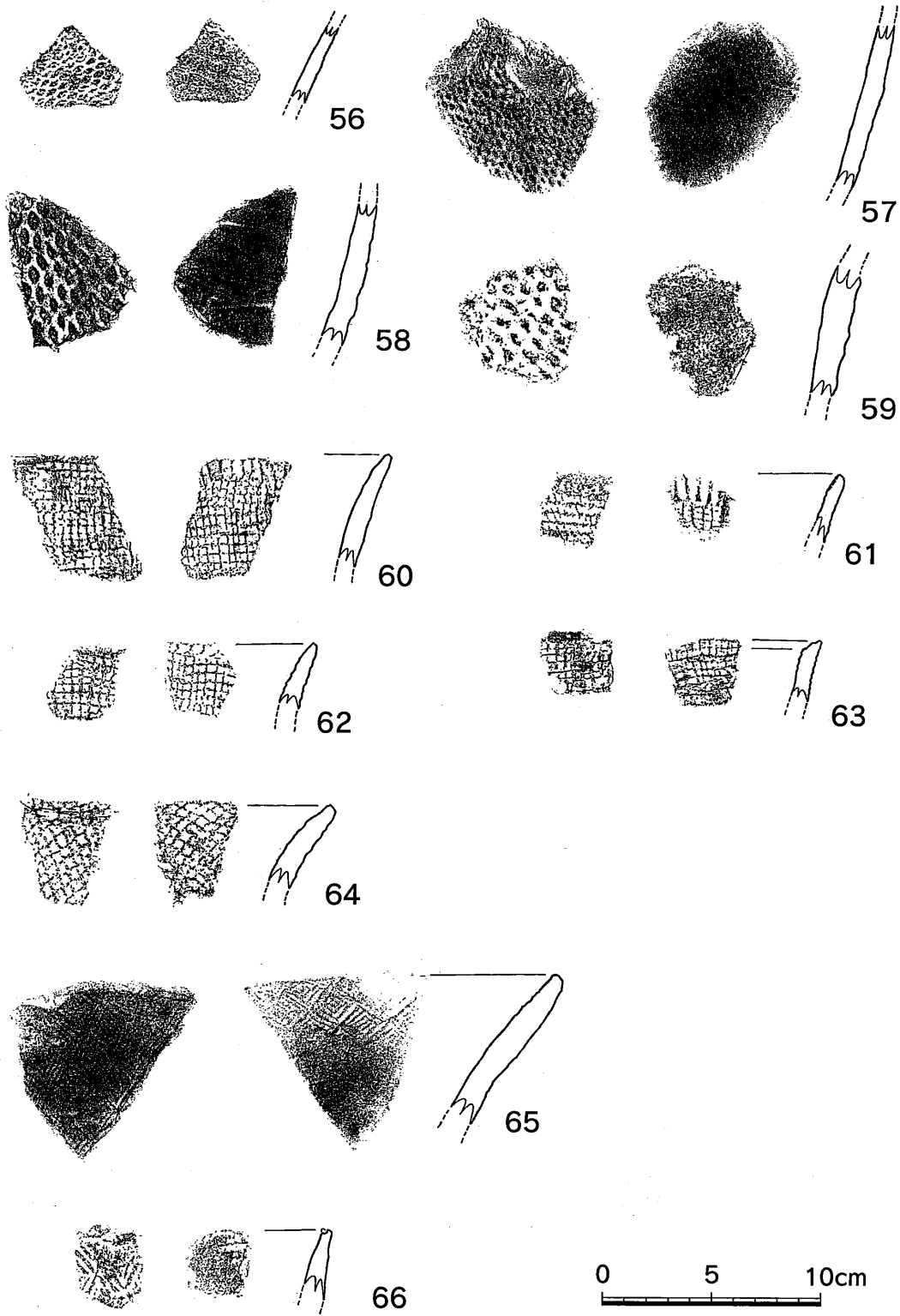
第10図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その3)



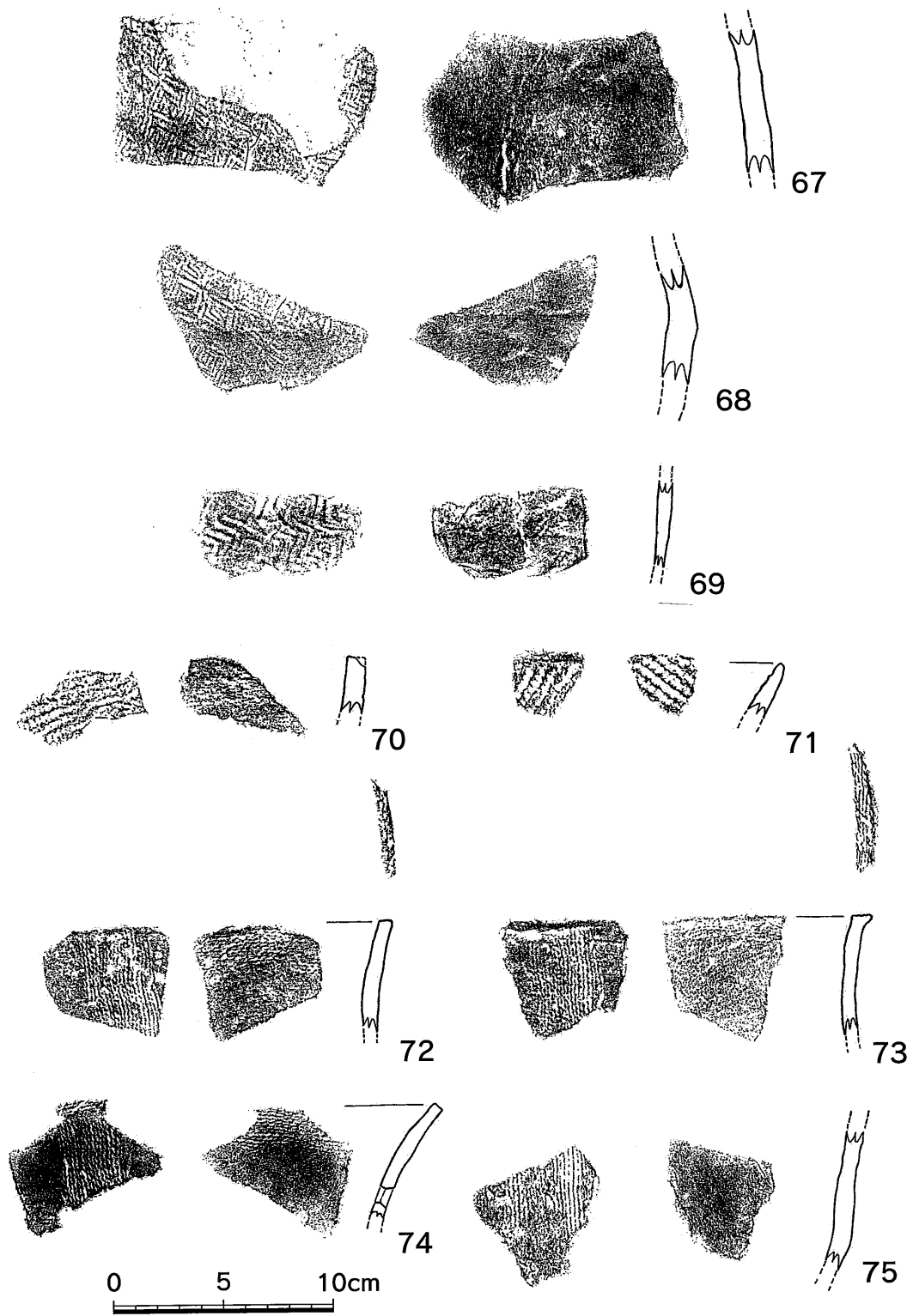
第11図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その4)



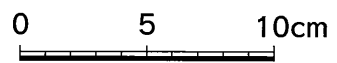
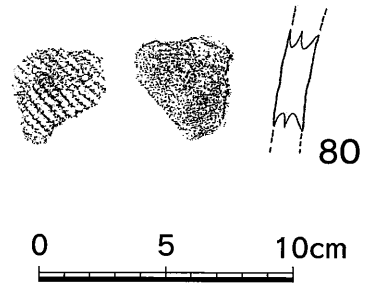
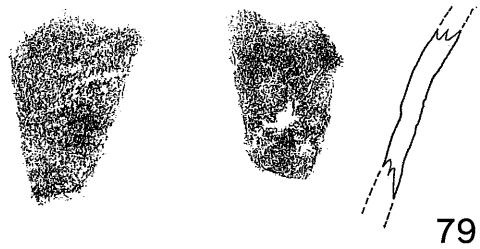
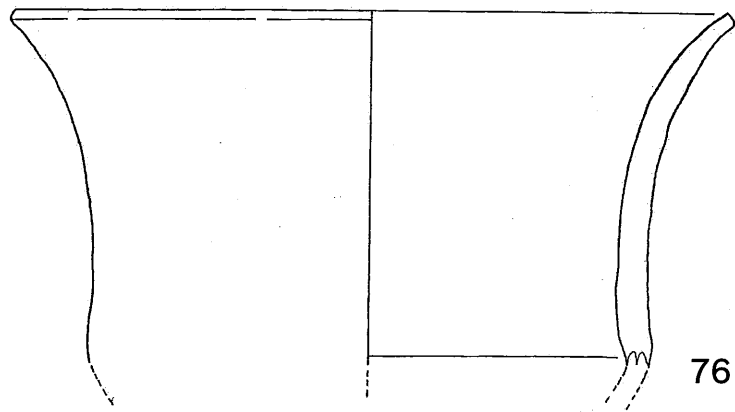
第12図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その5)



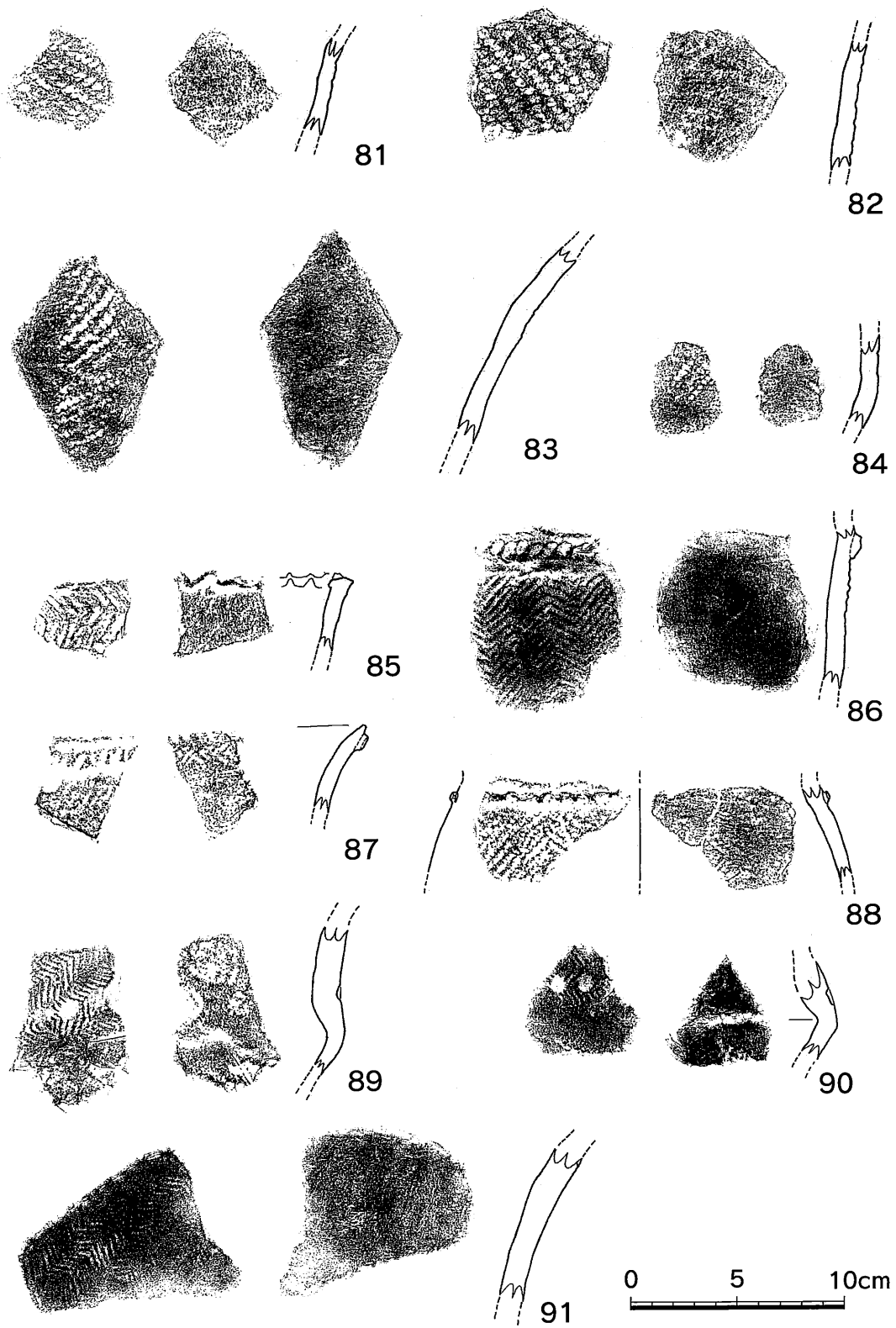
第13図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その6)



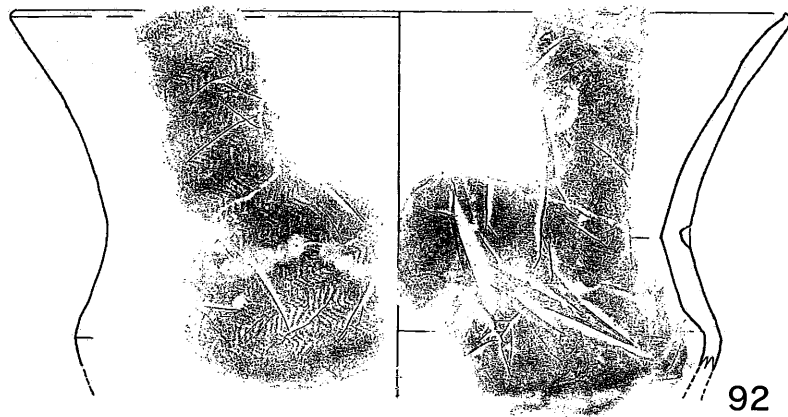
第14図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その7)



第15図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その8)



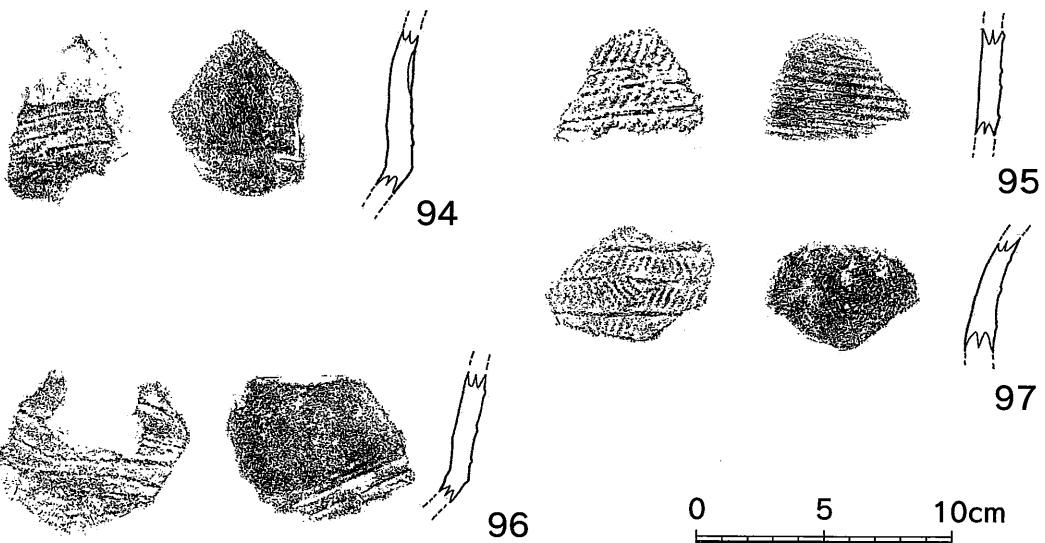
第16図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その9)



0 10cm



93



94

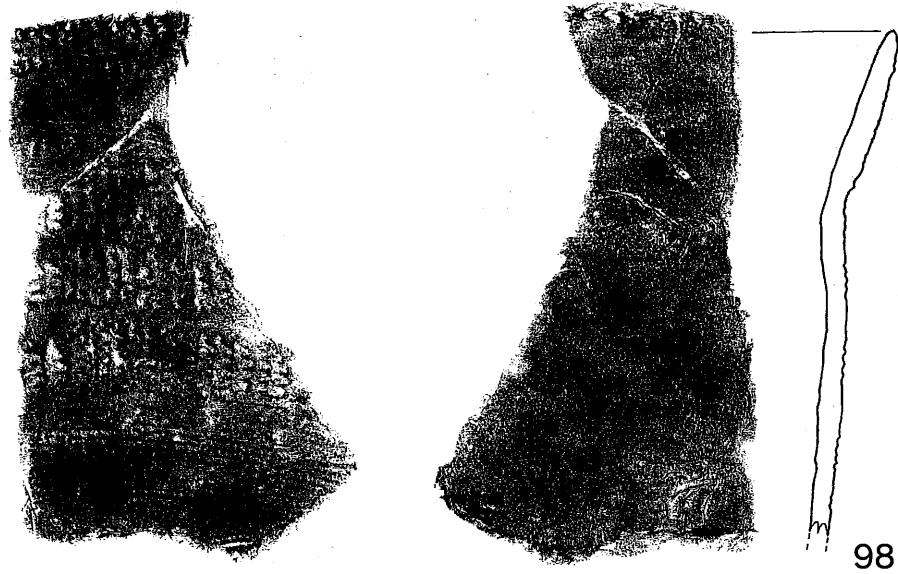
95

97

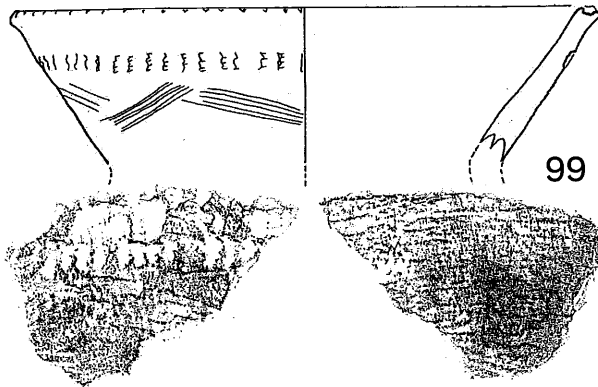
96

0 5 10cm

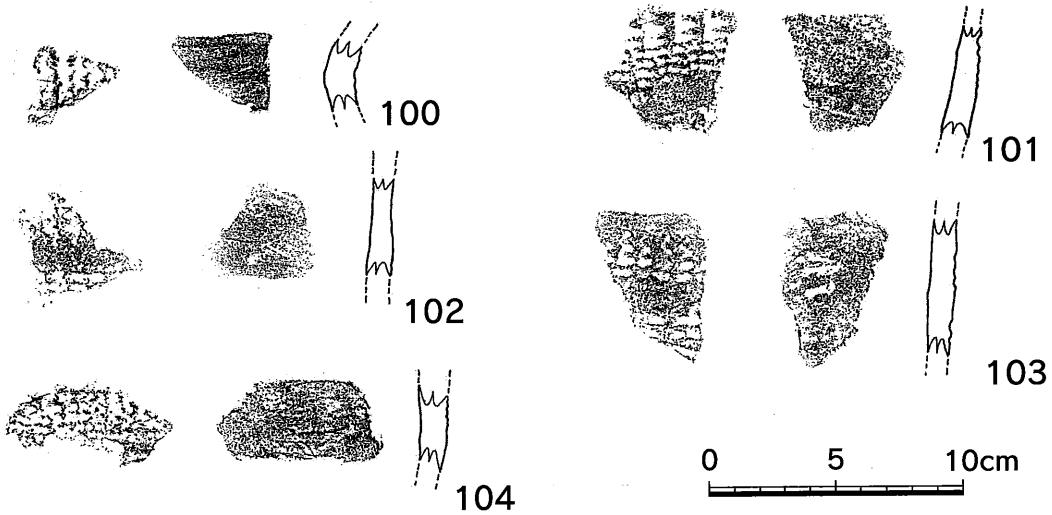
第17図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その10)



98

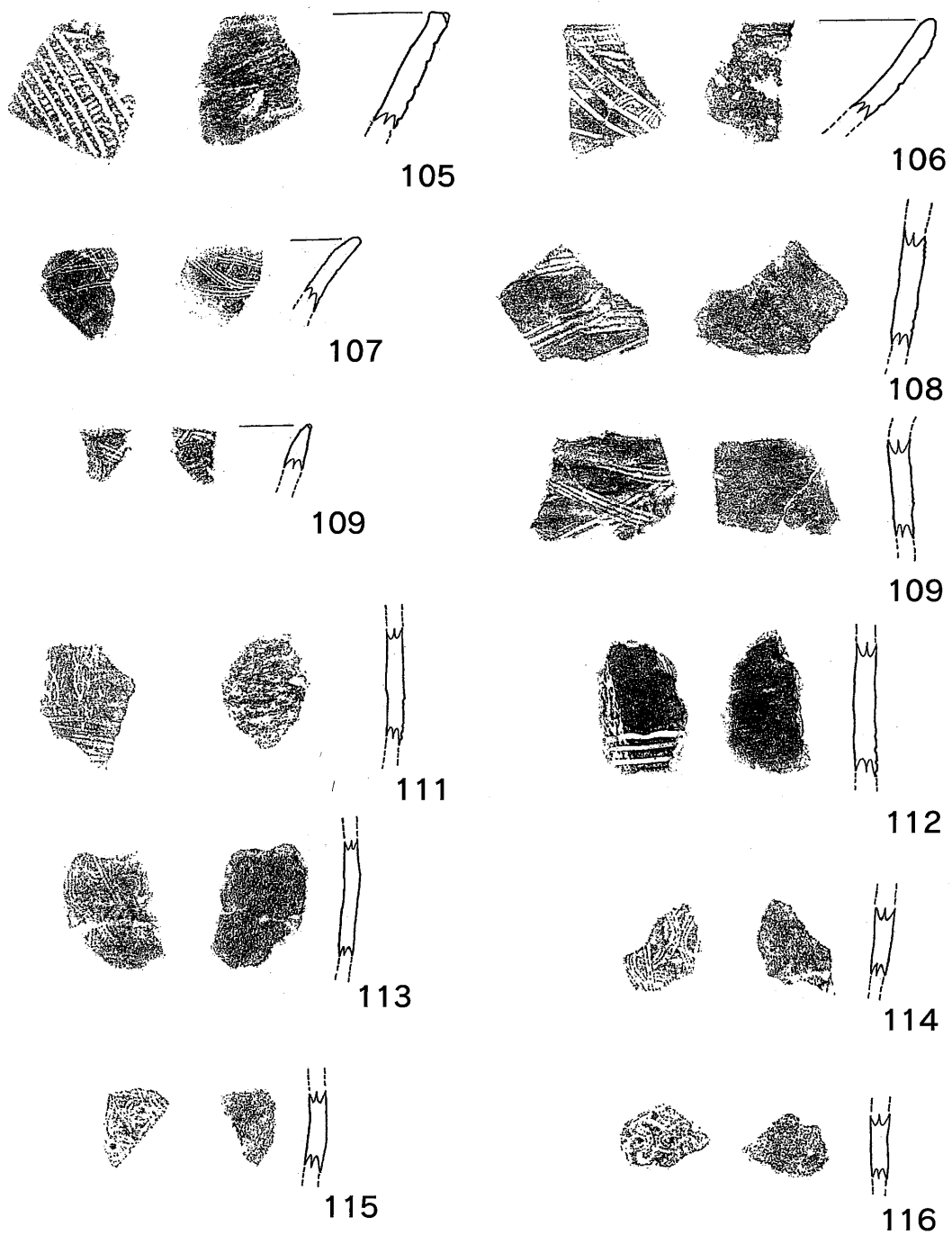


99

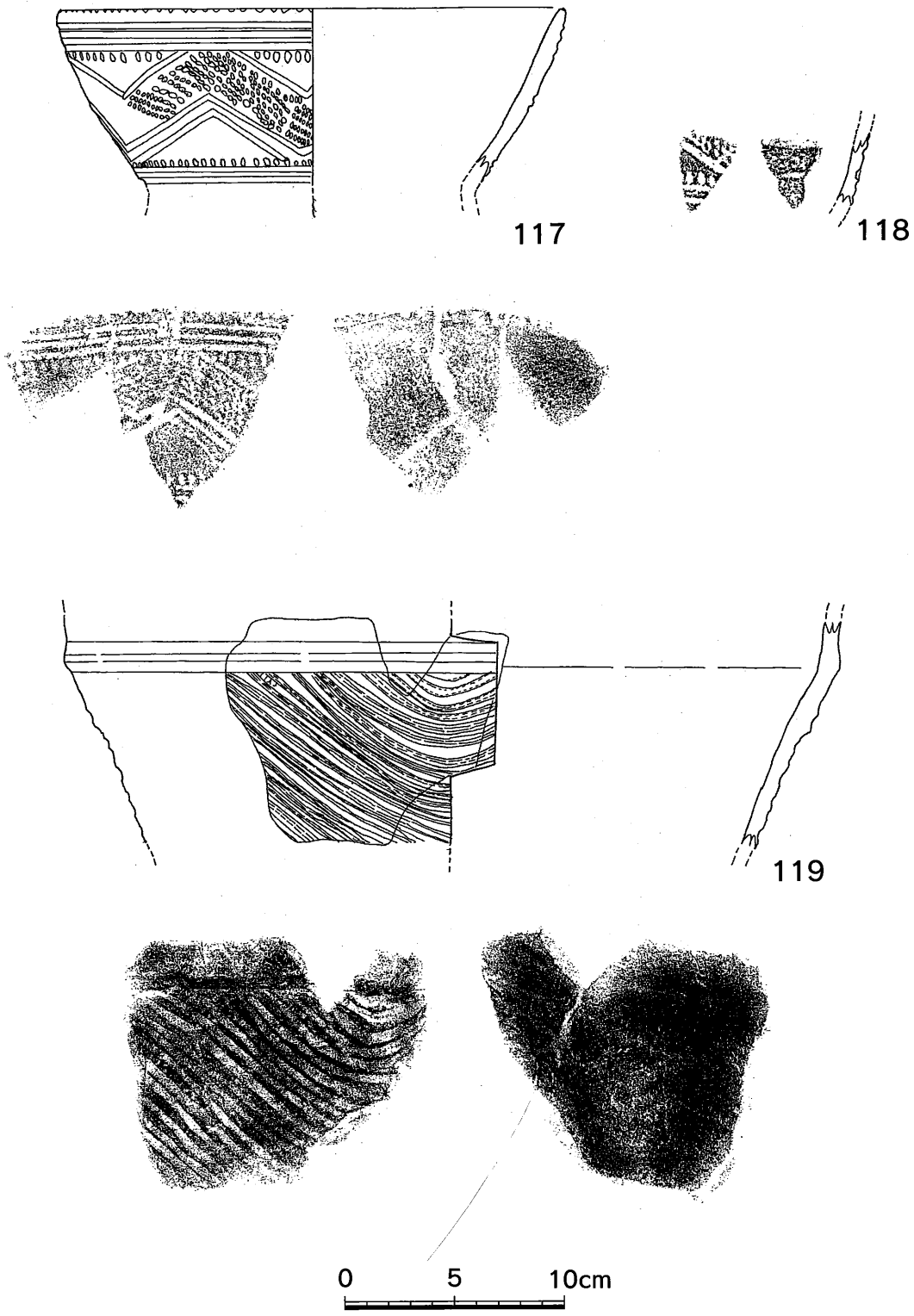


0 5 10cm

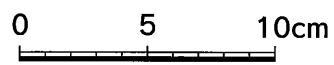
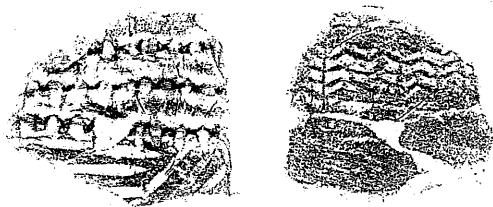
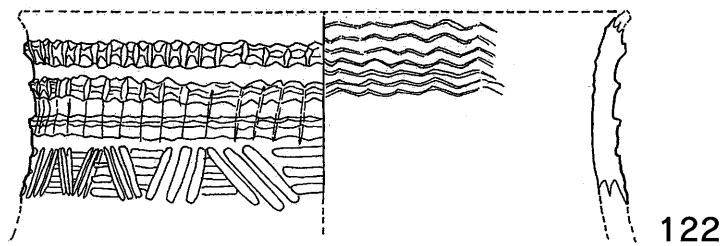
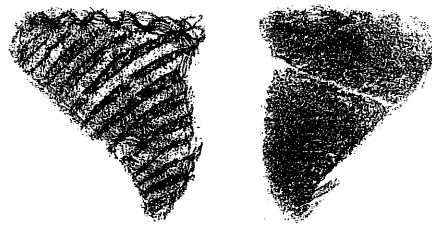
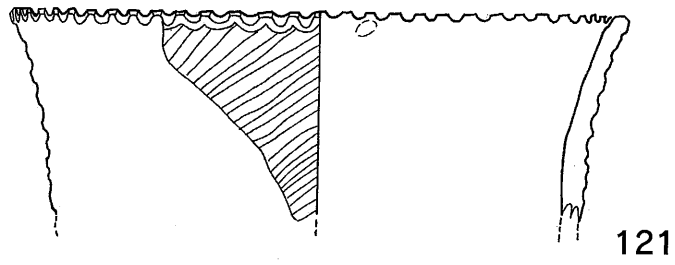
第18図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その11)



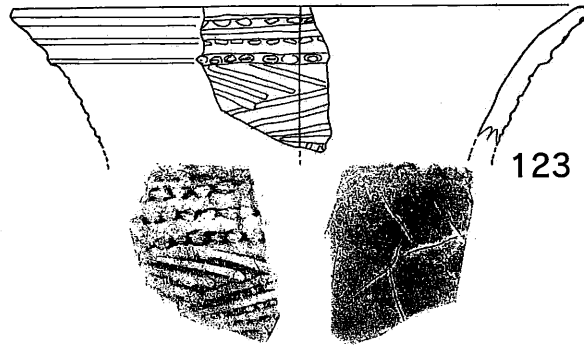
第19図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その12)



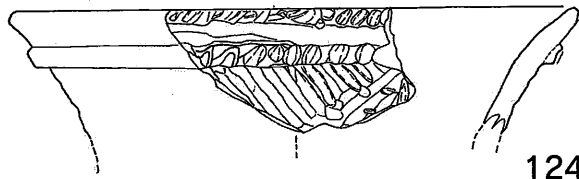
第20図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その13)



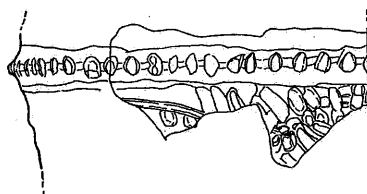
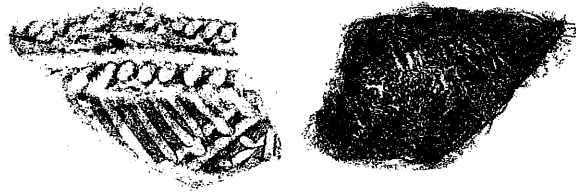
第21図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その14)



123



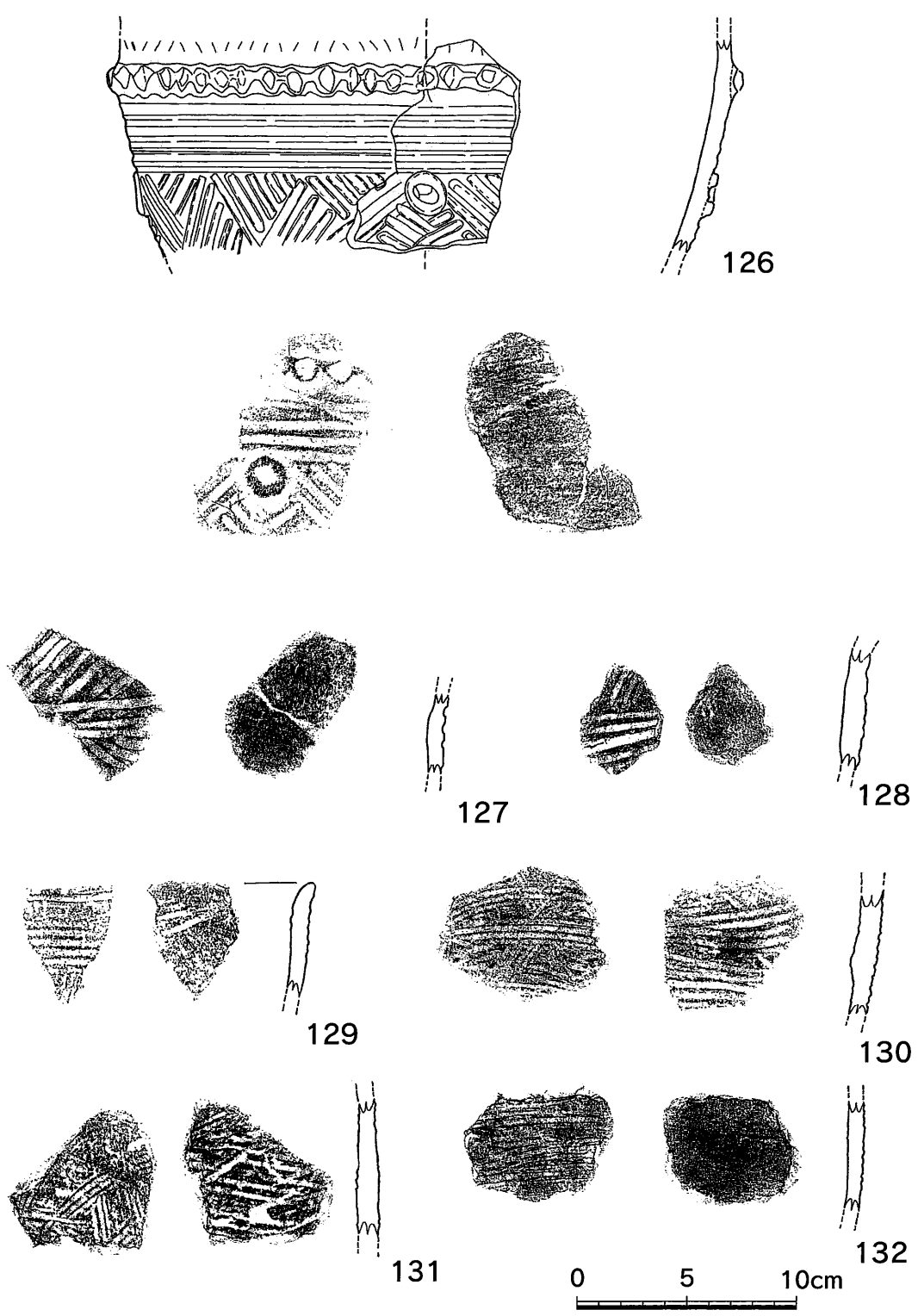
124



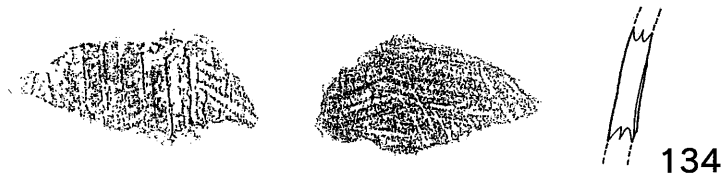
125

0 5 10cm

第22図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その15)

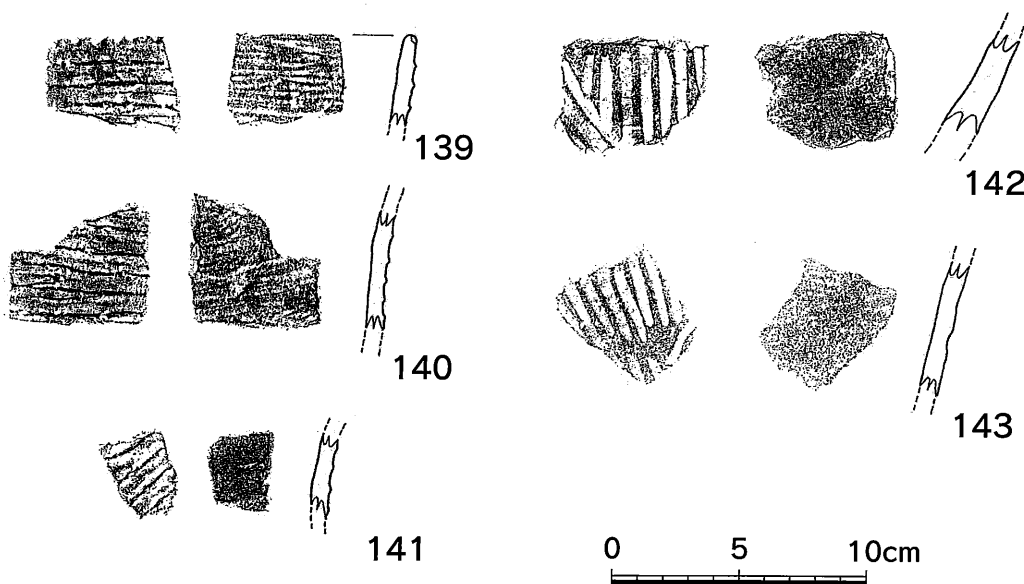
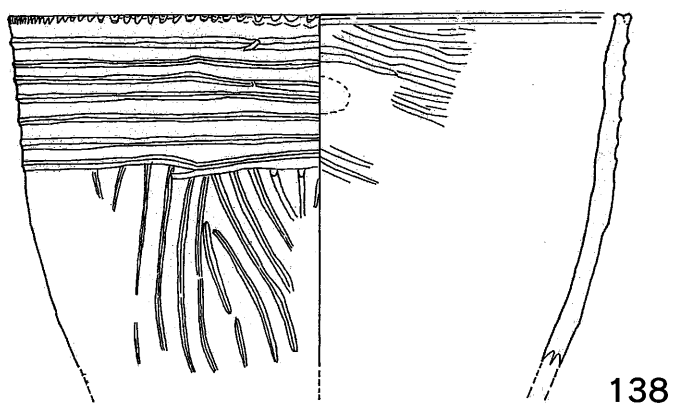


第23図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その16)

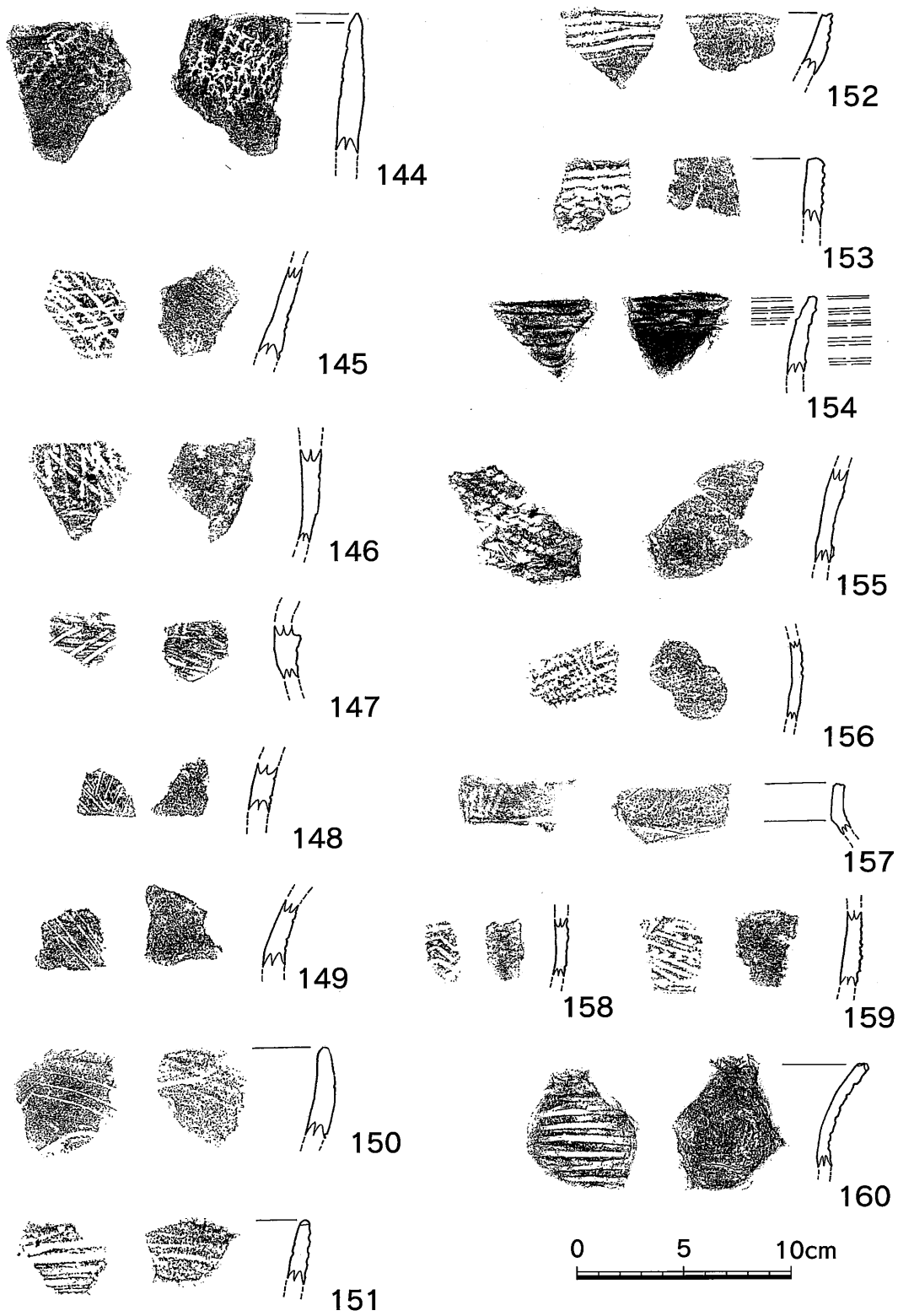


0 5 10cm

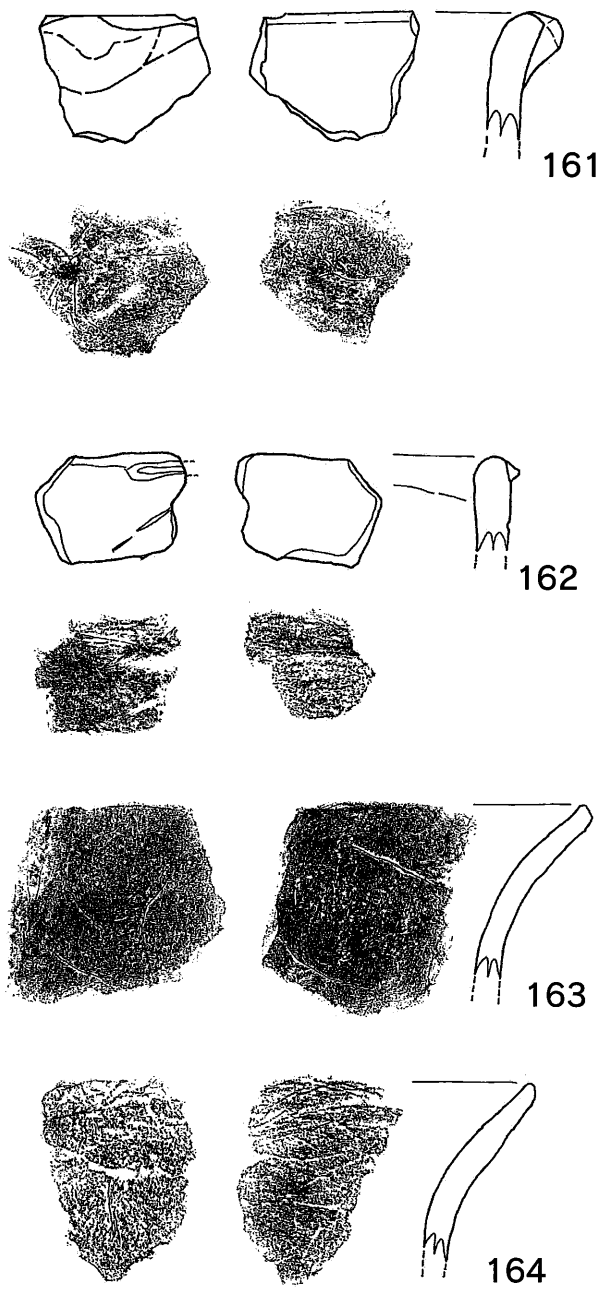
第24図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その17)



第25図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その18)

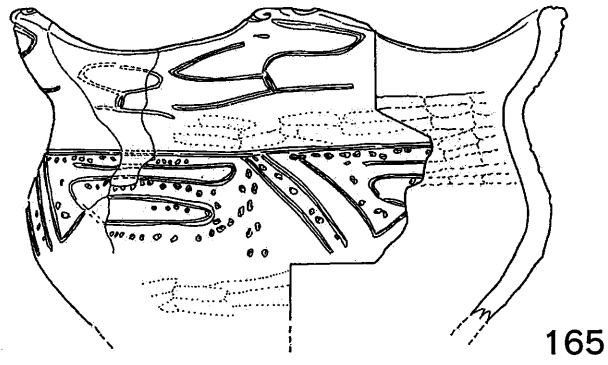


第26図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その19)



0 5 10cm

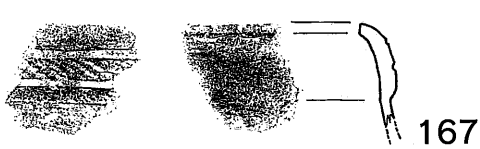
第27図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その20)



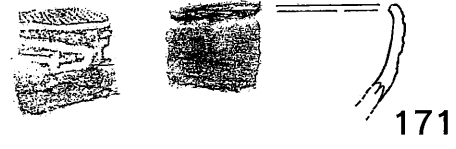
165



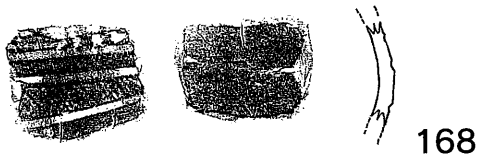
166



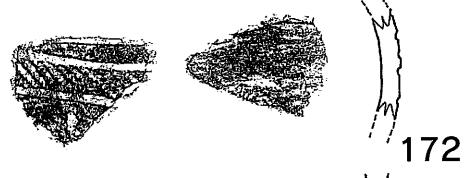
167



171



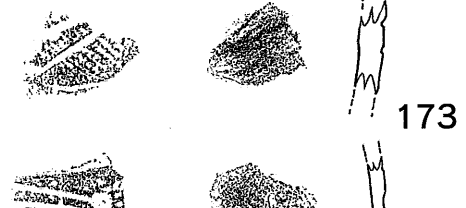
168



172



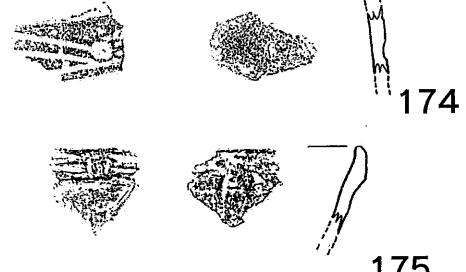
169



173

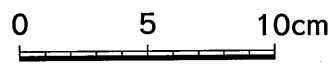


170

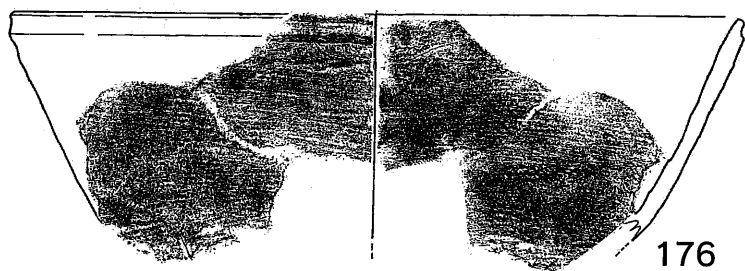


174

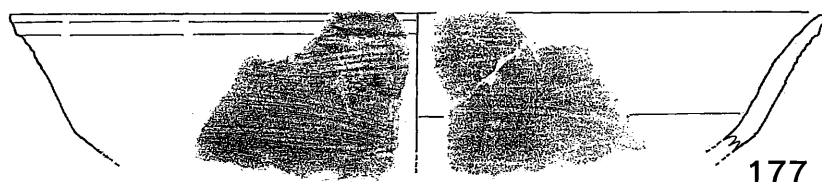
175



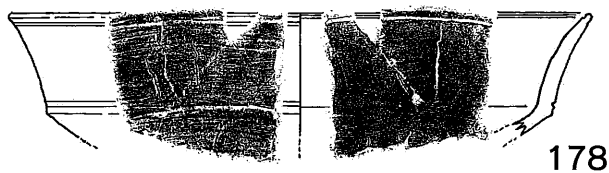
第28図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その21)



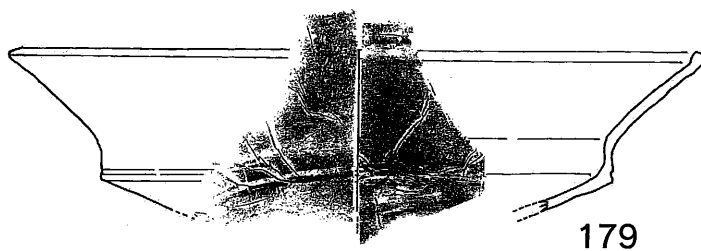
176



177



178



179

0 10cm

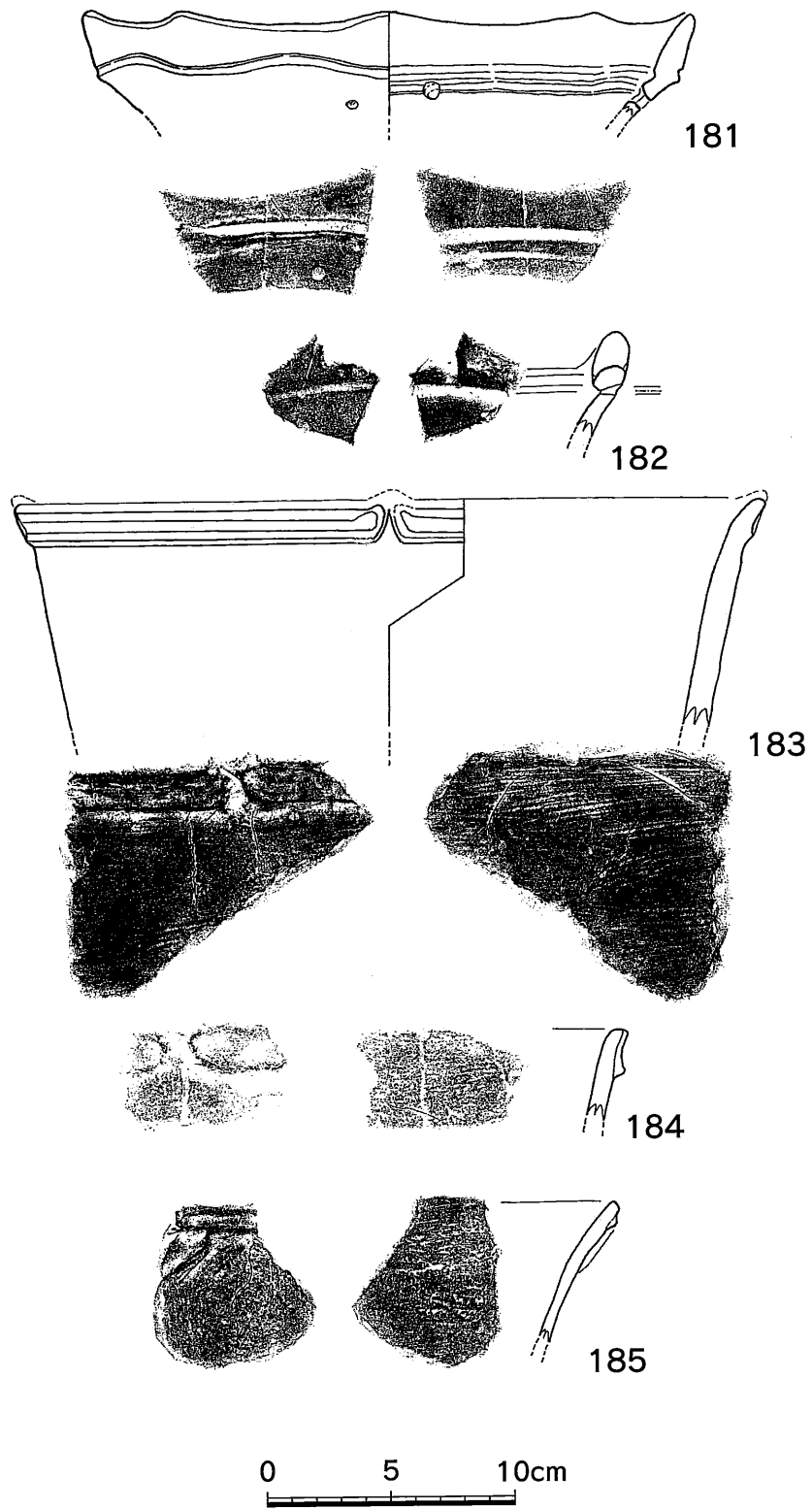


180

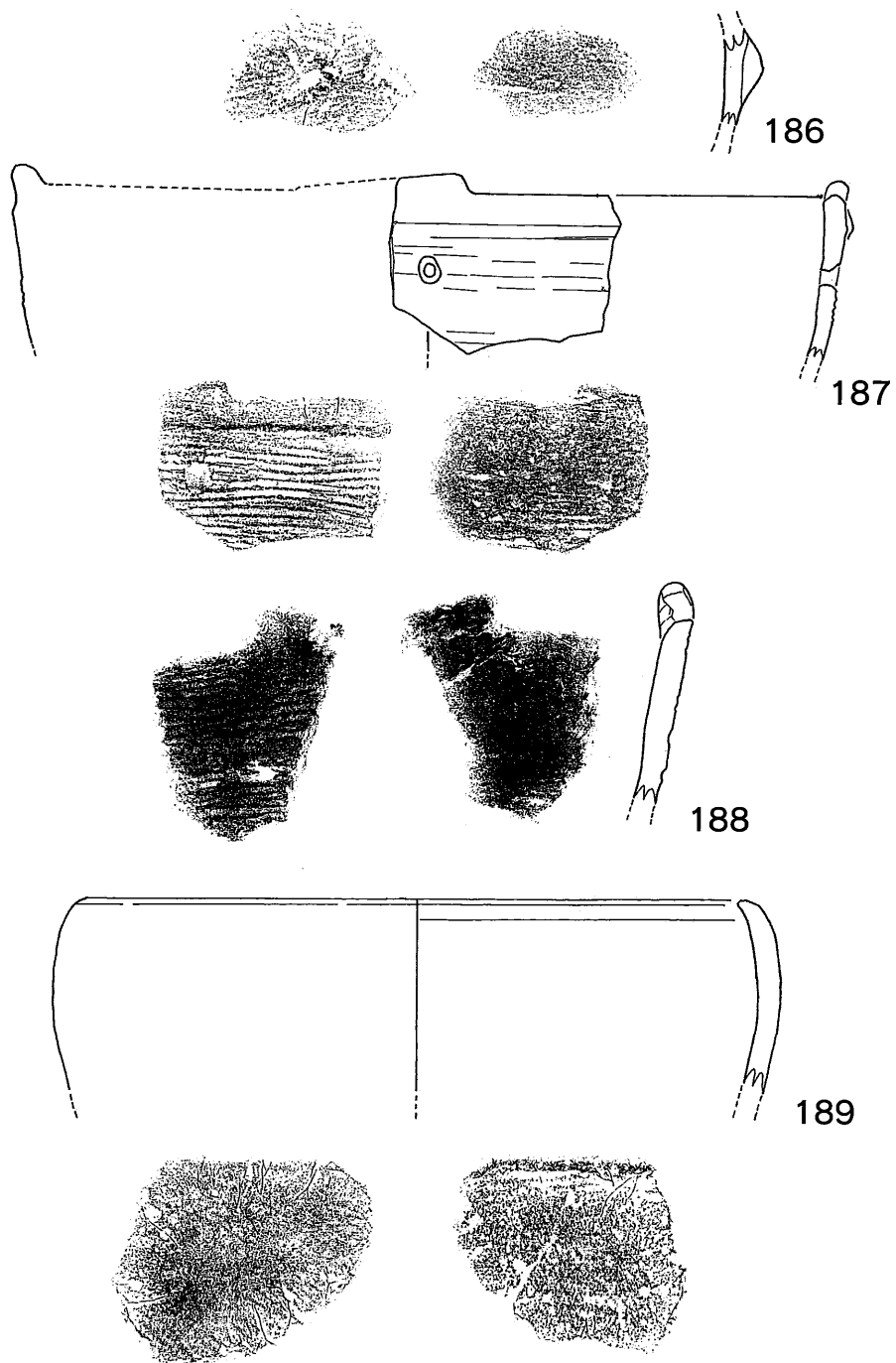
0 5 10cm



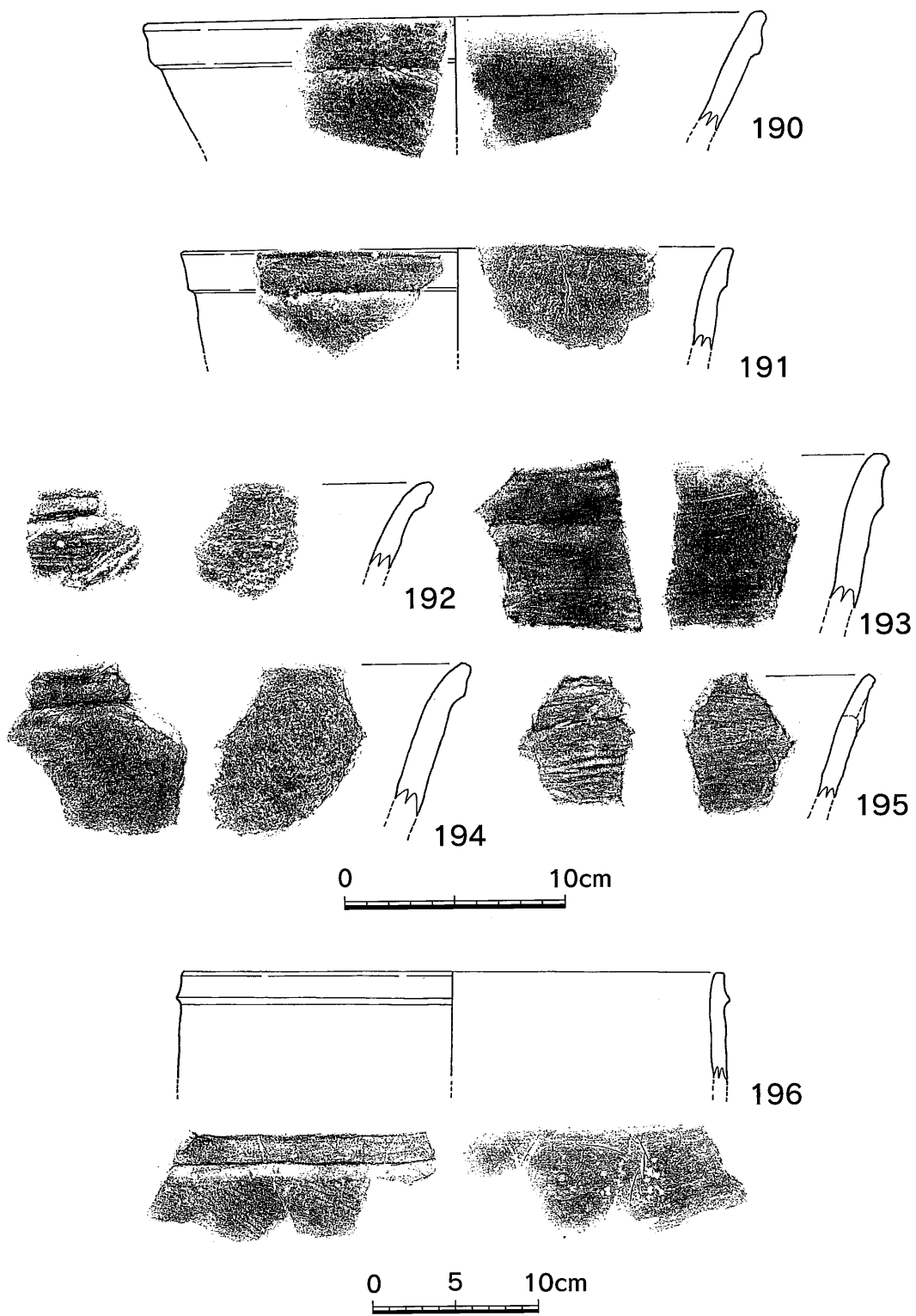
第19図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その12)



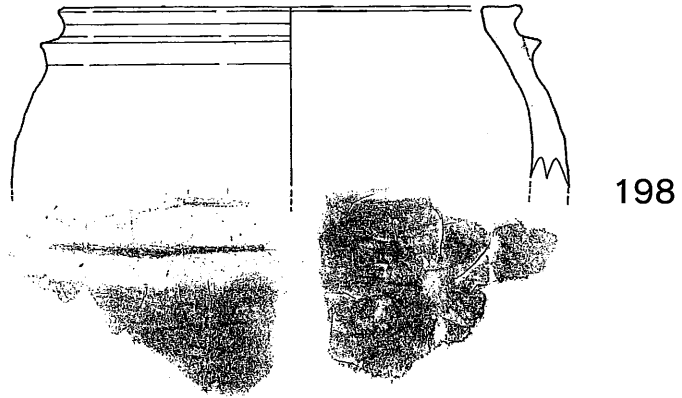
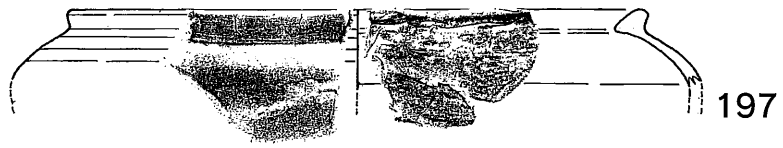
第30図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その23)



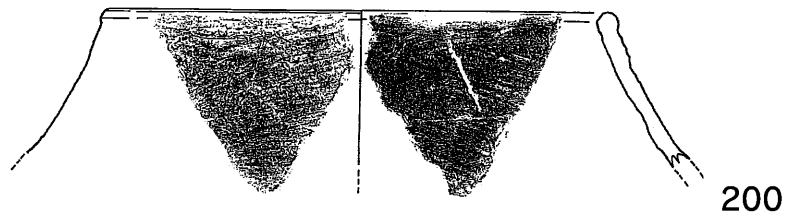
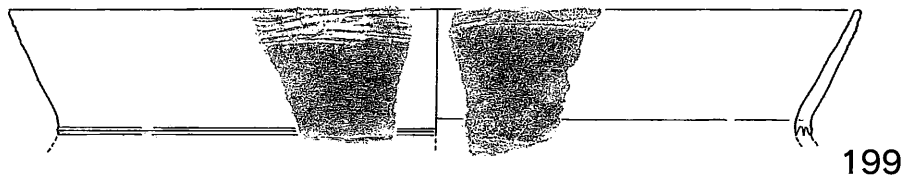
第31図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その24)



第32図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その25)

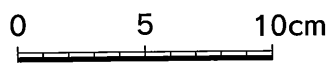
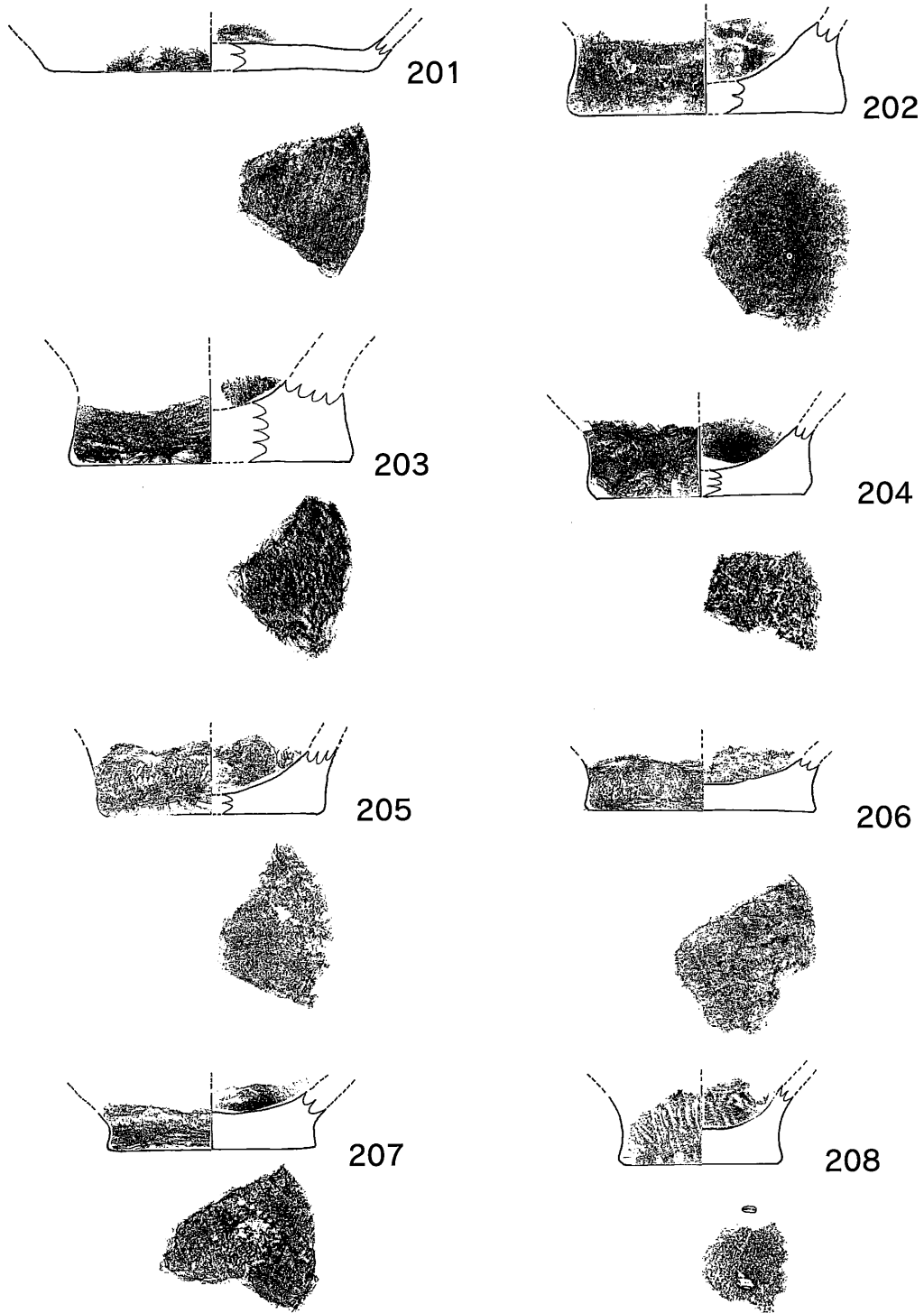


0 5 10cm

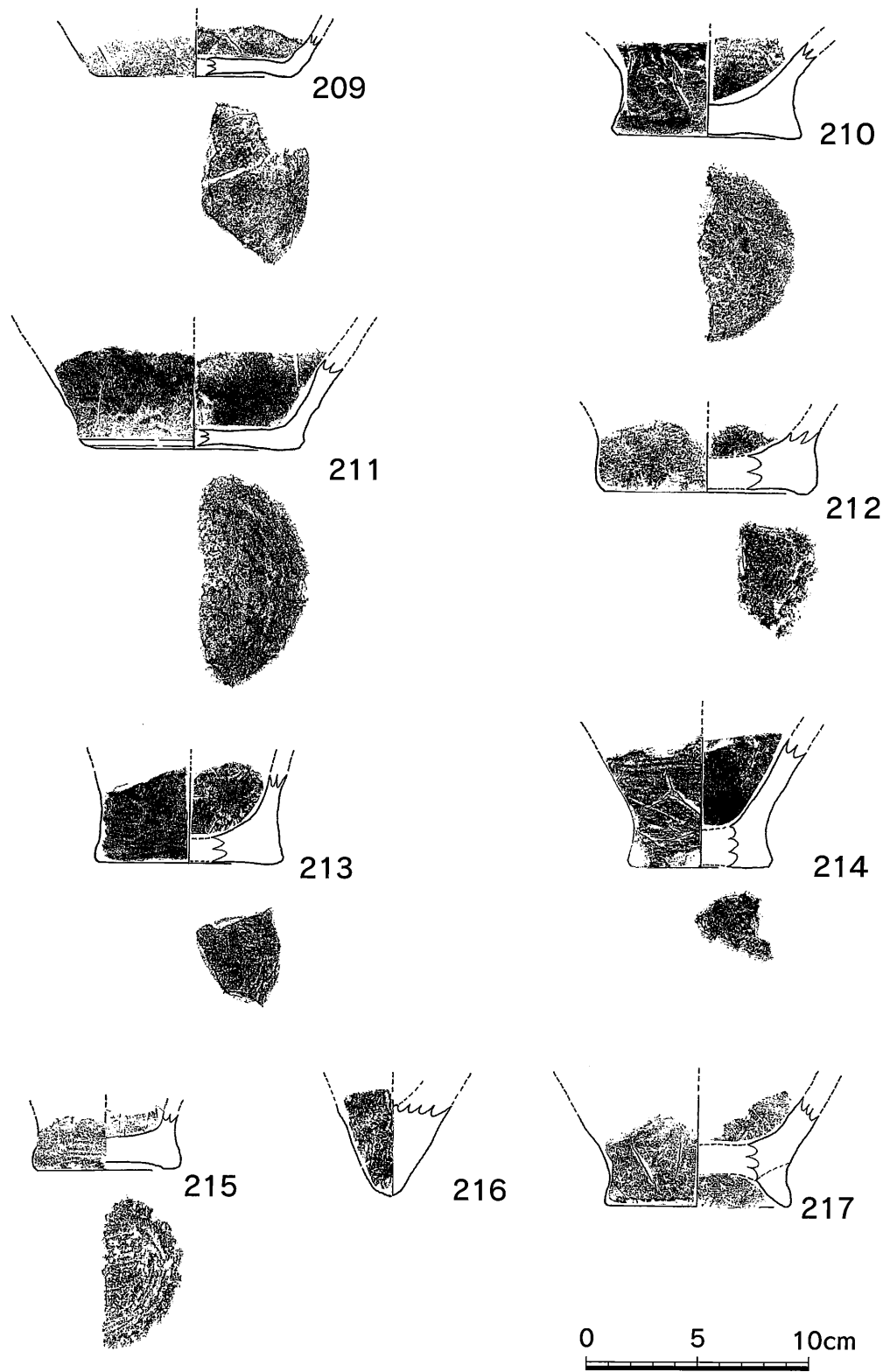


0 5 10cm

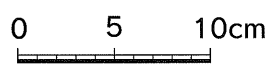
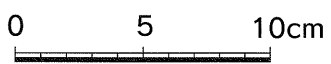
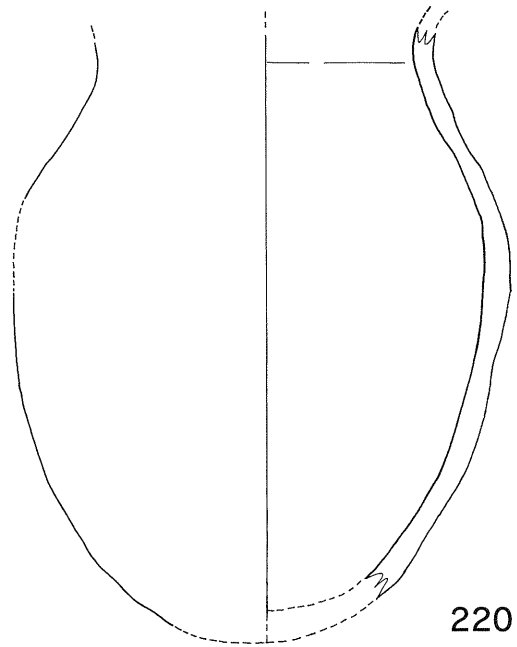
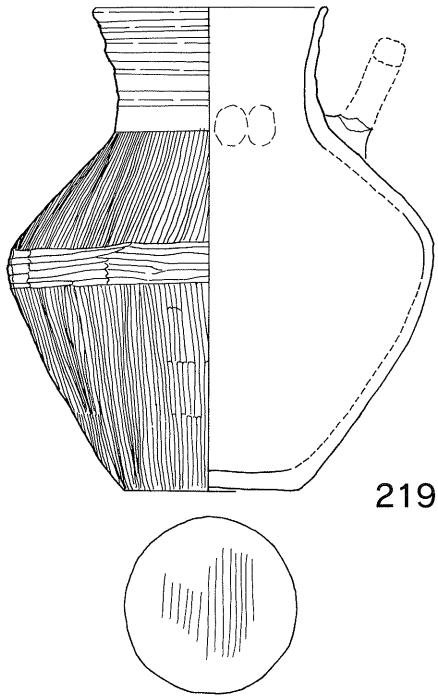
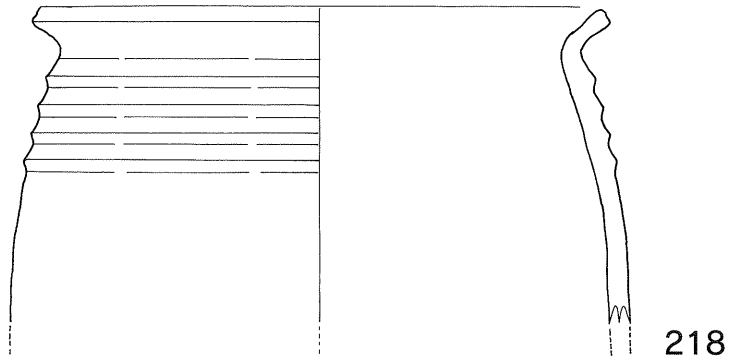
第33図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その26)



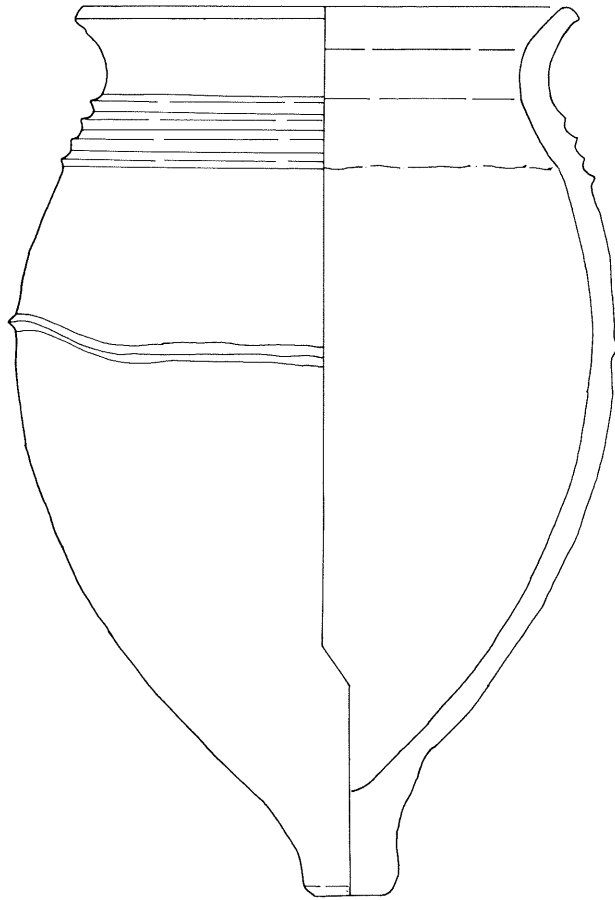
第34図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その27)



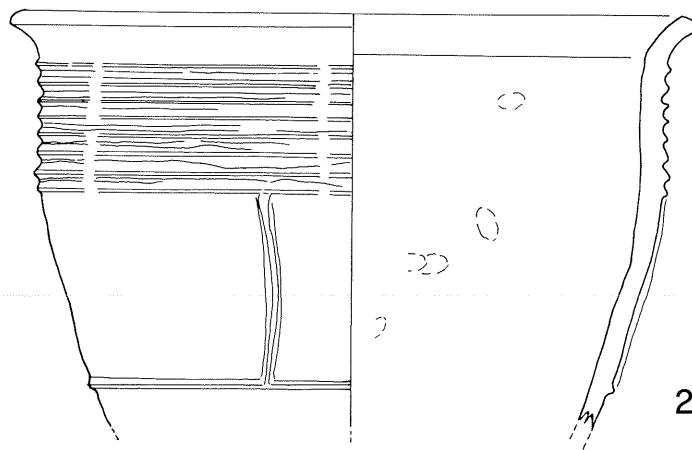
第35図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その28)



第36図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その29)



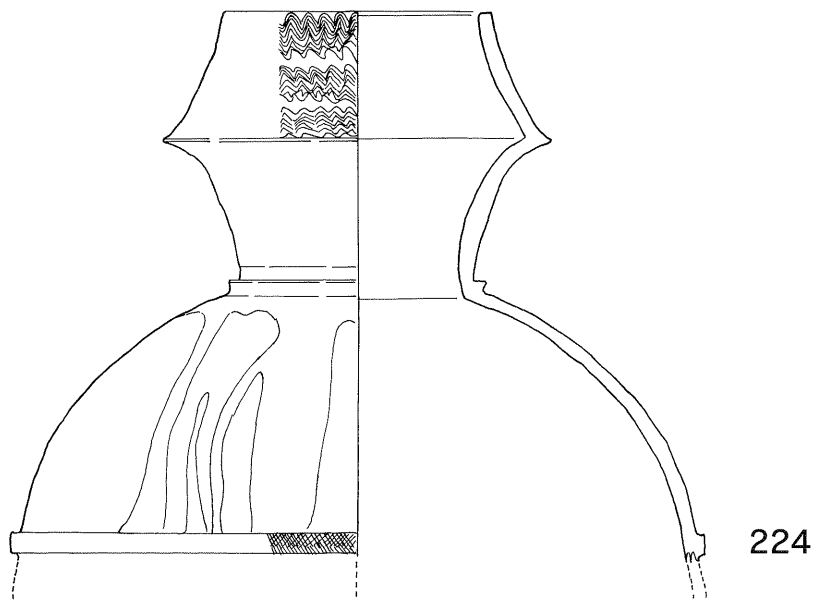
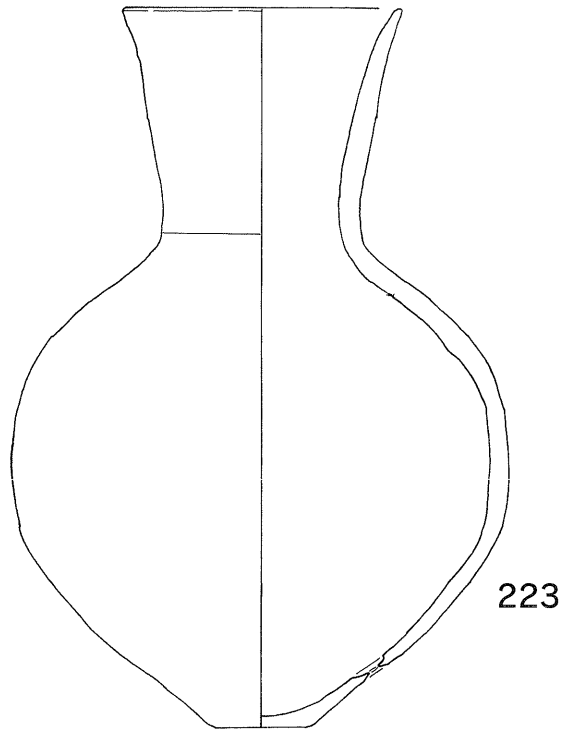
221



222

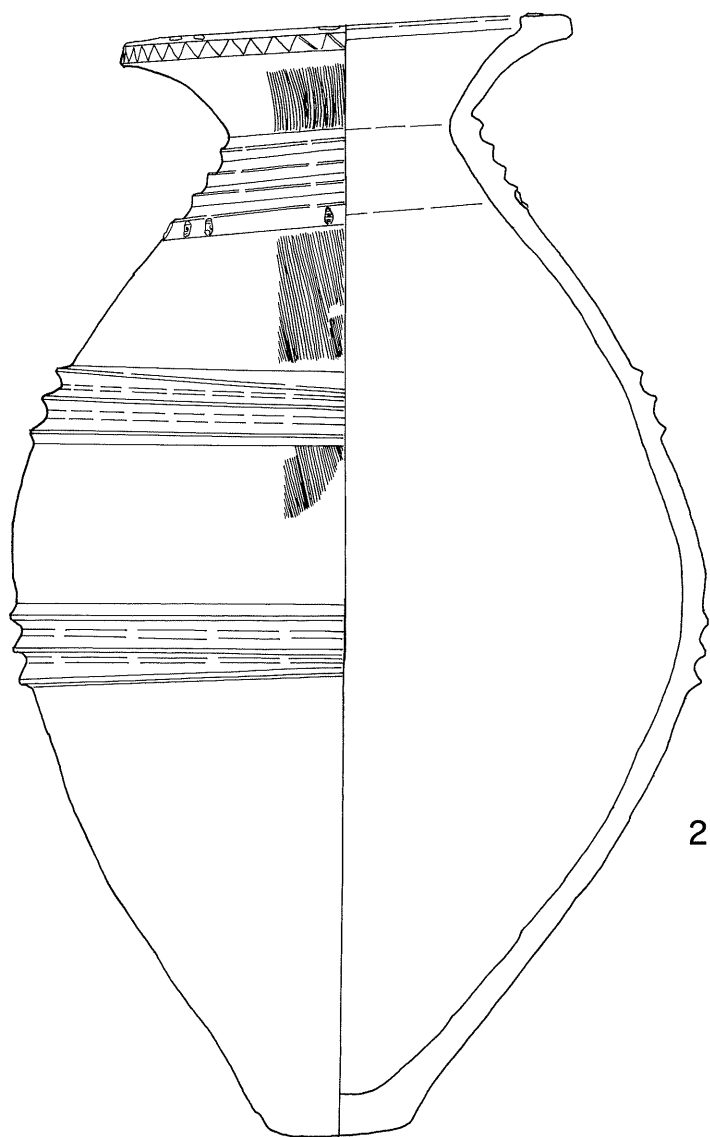
0 5 10cm

第37図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その30)



0 5 10cm

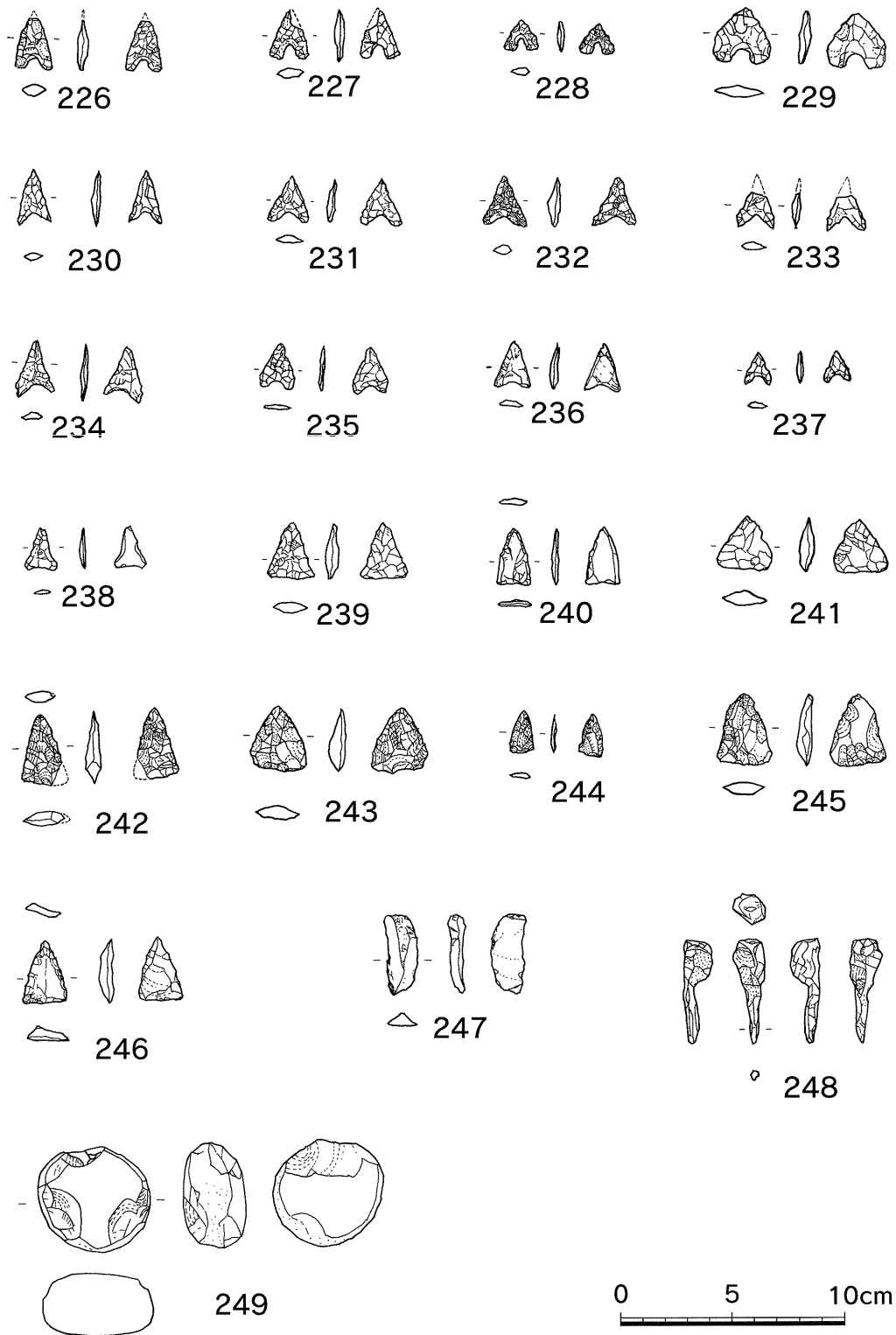
第38図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その31)



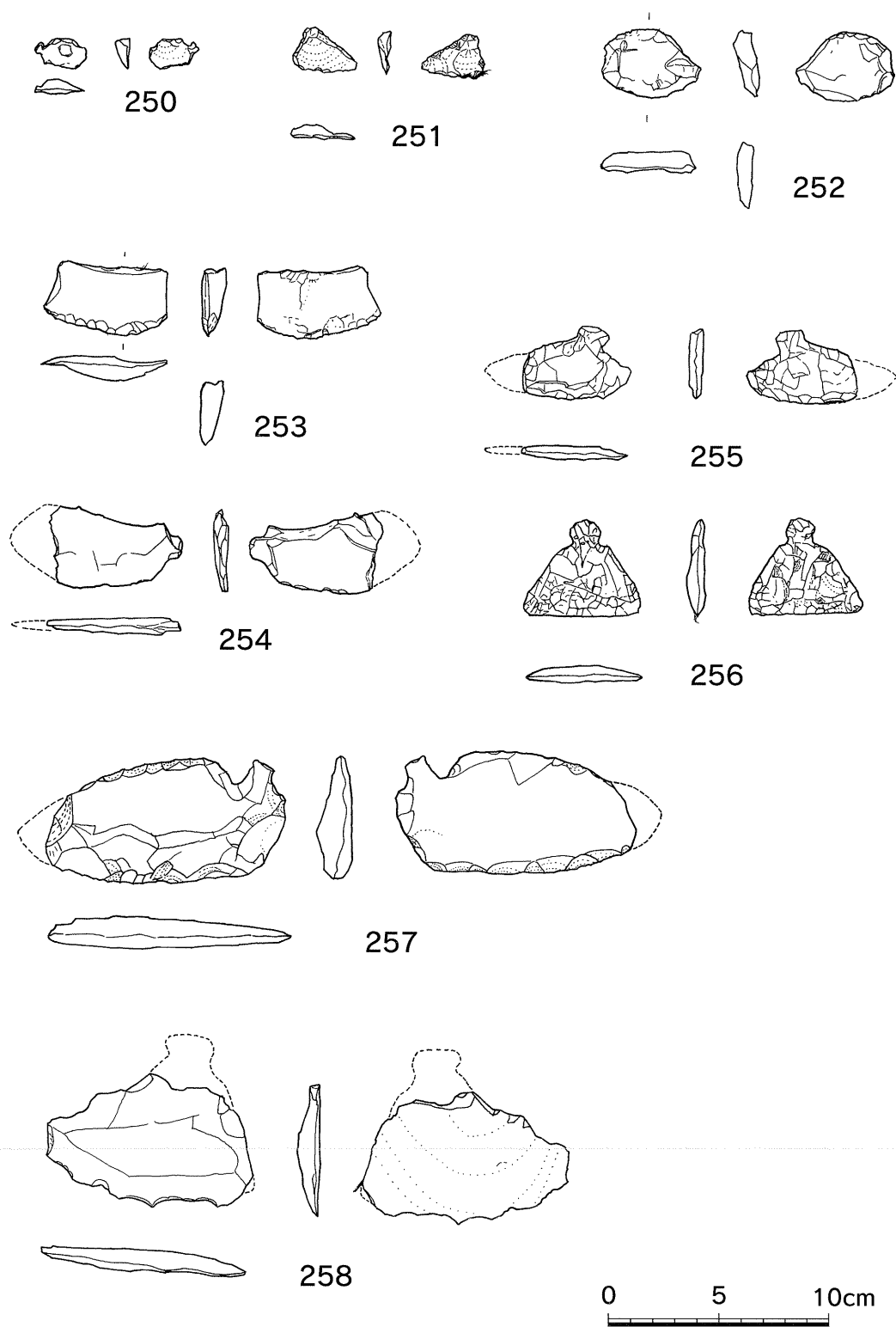
225

0 5 10cm

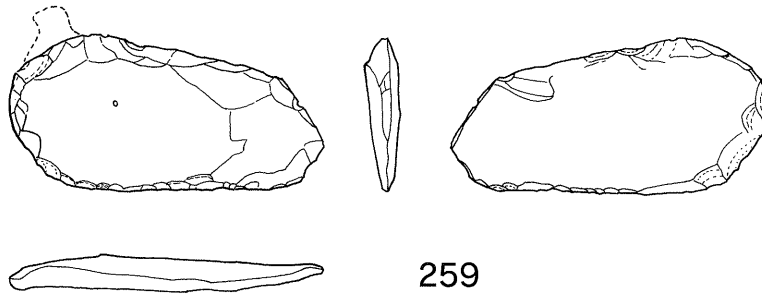
第39図 岩戸五ヶ村遺跡出土土器実測図(その32)



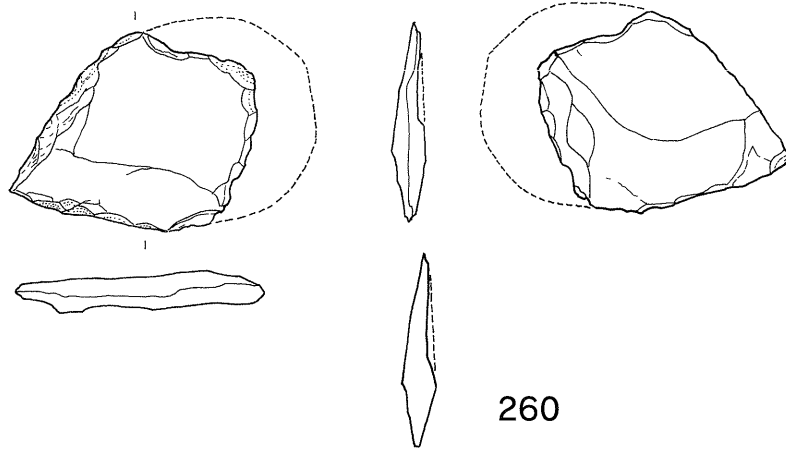
第40図 岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その1)



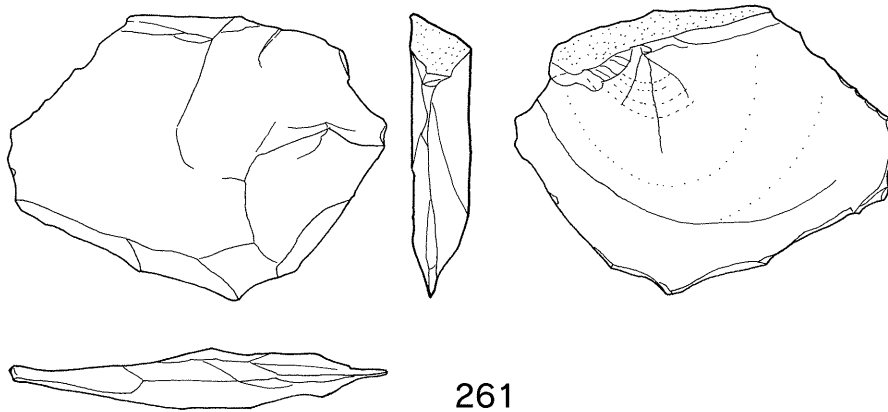
第41図 岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その2)



259



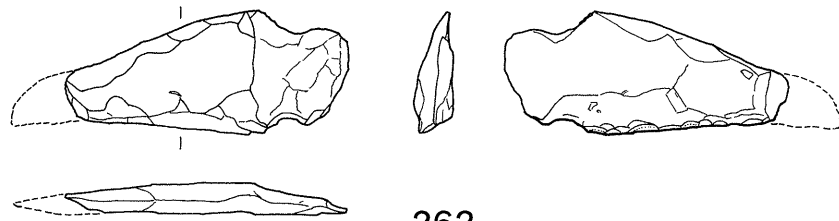
260



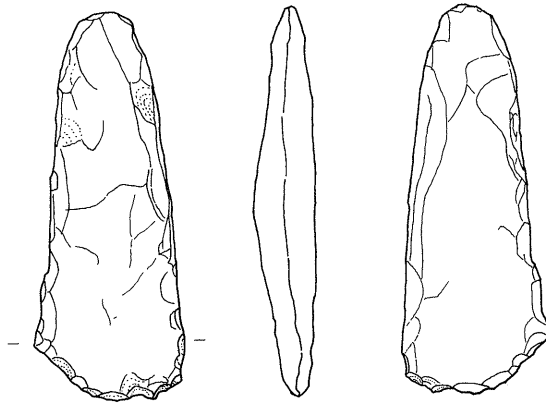
261

0 5 10cm

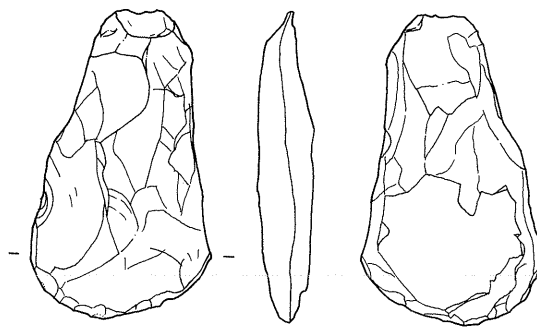
第42図 岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その3)



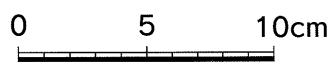
262



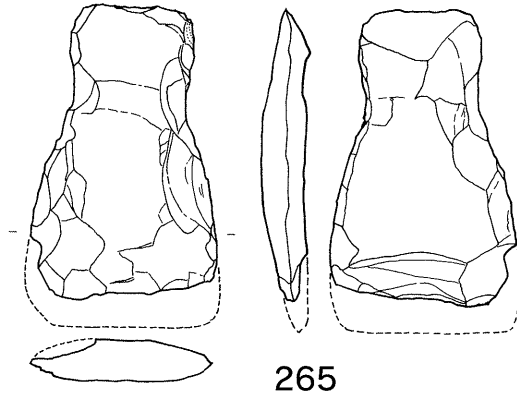
263



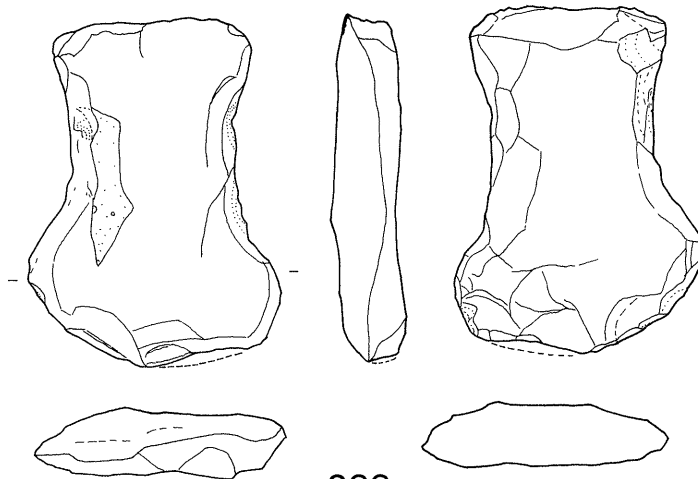
264



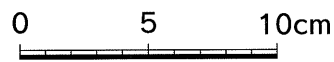
第43図 岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その4)



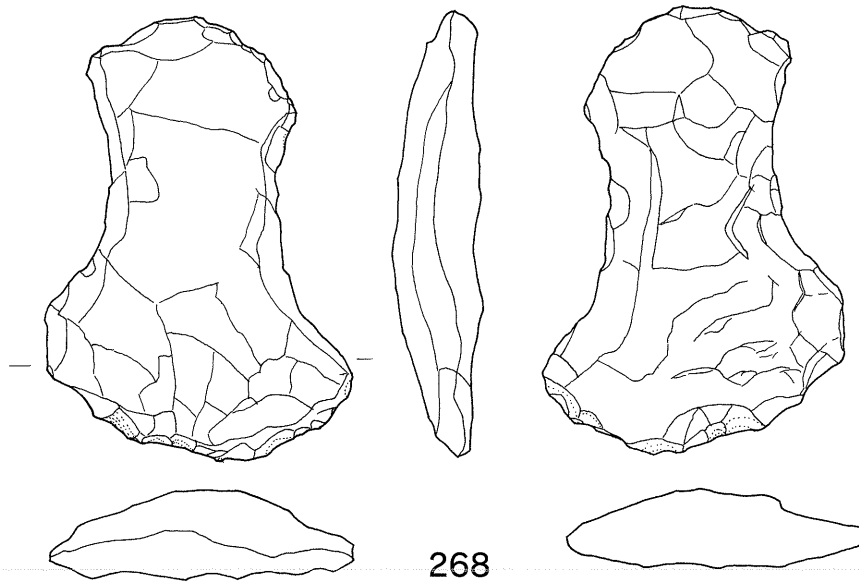
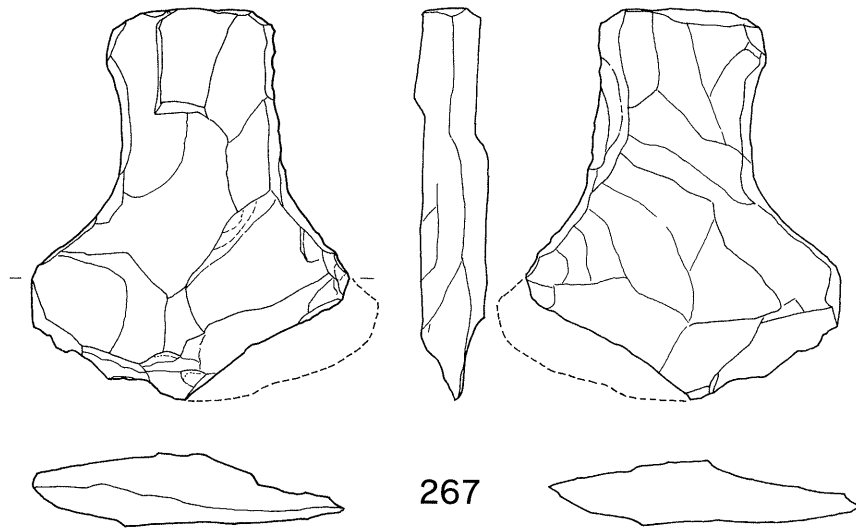
265



266

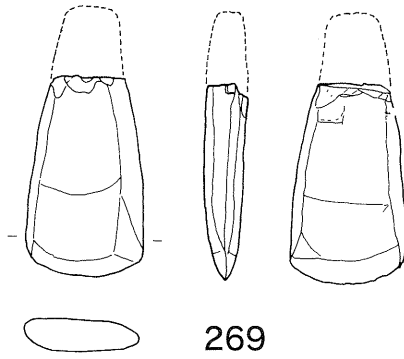


第44図 岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その5)

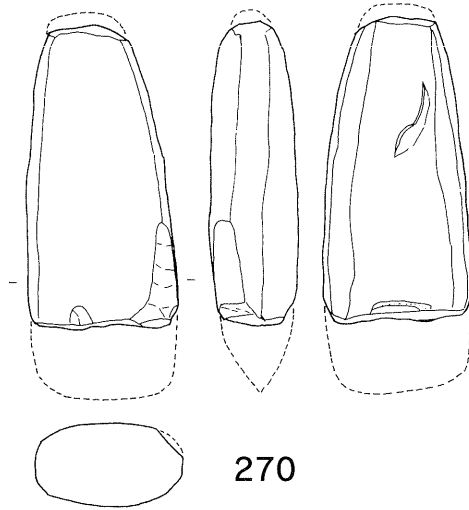


0 5 10cm

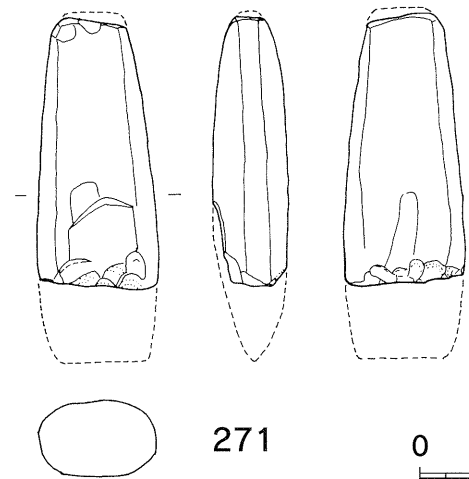
第45図 岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その6)



269



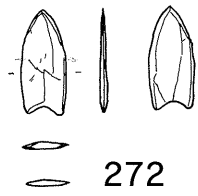
270



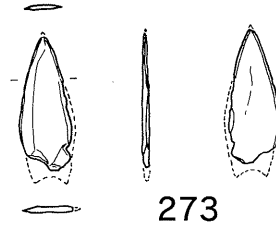
271



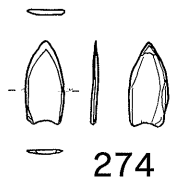
第46図 岩戸五ヶ村遺跡出土石器実測図(その7)



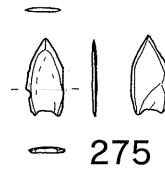
272



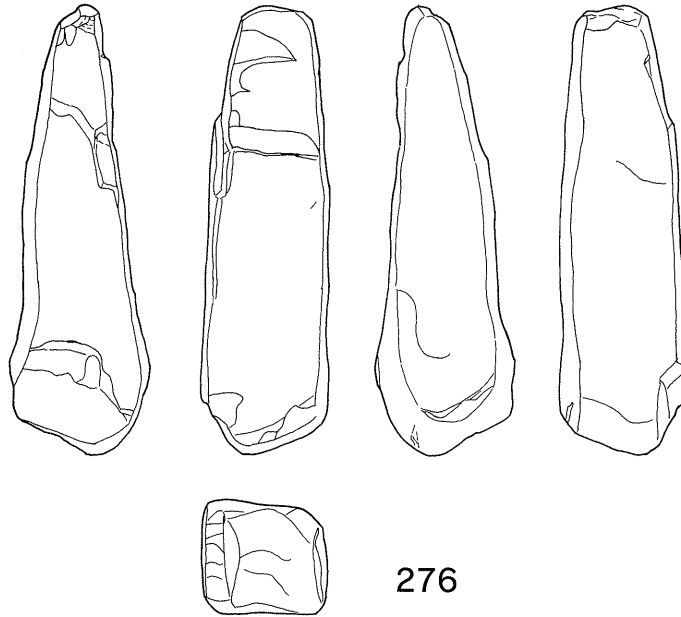
273



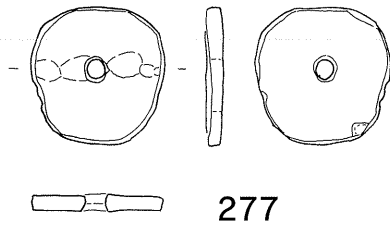
274



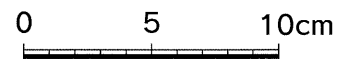
275



276



277



第47図 岩戸五ヶ村遺跡出土石器・土製品実測図(その8)

期待したい。

石器

石器は、第8表に示すように分類できる。

土製紡錘車

土製紡錘車(277) 弥生土器片を加工したもの。

第5章 まとめ

縄文時代早期の土器について

岩戸五ヶ村遺跡では、押型文土器や手向山式土器や塞ノ神式土器など縄文早期の土器が数多く出土している。また、曾畑式土器や轟式土器などの縄文前期の土器も出土している。アカホヤ火山灰層が町田洋氏・新井房夫氏によって始良丹沢火山灰層に続く広域火山灰であることが認められて以来、層位学的研究が進み、手向山式土器の位置付けが変わってきた。

横手浩二郎氏は、手向山式土器文化を『九州島早期縄文文化における押型文土器様式から平椀式土器様式へと変わる時期の移行期の土器文化』であり、時期的には『早期中葉の終わり頃』に位置づけるのが適当と述べている。(横手浩二郎「手向山式土器の細分と編年試案」1998年)

水ノ江和同氏は、「九州における押型文土器の地域性(要約)」1998年で、「押型文土器およびその直前期の九州は、東北・北九州、西北・中九州、南九州の3地域に分けることができる。南九州縄文早期を代表する貝殻文円筒形土器と手向山式・平椀式・塞ノ神式との間には連続性はないと考えられる。このことは手向山式の微隆起線文や沈線文の系譜が九州内に求められないこと、また手向山式自体は近畿・瀬戸内地域の穂谷式、中部地域の相木式とも深い関係を有していることなどからも認められよう。」と述べられ、西日本全体の中での位置づけが早急に望まれていると言われている。

本書では、諸事情から詳しい調査までは手を伸ばせなかったが、高千穂町の縄文遺跡の発掘調査の歴史の上では、数多くの早期の土器を資料紹介できたと思う。

白岩修「宮崎県内における押型文土器について」宮崎考古学会『宮崎考古第15号』1997年

九州縄文研究会「九州縄文土器編年の諸問題～早期後半土器編年の現状と課題～九州縄文研究会鹿児島資料集」1998年

九州縄文研究会「縄文集成シリーズ3九州の押型文土器～論攷編～」1998年

弥生時代後期の土器について

把手付小型壺(219)は、畿内第IV様式の水注土器に似ているが、胴部の張っている部分が畿内第IV様式の水注土器よりも上にある。宮崎県内では、中溝遺跡で出土しているが、出土例は少ない。胎土分析までは行えていないが、将来行う機会があれば、行いたい。

工字突帯甕(222)は、大分県の大野川上・中流域の土器とされ、薄糸平遺跡・神殿遺跡などで数多く出土している。北郷泰道氏により研究が進められ、「山の民の土器」として考えられている。

複合口縁に櫛描波状文を有する土器(224)は、大分県の四期-3・4(後期後葉~終末)にあたり、『大分県史先史篇』によると「別府湾岸から大野川中上流域に分布し、胎土分析によると別府湾岸から大野川中上流域に持ち込まれたものもあるという指摘もなされており、この型式が、別府湾岸地域でその中期壺をもとに生み出された可能性が強い。」と書かれており、今回の調査では胎土分析までは行えていないが、将来行う機会があれば、行いたい。

円形浮文や勾玉浮文を有する土器(225)も大分県の大野川上流域四期-1(後期前葉)の竹田市田頭遺跡出土土器などに類例が見られる。

北郷泰道「祖母・傾系山岳地域論序説」『考古学研究』第25巻第3号、1978年

北郷泰道「薄糸平遺跡出土弥生土器・再論」『宮崎考古』第4号、1978年

北郷泰道「ミミズバレ状突帯の技術的位置」『宮崎考古』第5号、1979年

大分県総務部総務課『大分県史先史篇』1989年

集石遺構について

総数12基の集石遺構を検出した。実測図は略測図のみであるが、台石の有無等で大まかな分類はできた。石の表面が焼けており、調理場の跡と思われる。

SUMME R Y

Results of excavations carried out on the *Iwatogokamura*(岩戸五ヶ村) site :

11 stones pyres dating from the early Jomon period (BC80-44C), as well as 2 tateana dwellings dating from the late Yayoi period (AD2C) were discovered.

Other artifacts included Jomon pottery, Yayoi pottery, chiseled arrowheads, scrapers, chiseled stone hatchets, polished arrowheads and polishing stones.

Among these was a 4th tier Yayoi pottery style handled jug which is thought to have originated in the *Kinai*(畿内) region, suggesting that inter-regional trade existed.

遺物観察表

岩戸五ヶ村遺跡

①遺構番号は次のとおりとした。

SA=竪穴住居跡、SC=土壇、SS=集石遺構

②色調は次の文献を参考としている。

農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修「新版標準土色帳」1994年

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
1	C4区No. 100	縄文土器	深鉢	外面: にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4) 断面: 赤灰(Hue2.5YR4/1) 内面: 明赤褐(hue2.5YR5/6)	密(径1mm前後の石英・カクセン石を若干含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部はナデ。	
2	II区表土	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue7.5YR6/6) 断面: 橙(Hue7.5YR6/6) 内面: 橙(Hue7.5YR6/6)	密(径1~2mmの長石を若干含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部はナデ。	
3	B4区No. 100	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue7.5YR5/6) 断面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 内面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	密(径1mm未満の石英・カクセン石を若干含む。)	良好	外面: 横方向山形押型文。 ただし口縁端部は横ナデ。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部はナデ。	
4	C4区No. 19	縄文土器	深鉢	外面: 灰褐(Hue5YR4/2) 断面: 褐灰(Hue5YR4/4) 内面: にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	密(径1mm未満の石英・白雲母を若干含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部はナデ。	
5	II区表土	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue7.5YR5/6) 断面: 灰褐(Hue5YR5/2) 内面: 赤褐(Hue5YR4/6)	緻密(径1mm未満の長石・白雲母を極わずかに含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部はナデ。	
6	B4区No. 104 第1号集石遺構	縄文土器	深鉢	外面: 赤褐(Hue2.5YR4/6) 断面: 灰褐(Hue2.5YR4/2) 内面: 赤褐(Hue5YR4/6)	密(径1~2mmのカクセン石・石英を若干含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部はナデ。	
7	B3区No. 72 第4号集石遺構 &No. 161 &No. 181	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue7.5YR6/6) 断面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4) 内面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	密(径1~4mmの石英を若干含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
8	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 内面: 灰黄褐(Hue10YR6/2)	密(径1~2mmの石英・長石をわずかに含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
9	B4区表土	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6) ~にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4) 断面: 赤灰(Hue2.5YR5/1) 内面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	密(径1mm前後のカクセン石を極わずかに含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
10	II区表土	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 内面: 明赤褐(hue2.5YR5/6)	緻密[径1mm前後の石英・長石・カクセン石を極わずかに含む。]	良	外面: 横方向山形押型文。 施文原体の隙間の無文部分がある。 内面: 横ナデ。	
11	II区I層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい赤褐(Hue2.5YR4/3) 断面: にぶい赤褐(Hue2.5YR4/3) 内面: 灰赤(Hue2.5YR4/2)	緻密(径1~2mmの石英・長石・白雲母をまばらに含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
12	C3区No. 34	縄文土器	深鉢	外面: 明黄褐(Hue10YR7/4) 断面: にぶい黄褐(Hue10YR7/3) 内面: にぶい黄褐(Hue10YR7/3)	密(径3mm前後の赤茶色粒を若干含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 互い違いで菱形の部分有り。 内面: 横ナデ。	
13	B1区No. 34	縄文土器	深鉢	外面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4) 断面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4) 内面: 橙(Hue7.5YR6/6)	やや粗(径1~3mmの石英・長石を多く含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 山形が丸味を帯びる。 内面: ナデ。	
14	C3区No. 151	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue5YR5/6) 断面: 灰褐(Hue5YR5/2) 内面: 灰褐(Hue5YR4/2)	密(径1mm未満の長石・石英・白雲母を含む)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
15	C4区No. 31	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6) 内面: にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	密(径1mm前後の石英・長石・カクセン石を若干含む)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
16	C4区No. 17	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue2.5YR6/6) 断面: 赤灰(Hue2.5YR5/1) 内面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6)	密(スサ?植物繊維状のものが混じる。白雲母若干混。)	良	外面: 横方向山形押型文。 施文単位が観察できる。 内面: 横ナデ。	
17	B区I層	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue5YR6/6)~にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: 灰褐(Hue7.5YR5/2) 内面: 褐灰(Hue5YR4/1)	密(径1~2mmの石英・長石を含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 貝殻又はへら状工具による沈線。 内面: ナデ。	
18	B2区No. 55	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue2.5YR6/6) 断面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/3) 内面: 灰赤(Hue2.5YR4/2)	密(径1~3mmの石英・長石・白雲母を若干含む)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
19	F5区I層	縄文土器	深鉢	外面: 浅黄(Hue2.5Y7/3) 断面: 黄灰(Hue2.5Y4/1) 内面: 灰黄(Hue2.5Y6/2)	密[径1mm前後のカクセン石・白雲母を若干含む。]	良	外面: 端部は横方向山形押型文。下部は縦方向山形押型文。 施文単位が観察できる。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	
20	A5区No. 58	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/2) 断面: 褐灰(Hue10YR5/1) 内面: 淡黄(Hue2.5YR8/3)	密(径3mm前後の乳白色粒若干混。)	良	外面: 端部は横方向山形押型文。下部は縦方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	

第1表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その1)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
21	C4区No. 8	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue10YR4/1) 断面: 黒褐(Hue10YR3/1) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	密(径1mm前後の石英・カクセン石を若干含む。)	良	外面: 端部は横方向山形押型文。下部は縦方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	
22	C4区No. 13 & No14	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR6/2) 断面: 褐灰(Hue10YR6/1) 内面: にぶい黄褐(Hue10YR7/2)	緻密(径1mm前後の長石・白雲母を極わずかに含む。)	良	外面: 端部は横方向山形押型文。下部は縦方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	法量: 口径30cm 器高5.1+ α cm
23	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: 褐灰(Hue10YR4/1) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	密(径1~2mmの石英を若干含む。)	良	外面: 縦方向の山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	
24	B2区表土	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR6/2) 断面: 褐灰(Hue10YR5/1) 内面: 浅黄橙(Hue10YR8/4)	緻密(径1mm前後の石英・白雲母をわずかに含む。)	良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	
25	C4区No. 64	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue7.5YR6/6)~黒(Hue7.5YR2/1) 断面: 褐灰(Hue7.5YR5/1) 内面: 褐灰(Hue7.5YR4/1)	密(径5mmの石英・径1mm前後の長石若干含む。)	ムラあるが良	外面: 縦方向山形押型文。ズレて一部菱形文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	
26	II区表土	縄文土器	深鉢	外面: 浅黄(Hue2.5Y7/4) 断面: 灰黄(Hue2.5Y6/2) 内面: 黄灰(Hue2.5Y5/1)	緻密	良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
27	表土	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面: 褐灰(Hue10YR5/1)	密(径3mm前後の石英を極わずかに含む。)	良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
28	C3区No. 64	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	密(径1~2mmの石英・カクセン石・白雲母を若干含む。)	良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	両方向からの穿孔あり。
29	B4区I層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 断面: 黒(HueN2/)~明赤褐(Hue10YR7/6) 内面: 黒(HueN2/)~明赤褐(Hue10YR7/6)	密(径1mm前後の石英・白雲母をやや多く含む。)	ムラあるが良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
30	C3区表土	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄褐(Hue10YR5/3) 断面: 褐灰(Hue10YR6/1) 内面: 明黄褐(Hue10YR7/6)	密(径2mm前後の長石を極わずかに含む。)	良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
31	A5区No. 82	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/2) 断面: 褐灰(Hue10YR5/1) 内面: 灰黄褐(Hue10YR5/2)	密(径1~2mmの長石を若干と径1mm前後の白雲母・カクセン石を多く含む。)	良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
32	C1区表土	縄文土器	深鉢	外面: 浅黄(Hue2.5Y7/3) 断面: 黄灰(Hue2.5Y4/1) 内面: にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	緻密(径3mm前後の赤灰色粒を若干含む。)	良好	外面: 上部は縦方向山形押型文。下部は横ナデ。 内面: 横ナデ。	
33	表土	縄文土器	深鉢	外面: 浅黄(Hue2.5Y7/3) 断面: 灰黄(Hue2.5Y6/2) 内面: 灰黄(Hue2.5Y6/2)	密(径2~3mmの長石を若干と径1mm前後の石英・白雲母・カクセン石を多く含む。)	良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
34	C1区No. 45	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue10YR6/1)~浅黄橙(Hue10YR8/3) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR7/2) 内面: 灰白(Hue10YR8/2)~灰白(Hue10YR7/1)	緻密(径1mm未満の白雲母を若干含む。)	良	外面: 縦方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
35	B3区No. 91	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/3) 断面: 褐灰(Hue10YR4/1) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	密(径1mm前後の白雲母・石英を極わずかに含む。)	良	外面: 縦方向山形押型文。ズレて一部菱形文。 内面: ナデ。	
36	C1区表土	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: 褐灰(Hue10YR4/1)~灰黄褐(Hue10YR6/2) 内面: 褐灰(Hue10YR4/1)	緻密(径1mm前後の長石を極わずかに含む。)	良	外面: 上部は縦方向山形押型文。下部は横ナデ。 内面: 横ナデ。	
37	C1区No. 27	縄文土器	深鉢	外面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 断面: 赤灰(Hue.5YR4/1) 内面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	密(径1mm前後の石英・長石をわずかに含む。)	良	外面: 横方向山形押型文。 内面: 上部に柵状文。その下に横方向山形押型文。 下部は横ナデ。	
38	C2区No. 15	縄文土器	深鉢	外面: 灰白(Hue5Y7/2) 断面: 灰白(Hue2.5Y8/2) 内面: 浅黄(Hue2.5Y7/3)	密(径1mm前後の白雲母を若干含む。)	良	外面: 右下がり斜め方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	

第2表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その2)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
39	B4区No. 74	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue7.5YR6/6) 断面: 褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面: 褐灰(Hue7.5YR4/1)	密(径1mm前後の石英・白雲母・長石を多く含む。)	良	外面: 右下がり斜め方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
40	B3区表土	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue7.5YR7/6) 断面: にぶい橙(Hue7.5YR7/4) 内面: 黒(Hue7.5YR2/1)	密(径3mm前後の石英若干混。)	良	外面: 右下がり斜め方向山形押型文。 内面: ナデ。	
41	B4区1層	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue5YR6/6) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR7/3) 内面: 暗灰(HueN3/)	密(径1~2mmの石英・白雲母を若干含む。)	良	外面: 左下がり斜め方向山形押型文。 内面: ナデ。	
42	C4区No. 21	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue5YR5/6) 断面: 明赤褐(Hue5YR5/6) 内面: 明赤褐(Hue5YR5/6)	緻密(径2mm前後の長石を極わずかに含む。)	良	外面: 左下がり斜め方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
43	C1区No. 39	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄褐(Hue10YR7/4)~灰黄褐(Hue10YR4/2) 断面: 褐灰(Hue10YR4/1) 内面: にぶい黄褐(Hue10YR7/3)	密(径1~4mmの長石を極わずかに含む。)	良	外面: 左下がり斜め方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
44	B3区No. 35 & No. 54	縄文土器	深鉢	外面: 黄灰(Hue2.5Y5/1) 断面: にぶい黄(Hue2.5Y6/3) 内面: にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	緻密(径4mmの赤茶色粒と径1mm前後の長石をまばらに含む。)	良	外面: 右下がり斜め方向山形押型文。 内面: 横ナデ。	
45	C5区1層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 内面: にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	密(径1~2mmの石英を極わずかに含む。)	良	外面: 横方向楕円形押型文。 内面: ナデ。	
46	11トレンチNo.19	縄文土器	深鉢	外面: 赤褐(Hue5YR4/6) 断面: にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 内面: 赤褐(Hue5YR4/6)	密(径4mmの石英を極わずかに径1~2mmの長石を若干含む。)	良	外面: 横方向楕円形押型文。 内面: ナデ。	
47	B2区1層	縄文土器	深鉢	外面: 灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面: にぶい橙(Hue7.5YR7/3) 内面: 灰褐(Hue7.5YR6/2)	緻密(径1~2mmの石英・長石・白雲母を極わずかに含む。)	良	外面: 端部は横方向楕円形押型文。下部は縦方向楕円形押型文。 内面: 上部は横方向楕円形押型文。下部は横ナデ。	法量: 口径24cm 器高6.7+αcm
48	C2区No. 29	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR4/2) 断面: 灰黄褐(Hue10YR4/2) 内面: 黒褐(Hue10YR3/2)	密(径1mm未満の白雲母・長石を若干含む。)	良	外面: 端部は横方向楕円形押型文。下部は縦方向楕円形押型文。 内面: 上部は横方向楕円形押型文。下部は横ナデ。	
49	B2区1層	縄文土器	深鉢	外面: 浅黄(Hue2.5Y7/3) 断面: 暗灰黄(Hue2.5Y5/2) 内面: にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	緻密(径3mm前後の長石・径1mm前後の石英・カクセン石・白雲母を若干含む。)	良	外面: 縦方向楕円形押型文。 内面: 上部は横方向楕円形押型文。下部は横ナデ。	
50	B4区1層	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR5/2) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR5/4)	密(径1~2mmの石英・カクセン石・白雲母若干混。)	良好	外面: 端部は貝殻押引文。下部は縦方向楕円形押型文。 内面: 上部は貝殻押引文。下部は横ナデ。	
51	B2区1層	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue10YR5/1) 断面: 灰黄褐(Hue10YR6/2) 内面: 褐灰(Hue10YR6/1)	緻密(径1mm前後の石英・長石・カクセン石・白雲母をわずかに含む。)	良好	外面: 縦方向楕円形押型文。 施文原体の境界部分は無文。 内面: 横ナデ。	
52	B5区No. 66	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面: にぶい橙(Hue7.5YR7/4) 内面: にぶい橙(Hue5YR6/4)	密(径1~2mmの石英・長石をわずかに含む。)	良	外面: 縦方向楕円形押型文。 内面: 横ナデ。	
53	B2区1層	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue10YR5/1) 断面: 灰黄褐(Hue10YR6/2) 内面: 灰黄褐(Hue10YR6/2)	緻密(径1mm前後のカクセン石・白雲母を若干含む。)	良好	外面: 縦方向楕円形押型文。 内面: 横ナデ。	
54	6トレンチ表土	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 断面: 黒褐(Hue10YR3/2) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	密(径1mm前後の長石を多く含む。)	良	外面: 縦方向楕円形押型文。 内面: 横ナデ。	
55	表土	縄文土器	深鉢	外面: 黒褐(Hue2.5Y3/1) 断面: 浅黄(Hue2.5Y7/3) 内面: 灰黄(Hue2.5Y6/2)	緻密(径1mm前後の石英・白雲母を極わずかに含む。)	良	外面: 縦方向楕円形押型文。 内面: 横ナデ。	
56	B2区1層	縄文土器	深鉢	外面: 暗灰黄(Hue2.5Y5/2) 断面: 黄灰(Hue2.5Y5/1) 内面: にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	緻密(径1mm未満の石英・白雲母をわずかに含む。)	良	外面: 横方向楕円形押型文。 内面: 上部は横方向楕円形押型文。下部は横ナデ。	

第3表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その3)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
57	C1区No. 35	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面:褐灰(Hue10YR5/1) 内面:灰黄褐(Hu/2.5e10YR)	密(径1mm前後の石英を若干含む。)	良	外面:縦方向楕円形押型文。 内面:横ナデ。	
58	B5区No. 47	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 断面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 内面:褐灰(Hue10YR5/1)	密(径1~2mmの長石・カクセン石・石英を若干含む。)	良	外面:縦方向楕円形押型文。 内面:横ナデ。	
59	表土	縄文土器	深鉢	外面:橙(Hue7.5YR7/6) 断面:にぶい橙(Hue7.5YR7/3) 内面:にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	密(径5mm前後の石英を若干と径1mm前後の白雲母をまばらに含む。)	良	外面:やや右上りの縦方向楕円形押型文。 内面:横ナデ。	
60	C4区No. 63	縄文土器	深鉢	外面:にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4) 断面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) 内面:にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	密(径1mm前後の石英を若干含む。)	良	外面:端部は横ナデ。 下部は縦方向格子状押型文。 内面:上部に柵状文。 下部は縦方向格子状押型文。	
61	C3区No. 69	縄文土器	深鉢	外面:橙(Hue5YR6/6) 断面:にぶい橙(Hue5YR6/4) 内面:にぶい橙(Hue5YR6/4)	やや粗い(径1~2mmの石英・長石を多く含む。)	良	外面:上部は横ナデ。 下部は縦方向格子状押型文。 内面:上部に柵状文。 下部は縦方向格子状押型文。	
62	B2区表土	縄文土器	深鉢	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:明赤褐(Hue5YR5/6) 内面:明赤褐(Hue5YR5/6)	緻密(径1~2mmの石英をわずかに含む。)	良好	外面:縦方向格子状押型文。 内面:縦方向格子状押型文。	
63	A2区表土	縄文土器	深鉢	外面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) 内面:明赤褐(Hue2.5YR5/6)	緻密(径1mm前後のカクセン石・石英を極僅かに含む。)	良	外面:縦方向格子状押型文。 内面:縦方向格子状押型文。	
64	表土	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄(Hue2.5Y6/3) 断面:黄灰(Hue2.5Y5/1) 内面:にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	密(径1mm前後の白雲母を若干含む。)	良	外面:斜格子状押型文。 内面:斜格子状押型文。	
65	C1区No. 9	縄文土器	深鉢	外面:灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面:褐灰(Hue7.5YR5/1) 内面:にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	密(径1mm前後の石英・長石をやや多く含む。)	良	外面:端部は横ナデ。 下部は菱形押型文。 内面:上部は菱形押型文。 下部は横ナデ。	
66	表土	縄文土器	深鉢	外面:黒褐(Hue5YR2/1) 断面:明赤褐(Hue5YR5/6) 内面:暗赤褐(Hue5YR3/3)	密(径1mm前後の石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面:端部は貝殻による刻み目文。下部は菱形押型文。 内面:横ナデ。	
67	C1区No. 7 & No. 74	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR5/3)	密(径1mm前後の石英・白雲母を多く含む。)	良	外面:菱形押型文。 内面:横ナデ。一部指圧痕有り。	
68	表土	縄文土器	深鉢	外面:黒(Hue10YR2/1)~明黄褐(Hue10YR7/6) 断面:明黄褐(Hue10YR6/6) 内面:明黄褐(Hue10YR6/6)	密(径1~2mmの石英・長石・白雲母を若干と径3~4mmの赤色粒をわずかに含む。)	良	外面:菱形押型文。 内面:横ナデ。	
69	B3区No. 232	縄文土器	深鉢	外面:黄橙(Hue10YR8/6) 断面:浅黄橙(Hue10YR8/4) 内面:浅黄橙(Hue10YR8/4)	緻密(径4mmの茶色粒子と径3mmの石英をわずかに含む。)	良	外面:右下がりの斜方向菱形押型文。 内面:ナデ。	
70	B3区1層	縄文土器	深鉢	外面:橙(Hue7.5YR6/6)~灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面:にぶい橙(Hue7.5YR6/4) 内面:橙(Hue7.5YR6/6)	緻密。特に目立った砂粒は見られない。	良	外面:横方向の単節縄文。 内面:横ナデ。	
71	表土	縄文土器	深鉢	外面:黒(Hue7.5YR2/1) 断面:灰褐(Hue7.5YR4/2) 内面:にぶい褐(Hue7.5YR5/3)~黒(Hue7.5YR2/1)	密(径1mm前後の長石を多く含む。)	良	外面:端部は横ナデ。 下部は右上りの斜め方向単節縄文。 内面:端部は横ナデ。 下部は右下りの斜め方向単節縄文。	
72	B3区No. 110	縄文土器	深鉢	外面:橙(Hue5YR6/6)~灰褐(Hue5YR6/2) 断面:にぶい橙(Hue5YR6/3) 内面:橙(Hue5YR6/6)~灰褐(Hue5YR5/2)	緻密(径1mm前後の石英・白雲母を極わずかに含む。)	良	外面:縦方向に単節縄文。 上面~内面:横方向に単節縄文。	

第4表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その4)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
73	B3区No. 111	縄文土器	深鉢	外面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/3) 内面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	緻密(径1mm未満の石英・カクセン石・長石を若干含む。)	良好	外面:縦方向に単節縄文。 上面~内面:横方向に単節縄文。	
74	C3区No. 32	縄文土器	深鉢	外面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 内面:明赤褐(Hue2.5YR5/6)	緻密(径1mm前後の石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面:縦方向に単節縄文。 上面~内面:横方向に単節縄文。	焼成後の穿孔あり。
75	B6区No. 14	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面:褐灰(Hue10YR5/1) 内面:褐灰(Hue10YR5/1)	緻密(径1mm前後の白雲母を若干含む。)	良	外面:縦方向に単節縄文。 内面:ナデ。	
76	C6区表土	縄文土器	深鉢	外面:褐灰(Hue10YR5/1) 断面:灰黄褐(Hue10YR6/2) 内面:灰黄褐(Hue10YR6/2)	密(径2~3mm前後の石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面:右下り斜め方向に単節縄文を回転施文。 内面:上部は右上り斜め方向に単節縄文を回転施文。	法量: 口径28cm 器高13.8+α cm
77	A5区No. 54	縄文土器	深鉢	外面:灰黄褐(Hue10YR5/2) ~にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	密(径1~5mmの石英・長石・カクセン石など若干含む。)	良	外面:右下り斜め方向に単節縄文を回転施文。 内面:ナデ。屈曲部は横ナデ。	
78	B4区No. 108	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/3) 断面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面:灰黄褐(Hue10YR5/2)	密(径4mm前後の石英を極わずかに径1mm前後のカクセン石をわずかに含む。)	良	外面:上部は横ナデ。 下部は右下り斜め方向に単節縄文を回転施文。 内面:横ナデ。	
79	C3区表土	縄文土器	深鉢	外面:灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面:灰褐(Hue7.5YR5/2) 内面:灰褐(Hue7.5YR5/2)	密(径5mmの長石と径1~2mm前後の石英・白雲母を若干含む。)	良	外面:右上りの斜め方向に単節縄文を回転施文。 内面:ナデ。	
80	C6区I層	縄文土器	深鉢	外面:灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面:灰褐(Hue7.5YR6/2) 内面:にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	密(径1~2mm前後の石英・長石・白雲母を若干含む。)	良	外面:右下りの斜め方向に単節縄文を回転施文。 内面:ナデ。	
81	B1区I層	縄文土器	深鉢	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:褐灰(Hue5YR5/1) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	密(径1mm前後の石英を若干含む。)	良	外面:右下りの斜め方向に単節縄文を回転施文。 内面:横ナデ。	
82	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面:灰褐(Hue5YR4/2) 断面:灰褐(Hue5YR4/2) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	密(径2~3mmの長石と径1mm前後の白雲母をわずかに含む。)	良	外面:右下りの斜め方向に単節縄文を回転施文。 内面:ナデ。	
83	C3区表土	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄褐(Hue10YR5/3) 断面:にぶい黄褐(Hue10YR6/3) 内面:灰黄褐(Hue10YR5/2)	密(径5mmの長石若干と径1~2mmの石英・長石・カクセン石を極わずかに含む。)	良	外面:右上り斜め方向に単節縄文を回転施文。 内面:ナデ。	
84	C3区表土	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄褐(Hue10YR5/3) 断面:灰黄褐(Hue10YR5/2) 内面:灰黄褐(Hue10YR5/2)	密(径1mm前後の石英・長石・白雲母を若干含む。)	良	外面:上部は右上り斜め方向に単節縄文を回転施文。 下部はナデ。 内面:横ナデ。	
85	8号集石遺構	縄文土器	深鉢	外面:黒褐(Hue7.5YR3/1) 断面:にぶい褐(Hue7.5YR5/3) 内面:灰褐(Hue7.5YR5/2)	密(径2~3mm前後の石英を若干と径1mm未満の白雲母を若干含む。)	良	外面:端部は指で押圧して横ナデ 押型文。 内面:ナデ。	
86	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面:にぶい褐(Hue7.5YR5/3) 断面:黒褐(Hue7.5YR3/1) 内面:灰褐(Hue7.5YR5/2)	密(径1mm未満の長石・白雲母をわずかに含む。)	良	外面:刻目突帯には右上りに刺突文が並ぶ。 横方向山形押型文 内面:横ナデ。	
87	B4区No. 101	縄文土器	壺	外面:灰黄褐(Hue10YR5/2) 断面:褐灰(Hue10YR4/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	密(径1~2mmの石英をわずかに含む。)	良好	外面:端部は刻目口縁。 口縁直下に刻目突帯。 刻目突帯には右上りの刺突文が並ぶ。 突帯下部には施文工具の痕と思われる右上りの凹線が並ぶ。 内面:上部に横方向山形押型文。下部は横ナデ。	
88	C3区表土	縄文土器	壺	外面:橙(Hue7.5YR7/6) ~にぶい橙(Hue7.5YR7/3) 断面:褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面:褐灰(Hue7.5YR5/1)	密(径1mm未満の石英・白雲母を若干含む。)	ムラあり	外面:刻目突帯に刺突文が並ぶ。 突帯下部には右上りに単節縄文を回転施文。 内面:横ナデ。	

第5表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その5)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
89	C4区No. 12	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 断面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	緻密(径1mm前後の石英・長石をわずかに含む。)	良	外面:右下り斜め方向に山形押型文。所々刺突文が並ぶ。 内面:ナデ。	
90	C4区No. 74	縄文土器	深鉢	外面:灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面:黄灰(Hue2.5Y5/1) 内面:浅黄(Hue2.5Y7/4)	密(径1~2mmの石英・長石をわずかに含む。)	良	外面:縦方向の山形押型文。所々刺突文が並ぶ。 下部はナデ。 内面:横ナデ。	
91	C4区No. 13	縄文土器	深鉢	外面:灰黄(Hue2.5Y6/2) 断面:黄灰(Hue2.5Y5/1) 内面:にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	密(径1~4mmの石英・長石を若干含む。)	良	外面:わずかに右下りの縦方向の山形押型文。一部刺突文あり。 内面:横ナデ。	
92	C4区No. 108	縄文土器	深鉢	外面:灰黄褐(Hue10YR6/2)~褐灰(Hue10YR6/1) 断面:灰黄褐(Hue10YR6/2) 内面:灰黄褐(Hue10YR6/2)	密(径1mm前後の石英を極わずかに含む。)	良	外面:単部は横方向山形押型文。頸部~くびれ部は縦方向の山形押型文。くびれ部の上部に刺突文が波状に並ぶ。 内面:口縁上部は横方向山形押型文。 下部は横ナデ。	法量: 口径39.3cm 器高18.2+α cm
93	B3区No. 94	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面:褐灰(Hue10YR5/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	緻密(径1mm未満の石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面:縦方向の山形押型文を地面文として微隆起線突帯が波状に巡る。 内面:口縁上部は横方向山形押型文。下部は横ナデ。	
94	C3区No. 97	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/3) 断面:にぶい黄橙(Hue10YR7/3) 内面:灰黄褐(Hue10YR6/2)	緻密(径1mm前後の石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面:微隆起線突帯が波状に巡る。地文は磨滅のためはっきりしない。 内面:横ナデ。	
95	B3区No. 167	縄文土器	深鉢	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:褐灰(Hue10YR4/1) 内面:褐灰(Hue10YR4/1)	密(径1mm前後の石英を極わずかに含む。)	良	外面:地文は右上りの条痕文。微隆起線突帯が巡る。 内面:右下りの横方向条痕文。	
96	C2区表土	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/3)~褐灰(Hue10YR6/1) 断面:褐灰(Hue10YR5/1) 内面:灰黄褐(Hue10YR6/2)	密(径1mm前後の石英をわずかに、径4mmの石英を極わずかに含む。)	ムラあり	外面:微隆起線突帯が波状に巡る。地文は磨滅のためはっきりしない。 内面:横ナデ。	
97	C4区No. 64	縄文土器	深鉢	外面:灰褐(Hue7.5YR4/2) 断面:にぶい褐(Hue7.5YR6/3) 内面:にぶい褐(Hue7.5YR6/4)	緻密(径1mm前後の石英・長石を若干含む。)	良	外面:地文は縦方向の山形押型文。微隆起線突帯が巡る。 内面:横ナデ。	
98	C3区No. 136 第9号集石遺構	縄文土器	深鉢	外面:明黄褐(Hue10YR7/6)~褐灰(Hue10YR5/1) 断面:褐灰(Hue10YR4/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	密(径1~2mmの石英・長石を多く含む。)	良	外面:貝殻腹縁擦。 貝殻条痕文。 内面:横ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
99	C2区No. 98	縄文土器	深鉢	外面:浅黄(Hue2.5Y7/4) 断面:黄灰(Hue2.5Y5/1) 内面:明黄褐(Hue10YR7/6)	やや粗い(径5mm前後の石英・長石を多く含む。)	ムラあり	外面:端部は貝殻腹縁刺突文。口縁部に貝殻腹縁刺突文。頸部に貝殻条痕文。 内面:粗い条痕文。	塞ノ神式 (貝殻文系)
100	表土	縄文土器	深鉢	外面:灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面:褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面:にぶい褐(Hue7.5YR5/4)	密(径5mmの石英をわずかに含む。)	良	外面:縦方向に貝殻腹縁刺突文。 内面:横ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
101	B6区No. 15	縄文土器	深鉢	外面:明黄褐(Hue10YR7/6) 断面:褐灰(Hue10YR5/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	密[径3mm前後の石英、径1mm未満の石英・長石を若干含む。]	良	外面:上部に縦方向に貝殻腹縁刺突文。下部に格子状押型文。 内面:ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
102	B2区表土	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 断面:褐灰(Hue10YR5/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	密(径1mm未満の石英・長石を若干含む。)	良	外面:上部に縦方向に貝殻腹縁刺突文。下部に格子状押型文。 内面:横ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
103	C4区1層	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面:褐灰(Hue10YR4/1) 内面:灰黄褐(Hue10YR5/2)	密(径2~4mmの石英、径1mm前後の長石を若干含む。)	良	外面:上部に縦方向に貝殻腹縁刺突文。下部に格子状押型文。 内面:ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
104	C3区No. 143	縄文土器	深鉢	外面:灰黄褐(Hue10YR5/2) 断面:褐灰(Hue10YR4/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR4/1)~褐灰(Hue10YR5/1)	密(径1mm前後の石英・白雲母を多く含む。)	良	外面:縦方向に貝殻腹縁刺突文。 内面:横ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)

第6表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その6)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
105	B5区No. 73	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue5YR6/6) 断面: にぶい橙(Hue5YR6/4) 内面: 橙(Hue5YR7/6) ~にぶい橙(Hue5YR6/4)	密(径1~2mmの石英・白雲母を若干含む。)	良	外面: 口縁端部に刻目。右下りの凹線文。地文に貝殻腹縁刺突文。内面: ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
106	B4区I層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい橙(Hue7.5YR7/4)~褐灰(Hue10YR4/1) 断面: にぶい橙(Hue10YR6/3) 内面: 褐灰(Hue10YR6/1)	やや粗い(径3mmの石英、径1mm前後のカクセン石・白雲母を多く含む。)	良	外面: 口縁直下に2条の凹線を配し、その間に貝殻腹縁で押捺施文。その下に右下りに凹線3条を配し、上の2本の間を貝殻腹縁で押捺施文。内面: ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
107	F5区I層	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR5/2) 断面: 灰黄褐(Hue10YR4/2) 内面: 褐灰(Hue10YR4/1)	密(径2~3mmの石英を若干含む。)	良	外面: 4条からなる貝殻条痕文。内面: 2~3条の貝殻条痕文。	塞ノ神式 (貝殻文系)
108	A5区No. 65	縄文土器	深鉢	外面: 浅黄橙(Hue10YR8/4) 断面: 褐灰(Hue10YR6/1) 内面: 褐灰(Hue10YR6/1)	密(径1~3mmの石英をわずかに含む。)	良	外面: 4条からなる貝殻条痕文。内面: ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
109	表土	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 断面: 褐灰(Hue10YR5/1) 内面: にぶい橙(Hue10YR6/3)	緻密。特に目立った細砂は無い。	良好	外面: 貝殻条痕文。内面: 端部は貝殻腹縁による刺突文。下部は横ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
110	B3区No. 219	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue7.5YR6/1)~明褐灰(Hue7.5YR7/2) 断面: 褐灰(Hue10YR4/1) 内面: 褐灰(Hue10YR4/1)	密(径1~2mmの石英・白雲母を若干含む。)	良	外面: 4条からなる貝殻条痕文。内面: ナデ。	塞ノ神式 (貝殻文系)
111	B3区No. 196	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue5YR6/6) 断面: にぶい橙(Hue5YR6/4) 内面: 橙(Hue5YR6/6)	密(径1mm前後の石英をやや多く含む。)	良	外面: 上部は縦方向に燃系文。下部は横方向に凹線。内面: 横方向に貝殻条痕文。	塞ノ神式 (燃系文系)
112	B4区I層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面: 浅黄橙(Hue7.5YR8/6) 内面: にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	密(径1mm未満の長石・石英・白雲母をわずかに含む。)	良	外面: 上部は縦方向に燃系文。下部は横方向に凹線。内面: 横ナデ。	塞ノ神式 (燃系文系)
113	B3区No. 226	縄文土器	深鉢	外面: 浅黄橙(Hue10YR8/4) 断面: 灰白(Hue10YR7/1) 内面: 褐灰(Hue10YR5/1)	密(径1mm未満の白雲母を多く含む。)	良好	外面: 右下りに燃系文。内面: ナデ。	塞ノ神式 (燃系文系)
114	C3区表土	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面: 灰黄褐(Hue10YR5/2)	緻密(径1mm前後の石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面: 縦方向に燃系文。内面: 横ナデ。	塞ノ神式 (燃系文系)
115	B3区I層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 断面: 褐灰(Hue10YR6/1) 内面: 灰黄褐(Hue10YR6/2)	密(径2~3mmの石英・長石を若干含む。)	良	外面: 右下りに燃系文。内面: ナデ。	塞ノ神式 (燃系文系)
116	B3区No. 224	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: 灰黄褐(Hue10YR5/2) 内面: 褐灰(Hue10YR5/1)	緻密。特に目立った細砂は無い。	良	外面: 燃系文。内面: 横ナデ。	塞ノ神式 (燃系文系)
117	C4区No. 3 &No. 22 &No. 24	縄文土器	深鉢	外面: 明黄褐(Hue10YR7/6) 断面: 黒(Hue10YR2/1) 内面: 灰黄褐(Hue10YR4/2)	密(径1mm未満の長石・石英を若干含む。)	良	外面: 口縁端部に刻目刺突文。口縁直下に凹線3条を配し、頸部にも現存破片では2条凹線を巡らせる。その間に凹線を上は1条下は2条山形に配し、上と下には刺突列点文を配し、1条と2条の山形の間は単節縄文で埋める。内面: 横ナデ。	塞ノ神式 法量: 口径22.6cm 器高7.8+ α cm
118	C4区I層	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue7.5YR6/6) 断面: 褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	密。特に目立った細砂は無い。	良	外面: 紋様の配置は117と同じで117の下半分の大きさ。上部に単節縄文があり、右下りの凹線があり、刺突列点文が巡り、2条の凹線が巡る。内面: 横ナデ。	塞ノ神式
119	B3区No. 158	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/3) 断面: 褐灰(Hue10YR5/1) 内面: 灰黄褐(Hue10YR6/2)	密(径1~2mmの石英・長石・白雲母を若干含む。)	良	外面: 屈曲部より上部は横ナデ。屈曲部より下部は凹線で重弧文。内面: 横ナデ。	手向山式

第7表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その7)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
120	B3区No. 92	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue10YR4/1) 断面: 灰黄褐(Hue10YR5/2) 内面: 灰黄褐(Hue10YR5/2)	密(径1~2mmの石英・長石・白雲母を若干含む。)	良	外面: 屈曲部より上部は横ナデ。 屈曲部より下部は凹線で重弧文。 内面: 横ナデ。	手向山式
121	B3区No. 159 第3号集石遺構	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR4/2) 断面: 灰黄褐(Hue10YR6/2) 内面: 灰黄褐(Hue10YR6/2)	密(径1mm前後の石英・長石を若干含む。)	良	外面: 口縁端部は、波状口縁。ヘラ削りの後、指押え。下部は凹線による重弧文。 内面: 横ナデ。	手向山式 法量: 口径24cm 器高7.9+ α cm
122	B5区No. 67 &No. 68	縄文土器	深鉢	外面: 黒褐(Hue5YR2/1) 断面: 灰褐(Hue5YR4/2) 内面: 橙(Hue5YR6/6)	密(径1mm未満の石英・長石・白雲母多く含む。)	良	外面: 口縁直下に刺突文を有するミズバネ状突帯を3条配し、その下に凹線を3つつ山、形に配置し間を横方向の凹線3つで埋めている。 内面: 口縁上部は横方向の山形押型文。 下部は横ナデ。	手向山式 (新) 法量: 推定口径 23.8cm 器高7.2+ α cm
123	A6区No. 53	縄文土器	深鉢	外面: 黒褐(Hue10YR3/2) 断面: にぶい黄褐(Hue10YR5/4) 内面: にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	緻密。特に目立った細砂は含まない。	良	外面: 口縁直下に3条の刺突文突帯を配し、その下に斜め方向の凹線文を互い違いに配す。 内面: 横ナデ。	天道ヶ尾式・ 妙見式 法量: 口径22.4cm 器高5.4+ α cm
124	A4区No. 69	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR5/2) 断面: 褐灰(Hue10YR4/1) 内面: 褐灰(Hue10YR4/1)	密(径1mm未満の白雲母を極わずかに含む。)	良	外面: 口縁端部に刻目。その直下に1条の刻目突帯を配し、その下に斜め方向の凹線文を互い違いに配す。 内面: 縦方向の山形押型文。	手向山式 (新) 法量: 口径21.7cm 器高5+ α cm
125	B4区No. 69 &SA2No. 18	縄文土器	深鉢	外面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4) ~ 褐灰(Hue7.5YR5/1) 断面: にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4) 内面: 褐灰(Hue7.5YR4/1) ~ にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	密(径1mm前後の石英・長石・カクセン石を多く含む。)	良	外面: 刺突文突帯を巡らせる。その下に斜め方向に凹線を配する。 内面: 横ナデ	手向山式 (新) 法量: 胴部最大径 28cm 器高5.5+ α cm
126	第8号集石遺構	縄文土器	深鉢	外面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4) ~ 黒褐(Hue7.5YR2/2) 断面: 褐灰(Hue7.5YR6/1) 内面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	密(径1mm前後の白雲母を多く含む。)	良	外面: 指頭押捺突帯の下に凹線3条を巡らせ、凹線を斜めに4条ずつ互い違いに三角形に配置する。 円形浮文を貼り付ける。 内面: 横ナデ。	手向山式 [新] 法量: 胴部最大径 28.4cm 器高9.6+ α cm
127	B3区No. 147	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR5/2) 断面: 灰黄褐(Hue10YR5/2) 内面: 褐灰(Hue10YR4/1)	密(径1~2mmの石英・長石を若干含む。)	良	外面: 上部は右上りの凹線。中央は3条の横方向の凹線。下部は右下りの凹線。 内面: ナデ。	曾畑式
128	A5区No. 61	縄文土器	深鉢	外面: 灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面: にぶい橙(Hue5YR6/3) 内面: にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	密(径3~4mmの石英若干と径1mm未満の長石・白雲母を極わずかに含む。)	良	外面: 上部は右上りの凹線。下部は4条の横方向の凹線。 内面: 横ナデ。	曾畑式
129	C5区I層	縄文土器	深鉢	外面: 黒褐(Hue5YR2/1) ~ 赤褐(Hue5YR4/6) 断面: 灰褐(Hue5YR4/2) 内面: 灰褐(Hue5YR4/2)	密(径1mm前後の石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面: 口縁直下に縦方向の貝殻腹押捺。 その下は横方向の条痕文を施し、その下は斜め方向の条痕文がある。 内面: 横ナデ。	轟1式 (鎌石橋式)
130	B3区No. 193	縄文土器	深鉢	外面: にぶい橙(Hue7.5YR7/4) 断面: 灰褐(Hue7.5YR6/2) 内面: 褐灰(Hue7.5YR6/1)	密(径1~2mmの石英・長石を若干含む。)	良	外面: 不定方向の条痕文。 内面: 横方向の条痕文。	轟1式 (鎌石橋式)
131	B3区No. 194	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue7.5YR5/1) 断面: 褐灰(Hue7.5YR6/1) 内面: にぶい橙(Hue5YR6/4)	密(径1~2mmの石英・長石をやや多く含む。)	良	外面: 不定方向の条痕文。 内面: 不定方向の条痕文。	轟1式 (鎌石橋式)

第8表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その8)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
132	A4区No. 55	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/2) 断面: 褐灰(Hue10YR6/1) 内面: 灰黄褐(Hue10YR6/2)	密(径1~4mmの石英・長石を若干含む。)	良	外面: 横方向の条痕文。 内面: 横ナデ。	轟1式
133	A4区No. 41	縄文土器	深鉢	外面: 赤灰(Hue2.5YR4/1) ~明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/3) 内面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/3)	密(径1~2mmの石英・長石を若干含む。)	良	外面: 上部は横方向の条痕文。下部は縦方向に微隆起線文。 内面: 横方向の条痕文。	轟1式
134	A4区No. 38	縄文土器	深鉢	外面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 断面: 褐灰(Hue5YR4/1) 内面: 灰褐(Hue5YR5/2)	密(径1mm前後の石英・長石を多く含む。)	良	外面: 縦方向に微隆起線文。 内面: 不定方向の条痕文の後、ナデ。	轟1式
135	C1区表土	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue7.5YR7/6) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	密(径1mm前後の石英・長石・カクセン石・白雲母を若干含む。)	良	外面: 縦方向に条痕文。 内面: 横ナデ。	轟1式
136	C4区表土	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue10YR5/1) 断面: にぶい黄褐(Hue10YR6/4) 内面: にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	密(径1mm前後のカクセン石・白雲母を若干含む。)	良	外面: 不定方向の条痕文。 内面: 横ナデ。	轟1式
137	B5区No. 185	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue2.5YR5/8) 断面: 灰褐(Hue5YR5/2) 内面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6)	密(径1mm前後の石英・カクセン石・白雲母を若干含む。)	良	外面: 不定方向の条痕文。 内面: 不定方向の条痕文の後、横ナデ。	轟1式
138	C2区No. 67 &No. 62 &No. 92 B2区No. 14 &No. 68 &No. 92 &No. 93 &No. 94	縄文土器	深鉢	外面: 褐灰(Hue7.5YR4/1) ~灰褐(Hue7.5YR6/2) 断面: 灰褐(Hue7.5YR6/2) 内面: にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	密(径1mm前後の長石を極わずかに含む。)	良	外面: 口縁端部は刻目。以下、7条の横方向の突帯を巡らせ。縦方向の突帯が4条づつ斜めを向いて互い違いに巡る。 内面: 上部は横方向の条痕文。 下部はナデ。	轟2式 法量: 口径24.1cm 器高13.7+α cm
139	B2区表土	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue7.5YR6/6) 断面: 灰褐(Hue7.5YR5/2) 内面: にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	緻密(径1mm未満の石英・カクセン石を若干含む。)	良	外面: 口縁端部は刻目。以下3条の横方向の突帯を巡らせる。 内面: 横方向の条痕文。	轟2式
140	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面: 灰黄褐(Hue10YR5/2) 断面: 褐灰(Hue10YR6/1) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	緻密(径1mm前後の長石をわずかに含む。)	良	外面: 横方向に微隆起突帯が巡る。 内面: 横方向の条痕文の後、横ナデ。	轟2式
141	SA1NO. 9	縄文土器	深鉢	外面: 浅黄(Hue2.5Y7/4) 断面: 浅黄(Hue2.5Y7/4) 内面: 浅黄(Hue2.5Y7/4)	密。特に目立った細砂を含まない。	良	外面: 横方向に微隆起突帯が巡る。 内面: 横ナデ。	轟2式
142	B3区No. 151	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue5YR6/6) ~灰褐(Hue5YR6/2) 断面: にぶい橙(Hue5YR6/4) 内面: 橙(Hue5YR6/6)	緻密(径4~5mmの石英・長石をわずかに含む。)	良好	外面: 複数の凹線を3角形状に配す。 内面: ナデ。	曾畑式
143	B2区No. 19	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) ~褐灰(Hue10YR6/1) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 内面: 浅黄(Hue2.5Y7/4)	緻密(径1mm未満の白雲母を若干含む。)	良	外面: 複数の凹線文を3核形状に配す。 内面: ナデ。	曾畑式
144	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面: 灰褐(Hue7.5YR5/2) 断面: 褐灰(Hue5YR5/1) 内面: にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	緻密(径1mm未満の白雲母を若干含む。)	良	外面: 上部は網目文。 下部は横ナデ。 内面: 上部は網目文。 下部は横ナデ。	
145	2トレンチI層	縄文土器	深鉢	外面: 橙(Hue5YR7/6) 断面: にぶい橙(Hue5YR7/3) 内面: 褐灰(Hue5YR4/1)	密(径1~2mmの石英を若干含む。)	良	外面: 斜格子状凹線文。 内面: ナデ。	
146	II区表土	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	密(径1~2mmのカクセン石・長石・白雲母を若干含む。)	良	外面: 斜格子状凹線文。 内面: ナデ。	
147	表土	縄文土器	深鉢	外面: 暗赤灰(Hue2.5YR3/1) 断面: 暗赤褐(Hue2.5YR3/2) 内面: 暗赤褐(Hue2.5YR3/6)	密[径1mm前後の石英・白雲母をわずかに含む。]	良好	外面: 突帯を巡らし、下部に斜格子状凹線文。 内面: ナデ。	
148	C4区No. 32	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: 褐灰(Hue10YR4/1) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	密(径1mm前後の長石を若干含む。)	良	外面: 斜め方向に凹線文。格子状かどうかはこの破片では不明。 内面: 横ナデ。	
149	B4区I層	縄文土器	深鉢	外面: にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 断面: 褐灰(Hue10YR5/1) 内面: 灰黄褐(Hue10YR6/2)	緻密(径3mm前後の石英、径1mm前後の長石を若干含む。)	良	外面: 右下りの斜め方向に凹線文。 内面: 横ナデ。	

第9表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その9)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
150	C4区I層	縄文土器	深鉢	外面:浅黄(Hue2.5Y7/4) ~黄灰(Hue2.5Y5/1) 断面:黄灰(Hue2.5Y4/1) 内面:黒(Hue2.7Y2/1)	密(径1mm前後の石英・長石をやや多く含む。)	ムラあり	外面:横ナデ。貝殻による斜め方向の凹線文。 内面:ナデ。	
151	C3区表土	縄文土器	深鉢	外面:黒褐(Hue5YR3/1) 断面:にぶい橙(Hue5YR6/4) 内面:橙(Hue5YR6/6) ~褐灰(Hue10YR5/1)	密(径1mm前後の白雲母・長石をわずかに含む。)	良	外面:口縁端部に刻目。横方向に凹線文。 内面:条痕文の後、ナデ。	轟1式
152	C4区No. 62	縄文土器	深鉢	外面:黒(Hue7.5YR1.7/1) 断面:灰褐(Hue7.5YR5/2) 内面:黒褐(Hue7.5YR3/1)	緻密[径1mm前後の石英・白雲母を若干含む。]	良	外面:口縁直下に4条の凹線文。 内面:横ナデ。	
153	C4区I層	縄文土器	深鉢	外面:灰黄褐(Hue10YR4/2) 断面:にぶい黄褐(Hue10YR6/4) 内面:褐(Hue7.5YR4/6)	緻密(径1mm未満の長石をわずかに含む。)	良	外面:2条の凹線の下に横方向山形条痕文。 内面:横ナデ。	
154	B2区No. 88	縄文土器	深鉢	外面:褐灰(Hue7.5YR4/1) 断面:褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面:褐灰(Hue7.5YR5/1)	密(径1~2mmの長石を若干含む。)	良	外面:横方向に微隆起突帯。 内面:横方向に微隆起突帯2条。横ナデ。	手向山式
155	C4区I層	縄文土器	深鉢	外面:にぶい橙(Hue7.5YR6/4) 断面:褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面:にぶい黄褐(Hue10YR5/1)	密(径1mm未満の白雲母・長石をわずかに含む。)	ややあまい	外面:地文が右下りの単節縄文。所々豆状突帯。 内面:ナデ。	天道ヶ尾式・妙見式
156	C1区表土	縄文土器	深鉢	外面:黒(Hue5YR2/1) ~橙(Hue5YR6/6) 断面:黒褐(Hue5YR3/1) 内面:黒褐(Hue5YR3/1)	緻密(径1mm前後の石英・長石・白雲母を若干含む。)	良	外面:地文が右上りの単節縄文。上部は山形凹線文。 内面:横ナデ。	手向山式
157	B5区表土	縄文土器	短頸壺	外面:にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 断面:黒褐(Hue10YR3/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	緻密。特に目立った細砂は見られない。	良	外面:口縁端部に貝殻による列点文。頸部に縦方向の凹線。頸部直下に突帯。 内面:横ナデ。	手向山式
158	C1区表土	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄橙(Hue10YR6/4) 断面:褐灰(Hue10YR4/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	密(径1mm未満の白雲母多い。)	良	外面:上部は凹線文と刺突列点文。下部は右下りの単節縄文。 内面:横ナデ。	平袴式
159	B3区No. 221	縄文土器	深鉢	外面:橙(Hue7.5YR7/6) 断面:浅黄(Hue2.5Y7/3) ~橙(Hue7.5YR7/6) 内面:浅黄(Hue2.5Y7/3) ~橙(Hue7.5YR7/6)	緻密(径1mm未満の白雲母わずかに含む。)	良	外面:上部は右上りの凹線。中ほどは右下りの凹線。下部は横方向の凹線を配し、中ほどに刺突列点文を施す。 内面:ナデ。	平袴式
160	C1区No. 42	縄文土器	深鉢	外面:黄橙(Hue7.5YR7/8) 断面:褐灰(Hue10YR4/1) 内面:にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	緻密(径1mm前後の石英・長石・カクセン石をわずかに含む。白雲母多い。)	良	外面:口縁端部に刻目。口縁下部は横方向に凹線文。 内面:横ナデ。	
161	C3区表土	縄文土器	深鉢	外面:赤褐(Hue5YR4/8) 断面:褐灰(Hue5YR5/1) 内面:赤褐(Hue5YR4/6)	密(径4~5mmの石英を若干含む。)	良	外面:ナデ。把手をつくる。 内面:横ナデ。	稻荷山式 把手付無文土器
162	II区	縄文土器	深鉢	外面:橙(Hue2.5YR6/8) 断面:赤灰(Hue2.5YR4/1) 内面:明赤褐(Hue2.5YR5/6)	密(径1~2mmの石英・白雲母・カクセン石を若干含む。)	良	外面:ナデ。把手をつくる。 内面:横ナデ。	稻荷山式 把手付無文土器
163	C1区No. 39	縄文土器	深鉢	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:褐灰(Hue5YR4/1) 内面:明赤褐(Hue2.5YR5/6)	緻密(径3~5mmの石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面:横ナデ。 内面:横ナデ。	
164	C2区No. 100	縄文土器	深鉢	外面:赤灰(Hue2.5YR4/1) 断面:暗赤灰(Hue2.5YR3/1) 内面:赤灰(Hue2.5YR4/1) ~にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	密(径2~3mmの石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面:横ナデ。 内面:横ナデ。	
165	C3区No. 1 &No. 2 &No. 3	縄文土器	浅鉢	外面:にぶい橙(Hue7.5YR7/3) 断面:褐灰(Hue7.5YR5/1) 内面:明褐灰(Hue7.5YR7/2)	密。特に目立った細砂は見られない。	良	外面:凹線と刺突文で紋様を描く。一部、ミガキ。口縁上部を波形に4ヶ所突出させ、端部に渦巻文をS字形に描く。 内面:ミガキ。横ナデ。	鐘ヶ崎式 法量: 口径21.4cm 器高12.3+ α cm 頸部径18.2cm 胴部最大径20.3cm
166	A6区No. 20 & A5区No. 5	縄文土器	浅鉢	外面:灰褐(Hue7.5YR6/2) ~にぶい橙(Hue7.5YR6/4) 断面:褐灰(Hue7.5YR6/1) 内面:にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	密(径1mm前後のカクセン石・輝石を若干含む。)	良	外面:凹線文と刺突文と縄文で紋様を描く。 内面:ナデ。横ナデ。	鐘ヶ崎式

第10表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その10)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
167	B3区I層	縄文土器	浅鉢	外面: 灰褐(Hue7.5YR6/2) ~ 褐灰(Hue7.5YR5/1) 断面: 灰褐(Hue7.5YR6/2) 内面: 灰褐(Hue7.5YR6/2)	密(径1~2mmの石英・長石を多く含む。)	良	外面: 口縁を袋状に丸く内湾させ、2条の凹線の間を右下りの単節縄文で埋め、まわりはナデ消し。内面: 横ナデ。	鐘ヶ崎式
168	B3区No. 32	縄文土器	深鉢	外面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4) ~ 灰褐(Hue7.5YR5/2) ス: 黒(HueN1.5/0) 断面: 灰褐(Hue7.5YR6/2) 内面: 灰褐(Hue7.5YR6/2)	緻密(径1mm未満の長石を極わずかに含む。)	良好	外面: 上部は2条の凹線文の間を刺突文で埋め、下部は2条の凹線文の間を右下りの単節縄文で埋め、まわりはナデ消し。内面: 横ナデ。	西平式
169	B5区I層	縄文土器	深鉢	外面: 灰褐(Hue7.5YR4/2) 断面: にぶい褐(Hue7.5YR5/4) 内面: 橙(Hue7.5YR6/6)	密(径5mmの石英径1~2mmのカクセン石を多く含む。)	良	外面: 地文に右下りの単節縄文を施し、4条の凹線文を巡らせる。内面: ナデ。	西平式
170	A5区No. 19	縄文土器	深鉢	外面: にぶい橙(Hue7.5YR7/4) ~ 褐灰(Hue7.5YR5/1) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	密(径1~3mmの石英を多く含む。)	良	外面: 横方向に凹線を巡らせ、右上りの斜めの凹線を巡らせる。内面: 横ナデ。	西平式
171	B4区I層	縄文土器	浅鉢	外面: 灰褐(Hue7.5YR4/2) 断面: 灰褐(Hue7.5YR5/2) 内面: 褐灰(Hue7.5YR4/1)	緻密(径1mm前後の石英・白雲母をわずかに含む。)	良	外面: 口縁端部に右下りの単節縄文を巡らせ、1条の凹線を横方向に巡らせ、その下に三角形に囲まれた部分に垂下曲線を描く。内面: ミガキ。	西平式
172	A5区N. 64	縄文土器	浅鉢	外面: 褐灰(Hue10YR5/1) 断面: にぶい黄橙(Hue10YR7/2) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR7/2) ~ 褐灰(Hue10YR5/1)	密(径1~3mmの石英・長石・カンラン石を若干含む。)	良	外面: 上部に1条の凹線。中ほどに2条の凹線を巡らせ、その間を右下りの単節縄文で埋める。内面: 横ナデ。	西平式
173	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6) 内面: 明赤褐(Hue2.5YR5/6)	緻密(径1mm前後の石英をわずかに含む。)	良	外面: 右下りの単節縄文を地文とし、右上りの2条の凹線や左に倒したT字形文などを配置する。内面: 横ナデ。	
174	C4区No. 99	縄文土器	浅鉢	外面: 明赤褐(Hue5YR5/6) 断面: 明赤褐(Hue5YR5/6) 内面: 明赤褐(Hue5YR5/6)	密(径1mm前後の石英・長石を極わずかに含む。)	良	外面: 上部は横方向の凹線を巡らせ、中程に3条の凹線を右下で合わせ、竹管文を施す。内面: 横ナデ。	西平式
175	D3区No. 2	縄文土器	浅鉢	外面: にぶい褐(Hue7.5YR5/3) 断面: 褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面: にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	緻密(径2mm前後の石英を若干含む。)	良	外面: 口縁部は右下りの単節縄文を地文とし、2条の横方向の凹線文と縦方向の2ヶ所刺突文を施す。頸部以下は左下りにヘラミガキ。内面: 横ナデ。	西平2式
176	B6区No. 8 & B4区No. 28	縄文土器	浅鉢	外面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 断面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 内面: 褐灰(Hue7.5YR4/1)	やや粗。(径1~5mmの石英・長石・白雲母・カクセン石を多く含む。)	良	外面: 口縁部は横ナデ。他は横方向の条痕文。内面: 口縁部は横ナデ。他は横方向の条痕文。	三万田5式 法量: 口径37.2cm 器高: 11.5+ α cm
177	C3区No. 21	縄文土器	浅鉢	外面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 断面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 内面: にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	やや粗。(径1~5mmの石英・長石・白雲母・カクセン石を多く含む。)	良	外面: 口縁部は横ナデ。他は横方向の条痕文。内面: 口縁部は横ナデ。他は横方向の条痕文。	三万田4式 法量: 口径42cm 器高: 7+ α cm
178	B5区No. 10	縄文土器	浅鉢	外面: 黒褐(Hue10YR3/2) 断面: 黒褐(Hue10YR3/2) 内面: 黒褐(Hue10YR3/2)	やや粗。(径1~5mmの石英・長石・白雲母・カクセン石を多く含む。)	良	外面: 口縁直下に横方向凹線。屈曲部直上に横方向の凹線。横方向にヘラミガキ。内: 口縁直下に横方向の凹線。他は横ナデ。	三万田3式 法量: 口径30cm 器高: 6.3+ α cm
179	B2区I層	縄文土器	浅鉢	外面: 暗赤褐(Hue10R3/2) 断面: 赤(Hue10R4/6) 内面: 赤黒(hue10R2/1)	緻密(径1mm前後の長石・白雲母・カクセン石を若干含む。)	良好	外面: 横方向のミガキ。屈曲部上面に凹線。内面: 横方向のミガキ。	三万田4式 法量: 口径38.5cm 器高: 8.3+ α cm
180	II区I層	縄文土器	浅鉢	外面: 明赤褐(Hue5YR5/6) 断面: 明赤褐(Hue5YR5/6) 内面: にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	緻密(径1mm前後の石英・長石・白雲母を極わずかに含む。)	良好	外面: 横方向のミガキの後、横ナデ 内面: 横ナデ。	三万田3式

第11表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その11)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
181	C5区I層	縄文土器	浅鉢 (八角形)	外面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 断面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 内面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	緻密(径1mm未満の白雲母多い。)	良好	外面:横ナデ。 屈曲部上に凹線。 内面:横ナデ 屈曲部とその下に凹線。 焼成後の穿孔あり。	三万田3式 法量: 口径24cm 器高4.1+ α cm
182	C2区No. 114	縄文土器	浅鉢	外面:赤黒(Hue2.5YR2/1) 断面:にぶい黄褐(Hue2.5YR5/4) 内面:赤黒(Hue2.5YR2/1)	緻密。特に目立った細砂は見られない。	良好	外面:横ナデ。 内面:横ナデ 焼成後の穿孔あり。	三万田2式
183	A4区No. 8	縄文土器	深鉢	外面:にぶい橙(Hue5YR6/3) 断面:にぶい橙(Hue5YR6/4) 内面:にぶい橙(Hue5YR6/4)	やや粗(径1~3mmの石英・長石・カンラン石を多く含む。)	ヒビが多く不良	外面:口縁部は横ナデ。 下部はミガキ。 内面:口縁部は横ナデ。 下部はハケ目状ナデ。	法量: 口径30cm 器高9+ α cm
184	B0区No. 1	縄文土器	深鉢	外面:にぶい黄褐(Hue10YR5/3) 断面:灰黄褐(Hue10YR5/2) 内面:にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	密(径1~2mmの石英・長石・白雲母を多く含む。)	良	外面:ナデ。 内面:口縁部はナデ。 下部はハケ目状ナデ。	
185	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面:黒褐(Hue5YR3/1) 断面:黒褐(Hue5YR3/1) 内面:黒褐(Hue5YR3/1)	密(径1mm未満の石英・長石・白雲母・カクセン石を多く含む。)	良	外面:突帯部分はナデ。 他は横ナデ。 内面:横ナデ。 外面に口縁にそって2条の突帯が巡り、下の突帯から下に曲がった突帯が垂れ下がる。	
186	C1区I層	縄文土器	深鉢	外面:橙(Hue5YR6/6) 断面:明赤褐(Hue5YR6/6) 内面:にぶい黄褐(Hue10YR6/4)	密(径1mm前後の長石・カクセン石・白雲母を極わずかに含む。)	良好	外面:ナデ。 横長で楕円形の把手がつく。 内面:横ナデ。	
187	A6区No. 40	縄文土器	深鉢	外面:にぶい褐(Hue7.5YR5/4)~橙(Hue7.5YR6/6) 断面:にぶい褐(Hue7.5YR5/3) 内面:(Hue7.5YR5/4)	密(径3mmの石英・径1mm未満のカクセン石・白雲母を多く含む。)	良	外面:口縁はナデ。下部は横方向の貝殻条痕文。 内面:横ナデ。 焼成後の穿孔あり。	
188	A6区No. 33	縄文土器	深鉢	外面:橙(Hue7.5YR6/6) 断面:にぶい褐(Hue7.5YR5/3) 内面:橙(Hue7.5YR6/6)	緻密(径1mm未満の石英・長石を若干と径1mm未満のカクセン石を多く含む。)	良	外面:口縁は丁寧なナデ。 下部は横方向の貝殻条痕文 内面:横ナデ。	
189	A5区No. 70 & No. 72	縄文土器	鉢	外面:黒褐(Hue2.5YR1.7/1)~赤灰(Hue2.5YR6/4) 断面:にぶい橙(Hue5YR6/4) 内面:にぶい橙(Hue5YR5/4)	密(径1~2mmの石英・長石・白雲母を多く含む。)	良	外面:丁寧な横ナデ。 内面:口縁は丁寧な横ナデ。 下部は粗い横ナデ。	
190	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面:黒(Hue7.5YR2/1) 断面:褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面:褐灰(Hue7.5YR4/1)	やや粗(径1mm前後の石英・長石を若干含む。)	良	外面:口縁は横ナデ。 下部は横方向のミガキ。 内面:横ナデ。	御領式 法量: 口径28cm 器高5.4+ α cm
191	B3区No. 125	縄文土器	深鉢	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	緻密[径1~2mmの石英・長石・カクセン石を所々含む。]	良	外面:横ナデ。 内面:横ナデ。	御領式 法量: 口径25cm 器高4.6+ α cm
192	A4区No. 18	縄文土器	深鉢	外面:褐灰(Hue7.5YR5/1)~にぶい褐(Hue7.5YR6/3) 断面:褐灰(Hue7.5YR5/1) 内面:褐灰(Hue7.5YR5/1)	密(径1~2mmのカクセン石・石英・白雲母多い。)	良	外面:横ナデ。 口縁下に左下りの凹線がある。 内面:横ナデ	
193	C4区No. 58	縄文土器	深鉢	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/3) 断面:灰褐(Hue5YR5/2) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	密(径1~2mmの石英・白雲母をわずかに含む。)	良	外面:横ナデ。 内面:横ナデ。	
194	B2区No. 7	縄文土器	深鉢	外面:黒褐(Hue5YR2/1) 断面:灰褐(Hue5YR5/2) 内面:褐灰(Hue5YR4/1)	やや粗(径1~4mmの石英・長石・カクセン石を多く含む。)	良	外面:丁寧な横ナデ。 内面:粗い横ナデ。	
195	A6区No. 32	縄文土器	深鉢	外面:褐灰(Hue5YR4/1) 断面:にぶい赤褐(Hue5YR5/3) 内面:黒褐(Hue5YR3/1)	密(径1~3mmの石英・長石・白雲母多く含む。)	良	外面:口縁は丁寧な横ナデ。下部は粗い横ナデ。 内面は丁寧な横ナデ。	
196	B2区I層	縄文土器	深鉢	外面:赤黒(Hue2.5YR2/1)~にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4) 断面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) 内面:にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	密(径1~2mmのカクセン石・石英・白雲母多く含む。)	良好	外面:口縁は横ナデ。 下部は右下りに条痕文。 内面:横ナデ。	御領式 法量: 口径32.2cm 器高6.3+ α cm
197	B5区No. 31	縄文土器	浅鉢	外面:黒褐(Hue5YR2/1) 断面:灰褐(Hue5YR5/2) 内面:灰褐(Hue5YR5/2)	緻密(径1mm未満の白雲母多く含む。径2mmの石英を極わずかに含む。)	良好	外面:ミガキ 内面:口縁部はミガキ。 下部は横ナデ。	法量: 口径22.5cm 器高3.0+ α cm

第12表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その12)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
198	C2区1層	縄文土器	浅鉢	外面:黒褐(Hue5YR2/1) ~褐灰(Hue5YR5/1) 断面:暗赤褐(Hue5YR3/3) 内面:暗赤褐(Hue5YR3/3) ~にぶい赤褐(Hue2.5YR5/3)	やや粗(径2~3mmの石英と径1mm前後の長石・カクセン石を多く含む。)	良	外面:口縁部及び突帯部は横ナデ。胴部はナデ。内面:上部はケズリ。下部はナデ。	法量: 口径18cm 器高7+ α cm
199	C4区No. 107	縄文土器	深鉢	外面:褐灰(Hue10YR4/1) 内面:にぶい黄橙(Hue5YR7/4) 断面:灰白(Hue10YR7/1)	密(径1mm前後のカクセン石・白雲母を多く含む。)	良	外面:口縁部は条痕文。下部はミガキの後横ナデ。内面:口縁部は条痕文。下部は横ナデ。	法量: 口径43.8cm 器高6.3+ α cm
200	A3区No. 15	縄文土器	無頸壺	外面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) ~灰赤(Hue2.5YR5/2) 断面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) ~灰赤(Hue2.5YR5/2) 内面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) ~灰赤(Hue2.5YR5/2)	密(径2~4mmの石英を極わずかに含む。)	良好	外面:口縁部は横ナデ。下部は右上りの条痕文。内面:口縁部は横ナデ。下部は右下りの条痕文。	法量: 口径25.9cm 器高8+ α cm
201	C4区No. 79	縄文土器	深鉢 底部	外面:にぶい橙(Hue7.5YR7/4) 断面:褐灰(Hue7.5YR4/1) 内面:にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	密(径1mm未満の石英を極わずかに含む。)	良	外面:底部に板目痕らしきもの残る。ナデ。内面:ナデ。屈曲部は横ナデ。	法量: 器高1.5+ α cm 底径13cm
202	B4区No. 12	縄文土器	深鉢 底部	外面:明赤褐(Hue5YR5/6) 断面:褐灰(Hue5YR4/1) 内面:褐灰(Hue5YR4/1)	密(径1~2mmの長石・石英を多く含む。)	良	外面:ナデ。内面:ナデ。	法量: 器高4+ α cm 底径12cm
203	A5区No. 16	縄文土器	深鉢 底部	外面:赤褐(Hue5YR4/6) 断面:赤褐(Hue5YR4/6) 内面:赤褐(Hue5YR4/6)	密(径1~2mmの石英・長石・カクセン石をややまばらに含む。)	良	外面:底面はナデ。立ち上りは横ナデ。内面:ナデ。	法量: 器高3.6+ α cm 底径12.2cm
204	A4区No. 22	縄文土器	深鉢 底部	外面:赤褐(Hue5YR4/6) 断面:赤褐(Hue5YR4/6) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR4/3)	密(径1~3mmの石英・長石・カクセン石を多く含む。)	良	外面:底面はナデ。立ち上りは横ナデ。内面:ナデ。	法量: 器高3+ α cm 底径9.7cm
205	B3区No. 96	縄文土器	深鉢 底部	外面:にぶい赤褐(Hue5YR4/4) 断面:にぶい赤褐(Hue5YR5/3) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	密(径1~5mmの石英・カクセン石・長石をわずかに含む。)	良	外面:底面は平行ミガキ。屈曲部はケズリ。立ち上りは横方向のミガキ。内面:ナデ。	法量: 器高2.9+ α cm 底径9.8cm
206	B2区No. 105	縄文土器	深鉢 底部	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 内面:灰褐(Hue5YR4/2)	やや粗(径1~4mmの石英・長石・カクセン石・白雲母をまばらに含む。)	良	外面:底部はナデ。小石の圧痕が所々残る。立ち上がりは横ナデ。内面:ナデ。	法量: 器高2.4+ α cm 底径10cm
207	A4区No. 3	縄文土器	深鉢 底部	外面:赤褐(Hue2.5YR4/6) 断面:赤褐(Hue2.5YR4/6) 内面:灰赤(Hue2.5YR4/2)	密(径1~2mmの長石・白雲母をまばらに含む。)	良	外面:底面はヘラ状工具でナデ。立ち上がりは横ナデ。内面:ナデ。	法量: 器高2.5+ α cm 底径9cm
208	B3区No. 145	弥生土器	甕 底部	外面:にぶい黄褐(Hue19YR5/3) 断面:にぶい黄褐(Hue19YR5/3) 内面:にぶい黄褐(Hue19YR5/3)	密(径1~2mmの石英・長石を多く含む。)	良	外面:底面はナデ。5mm×3mmの粗圧痕あり。立ち上がりはハケ目。内面:ハケ目	法量: 器高3.4+ α cm 底径7cm
209	C3区No. 160	縄文土器	浅鉢 底部	外面:にぶい黄橙(Hue10YR7/3) 断面:灰黄褐(hue10YR5/2) 内面:褐灰(Hue10YR4/1)	密(径1mm未満の長石を極わずかに含む。)	良	外面:底部中央はナデ。底部外側から立ち上がり部は横ナデ。内面:横ナデ。	法量: 器高2.0+ α cm 底径8.4cm
210	C4区No. 6	縄文土器	深鉢 底部	外面:明赤褐(Hue5YR5/6) 断面:明赤褐(Hue5YR5/6) 内面:明赤褐(Hue5YR5/6)	密(径1~3mmの石英・長石をわずかに含む。)	良	外面:ナデ。内面:ナデ。	法量: 器高4.4+ α cm 底径8.4cm
211	B3区No. 173	縄文土器	深鉢 底部	外面:赤褐(Hue5YR4/6) 断面:赤褐(Hue5YR4/6) 内面:赤褐(Hue5YR4/6)	密(径2~3mmの石英と径1mm未満の白雲母を若干含む。)	良	外面:立ち上がり部は粗いヘラ削り。底部は横ナデ。内面:横ナデ。	法量: 器高3.7+ α cm 底径10cm
212	B5区No. 6	縄文土器	深鉢 底部	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	やや粗(径1~4mmの石英・長石・カクセン石多く含む。)	良	外面:横ナデ。内面:ナデ。	法量: 器高1.8+ α cm 底径9.8cm
213	B2区1層	縄文土器	深鉢 底部	外面:にぶい橙(Hue5YR6/4) ~灰褐(Hue5YR5/2) 断面:にぶい橙(Hue5YR6/4) 内面:にぶい橙(Hue5YR6/3)	密(径1mm未満の長石を若干含む。)	良	外面:立ち上がり部は横方向の条痕文。底部は、中央ナデ。周辺は横ナデ。内面:ナデ。	法量: 器高4+ α cm 底径8.4cm

第13表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その13)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	色調	胎土	焼成	調整	その他
214	A5区No. 40	縄文土器	深鉢 底部	外面:明赤褐(Hue5YR5/6) 断面:明赤褐(Hue5YR5/6) 内面:明赤褐(Hue5YR5/6)	密(径1~2mmの 石英・長石を多く含 む。)	良	外面:横ナデ。 内面:ナデ。	法量: 器高5.8+ α cm 底径6cm
215	B5区No. 32	縄文土器	深鉢 底部	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	密(径1~3mmの 石英若干と径1mm 未満の白雲母を多く 含む。)	良	外面:底部中央は平行方 向のヘラミガキ。底部周辺 は回転方向のヘラミガキ。 立ち上がり部は横ナデ。 内面:ナデ。	法量: 器高2.5+ α cm 底径6.6cm
216	II区1層	縄文土器	深鉢 底部 尖底	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/3) 断面:褐灰(Hue5YR4/1) 内面:褐灰(Hue5YR4/1)	やや粗(径1~3mmの 石英・カクセン石・ 長石を多く含む。)	良	外面:ナデ。所々指頭痕あ り。 内面:ナデ。	法量: 器高4+ α cm
217	B3区No. 97	縄文土器	深鉢 底部 上底	外面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 断面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 内面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	緻密(径1mm未満 の白雲母を多くと 径4~5mmの茶色 粒子を若干含む。)	良	外面:高台部は横ナデ。 立ち上がり部はナデ。 内面:ナデ。	法量: 器高4.9+ α cm 底径8.4cm
218	SA2 No. 54	弥生土器	甕	外面:橙(Hue5YR6/6) 断面:にぶい赤褐(Hue5YR5/4) 内面:明赤褐(Hue5YR5/6)	密(径1~2mmの 石英・長石・カクセン 石・白雲母を若干 含む。)	良	外面:横ナデ。 内面:横ナデ。	後期前葉 法量: 口径21.6cm 器高12.3+ α cm
219	SA2	弥生土器	把手 付小 型壺	外面:にぶい橙(Hue7.5YR7/3) ~黒(HueN1.5/0) 断面:にぶい橙(Hue7.5YR7/3) ~黒(HueN1.5/0) 内面:にぶい橙(Hue7.5YR7/3) ~黒(HueN1.5/0)	緻密(径1mm未満 の白雲母を若干含 む。)	良好	外面:口縁~頸部は横ナデ を施す。胴部上面と下面 は縦方向のヘラミガキ。 胴部最大径は横方向 のヘラミガキ。 底部は平行方向のミガキ。 内面:口縁~頸部は横ナデ を施す。頸部に所々指圧痕 が残る。	畿内第IV様式 水注形土器 に類似する。 法量: 口径9cm 器高18.8cm 底径6.8cm 胴部最大径 16.7cm
220	SA2	弥生土器	甕	外面:明赤褐(Hue2.5YR5/6) 断面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) 内面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	密(径6~7mmの茶 色粒子を極わずかに 含む。)	良	外面:頸部は横ナデ。胴部 はナデ。 内面:頸部は横ナデ。胴部 はナデ。	法量: 器高29.3+ α cm 胴部最大径 25.2cm
221	SA2	弥生土器	甕	外面:橙(Hue7.5YR6/6) ~灰褐(Hue7.5YR4/2) 断面:灰褐(Hue7.5YR4/2) 内面:灰褐(Hue7.5YR4/2)	密(径1~3mmの 石英・長石・白雲母 を若干含む。)	良	外面:口縁部及び突帯は 横ナデ。その他の胴部は ナデ。 内面:口縁部は横ナデ。 胴部~底部はナデ。	法量: 口径25.6cm 器高45.8+ α cm 底径3.7cm
222	SA2 No. 10 &No. 69	弥生土器	工字 突帯 甕	外面:にぶい橙(Hue7.5YR6/4) ~黒(Hue7.5YR1.7/1) 断面:にぶい橙(Hue7.5YR6/4) 内面:にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4) ~褐灰(Hue5YR5/1)	やや粗(径1~3mmの 石英・長石・カクセ ン石・白雲母を多く 含む。)	良	外面:口縁部及び突帯は 横ナデ。その他の胴部は ナデ。 内面:口縁部は横ナデ。 胴部はナデ。	法量: 口径33.6cm 器高21.3+ α cm
223	SA1 No. 26	弥生土器	長頸 壺	外面:にぶい橙(Hue7.5YR7/4) 断面:灰褐(Hue7.5YR6/2) 内面:灰褐(Hue7.5YR6/2)	密(径2~3mmの 石英・長石等をまばら に含む。)	良	外面:口縁部及び頸部と 胴部の境は横ナデ。 頸部および胴部は縦方向 のハケ目。底部に1ヶ所 焼成後の穿孔がある。 底部は磨滅しているが横 ナデと思われる。 内面:口縁部は横ナデ。 あとはナデで、所々に指 圧痕が残る。	法量: 口径14.5cm 器高36.9cm 底径4.6cm
224	SA2	弥生土器	複合 口縁 壺	外面:橙(Hue5YR7/6) 赤色顔料:赤(Hue7.5R4/6) 断面:褐灰(Hue7.5YR5/1) 内面:にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	緻密(径1~2mmの 石英・長石・白雲母 ・カクセン石を若干 含む。)	良好	外面:口縁端部と屈曲部と 頸部の突帯は横ナデ。 複合口縁上部には楕圓 波状文を3段にわたって 施す。複合口縁下部と 胴部には縦方向のハケ目 を施す。胴部最大径部の 突帯には斜格子文を施す。	安国寺式 法量: 口径13.8cm 器高28+ α cm
225	SA2 No. 1	弥生土器	円形 及び 勾玉 浮文 壺	外面:にぶい褐(Hue7.5YR6/3) ~褐灰(Hue7.5YR5/1) 断面:にぶい褐(Hue7.5YR6/3) 内面:灰褐(Hue7.5YR6/2)	密(径1~3mmの 石英・長石を若干 含む。)	良	外面:口縁上面に円形浮 文を頸部直下の3条の三 角突帯の下の側面に勾玉 浮文を口縁側面には山形 文を施す。頸部~胴部上 半は縦方向のハケ目。 内面:口縁は横ナデ。 胴部はナデ。	法量: 口径23.2cm 器高57+ α cm 推定底径7.2cm

第14表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その14)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	法量・重量・材料・色調	備考
226	表土	打製石器	石鏃	法量: 2.3+ α cm × 1.75cm × 0.5cm 重量: 1.56g 材質: チャート 色調: 灰(Hue7.5Y4/1)	
227	B5区No. 53	打製石器	石鏃	法量: 2.2+ α cm × 1.8cm × 0.5cm 重量: 1.21g 材質: チャート 色調: 灰(HueN4/0)	
228	A3区I層	打製石器	石鏃	法量: 1.4cm × 1.5cm × 0.35cm 重量: 0.58g 材質: チャート 色調: 灰白(HueY7/1)~灰(Hue5Y5/1)	
229	II区I層	打製石器	石鏃	法量: 2.5cm × 2.55cm × 0.5cm 重量: 2.39g 材質: チャート 色調: 灰白(Hue5Y7/1)~灰(Hue5Y5/1)	
230	B3区I層	打製石器	石鏃	法量: 2.4cm × 1.5cm × 0.3cm 重量: 0.75g 材質: チャート 色調: 灰白(Hue5Y7/1)~灰(Hue5Y4/1)	
231	A6区暗茶褐土	打製石器	石鏃	法量: 2.1cm × 1.9cm × 0.3cm 重量: 0.87g 材質: チャート 色調: 灰(Hue5Y5/1)	
232	C2区I層	打製石器	石鏃	法量: 2.25cm × 2cm × 0.5cm 重量: 1.27g 材質: チャート 色調: 灰(HueN4/0)~灰白(HueN7/0)	
233	B2区I層	打製石器	石鏃	法量: 1.6+ α cm × 1.7cm × 0.4cm 重量: 0.86g 材質: チャート 色調: 明緑灰(Hue7.5GY7/1)~灰(HueN5/0)	
234	C3区	打製石器	石鏃	法量: 2.5cm × 1.7cm × 0.3cm 重量: 0.83g 材質: チャート 色調: 灰(HueN4/0)~灰白(HueN7/0)	
235	SA1	打製石器	石鏃	法量: 2.1cm × 1.5cm × 0.2cm 重量: 0.63g 材質: チャート 色調: 灰(HueN6/0)~暗灰(HueN3/0)	
236	C3区No. 55	打製石器	石鏃	法量: 2.1cm × 1.6cm × 0.3cm 重量: 0.85g 材質: チャート 色調: オリーブ灰(Hue2.5GY6/1)	
237	B3区I層	打製石器	石鏃	法量: 1.5cm × 1.2cm × 0.25cm 重量: 0.31g 材質: 黒曜石 色調: 灰白(Hue5Y7/1)を帯びた透明。	
238	B5区I層	打製石器	石鏃	法量: 1.9cm × 1.4cm × 0.3cm 重量: 0.53g 材質: 安山岩 色調: 灰(Hue7.5Y5/1)	
239	C2区No. 53	打製石器	石鏃	法量: 2.5cm × 2.1cm × 0.5cm 重量: 0.5cm 材質: チャート 色調: 灰(Hue7.5Y6/1)	
240	SA2No.4	打製石器	石鏃	法量: 2.6cm × 1.5cm × 0.3cm 重量: 1.17g 材質: チャート 色調: 灰(HueN4/0)~灰白(HueN7/0)	
241	F5区I層	打製石器	石鏃	法量: 2.4cm × 2.5cm × 0.6cm 重量: 3.10g 材質: チャート 色調: 明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	
242	C3区I層	打製石器	石鏃	法量: 3.2cm × 1.9+ α cm × 0.6cm 重量: 3.08g 材質: チャート 色調: 灰(HueN4/0)	

第15表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表 (その15)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	法量・重量・材料・色調	備考
243	B5区I層	打製石器	石鏃	法量:2.9cm×2.5cm×0.7cm 重量:0.7g 材質:チャート 色調:灰白(Hue5Y7/2)~灰(Hue5Y5/1)	
244	C1区 2次アカホヤ 暗橙褐色土	打製石器	石鏃	法量:1.9cm×1cm×0.2cm 重量:0.49g 材質:チャート 色調:灰白(Hue5Y7/1)	
245	C1区 2次アカホヤ 暗橙褐色土	打製石器	石鏃	法量:3.1cm×2.4cm×0.6cm 重量:4.73g 材質:チャート 色調:灰白(HueN4/0)	
246	SA2No.4	打製石器	石鏃	法量:2.8cm×2cm×0.6cm 重量:2.82g 材質:チャート 色調:灰(HueN6/0)~灰白(HueN7/0)	
247	B3区I層	打製石器	削器	法量:3.6cm×1.6cm×0.6cm 重量:3.27g 材質:黒曜石 色調:黒(HueN2/0)	
248	B2区I層	打製石器	石鏃	法量:4.65cm×1.4cm×1.3cm 重量:5.32g 材質:黒曜石 色調:黒(HueN2/0)	
249	B3区No. 204	磨製石器	磨石	法量:4.8cm×4.9cm×2.8cm 重量:91.84g 材質:頁岩 色調:灰(Hue5Y5/1)	表・裏2面はよく研磨されている。 破損もしくは巧打具として利用 された可能性があり、周縁部に 欠損部数箇所あり。
250	F5区I層	打製石器	横型 石匙	法量:1.3cm×2.3cm×0.5cm 重量:1.28g 材質:黒曜石 色調:黒(HueN2/0)	
251	C3区表土	打製石器	スク レー パー	法量:1.95cm×2.9cm×0.5cm 重量:2.14g 材質:チャート 色調:灰(HueN4/0)~灰(HueN6/0)	石鏃未製品の可能性もある。
252	C2区No. 36 第7号集石遺構	打製石器	スク レー パー	法量:3.1cm×4.45cm×0.9cm 重量:15.41g 材質:チャート 色調:灰(Hue10Y5/1)	
253	B2区No. 75	打製石器	スク レー パー	法量:2.3cm×5.6cm×1.1cm 重量:21.66g 材質:頁岩 色調:灰(HueH4/0)	
254	B3区I層	打製石器	横型 石匙	法量:3.7cm×5.95+ α cm×0.6cm 重量:16.41g 材質:石英片岩 色調:灰(HueN4/1)~褐(Hue7.5YR4/3)	
255	II区トレンチ周辺 I層	打製石器	横型 石匙	法量:3.3cm×5.05+ α cm×0.65cm 重量:12.02g 材質:石英片岩 色調:灰白(hue7.5Y7/1)~灰(Hue7.5Y6/1)	
256	A7区No. 37	打製石器	横型 石匙	法量:4.35cm×5.2cm×0.8cm 重量:15.75g 材質:チャート 色調:灰(HueN5/0)	
257	A4区No. 4	打製石器	横型 石匙	法量:5.6cm×10.8+ α cm×1.6cm 重量:97.99g 材質:砂岩 色調:浅黄(Hue5Y7/3)	
258	B3区No. 48	打製石器	横型 石匙 ?	法量:6.0+ α cm×9.3+ α cm×1.0cm 重量:56.03g 材質:砂岩 色調:灰白(Hue5Y7/2)	実測図では横型石匙として作図したが、取手の ないスクレーパーの可能性もある。
259	A6区No. 29	打製石器	スク レー パー	法量:6.0cm×12.1cm×1.3cm 重量:118.78g 材質:砂岩 色調:灰オリーブ(Hue5Y6/2)	断面形から判断して打製石斧の可能性は少ないと 判断した。

第16表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その16)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	法量・重量・材料・色調	備考
260	A6区NO. 48	打製石器	スクレーパー	法量: 7.8+ α cm × 9.6+ α cm × 1.3cm 重量: 94.96g 材質: 玄武岩 色調: 灰(HueN5/0)~オリーブ灰(Hue2.5GY6/1)	
261	C4区No. 3	打製石器	スクレーパー	法量: 11.2+ α cm × 14.7+ α cm × 2.2cm 重量: 337.55g 材質: サヌカイト 色調: 黄灰(Hue2.5Y4/1)。自然面は浅黄(Hue2.5Y7/3)	
262	A6区No. 5	打製石器	石鎌	法量: 4.8cm × 11.0+ α cm × 1.1cm 重量: 61.09g 材質: 安山岩 色調: 灰(Hue10Y5/1)	高木正文「九州縄文時代の収穫用石器～打製石庖丁と打製石鎌について～」(『鏡山猛先生古記念古文化論攷』1980年によるとId類(直線刃鋭角抉入形)にあたる。
263	B4区No. 52	打製石器	石斧	法量: 15.2cm × 5.8cm × 2.4cm 重量: 212.18g 材質: 砂岩 色調: オリーブ黄(Hue5Y6/3)	
264	D3区1層	打製石器	石斧	法量: 12.1cm × 8.0cm × 2.1cm 重量: 176.37g 材質: 砂岩 色調: オリーブ黄(Hue5Y6/3)	
265	SA2No.4	打製石器	石斧	法量: 10.5+ α cm × 6.3+ α cm × 1.9cm 重量: 161.86g 材質: 砂岩 色調: 灰オリーブ(Hue5Y6/2)	
266	C4区1層	打製石器	石斧	法量: 13.5cm × 9.9cm × 2.4cm 重量: 401.54g 材質: 礫岩 色調: 灰(Hue7.5Y5/1)	
267	SC3	打製石器	石斧	法量: 15.3cm × 12.3+ α cm × 2.5cm 重量: 453.30g 材質: 砂岩 色調: オリーブ灰(Hue10Y6/2)	
268	B3区No. 1	打製石器	石斧	法量: 17.4cm × 11.8cm × 3.4cm 重量: 608.81g 材質: 礫岩 色調: 灰(hueY6/1)に灰(Hue10Y5/1)の粒子を多く含む。	
269	B3区No. 192	磨製石器	石斧	法量: 8.9+ α cm × 4.5cm × 1.6cm 重量: 91.52g 材質: 砂岩 色調: にぶい黄橙(Hue10YR7/2)~灰黄褐(Hue10YR6/2)	
270	A5区No. 4	磨製石器	石斧	法量: 11.9+ α cm × 5.8cm × 3.5cm 重量: 423.77g 材質: 粘板岩 色調: 灰オリーブ(Hue5Y6/2)	刃部欠損。
271	B5区1層	磨製石器	石斧	法量: 10.6+ α cm × 4.7cm × 3.0cm 重量: 242.70g 材質: 砂岩 色調: 灰オリーブ(Hue5Y6/2)	刃部欠損。
272	SA2	磨製石器	石鎌	法量: 4.15cm × 1.8cm × 0.3cm 重量: 2.73g 材質: 流紋岩 色調: 灰(Hue5Y4/1)	
273	SA2	磨製石器	石鎌	法量: 5.3+ α cm × 2.0+ α cm × 0.30cm 重量: 3.68g 材質: 頁岩 色調: 明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	
274	SA2No.4	磨製石器	石鎌	法量: 3.35cm × 1.6cm × 0.2cm 重量: 1.43g 材質: 緑泥片岩 色調: 緑灰(Hue7.5Y6/1)	
275	SA2No.5	磨製石器	石鎌	法量: 3.1cm × 1.4cm × 0.2cm 重量: 1.19g 材質: 緑泥片岩 色調: 明緑灰(Hue7.5Y7/1)~明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	
276	SA2No. 17	磨製石器	砥石	法量: 17.8cm × 5.0cm × 5.5cm 重量: 677.00g 材質: 粘板岩 色調: オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	

第17表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表(その17)

番号	出土層位・遺構	遺物名	器種	法量・孔径・重量・焼成・色調	備考
277	A4区No. 21	土製紡錘車		法量: 5.3cm×5.2cm×0.65cm 孔径: 0.7cm~0.75cm 重量: 24.78g 焼成: 良 色調: 表(土器の裏): にぶい黄橙(Hue10YR7/4) 裏(土器の表): にぶい黄橙(Hue10Yr6/3) 断面: 灰黄褐(Hue10YR6/2)	弥生土器の土器片を加工したもの。

第18表 岩戸五ヶ村遺跡出土遺物観察表 (その18)

図 版

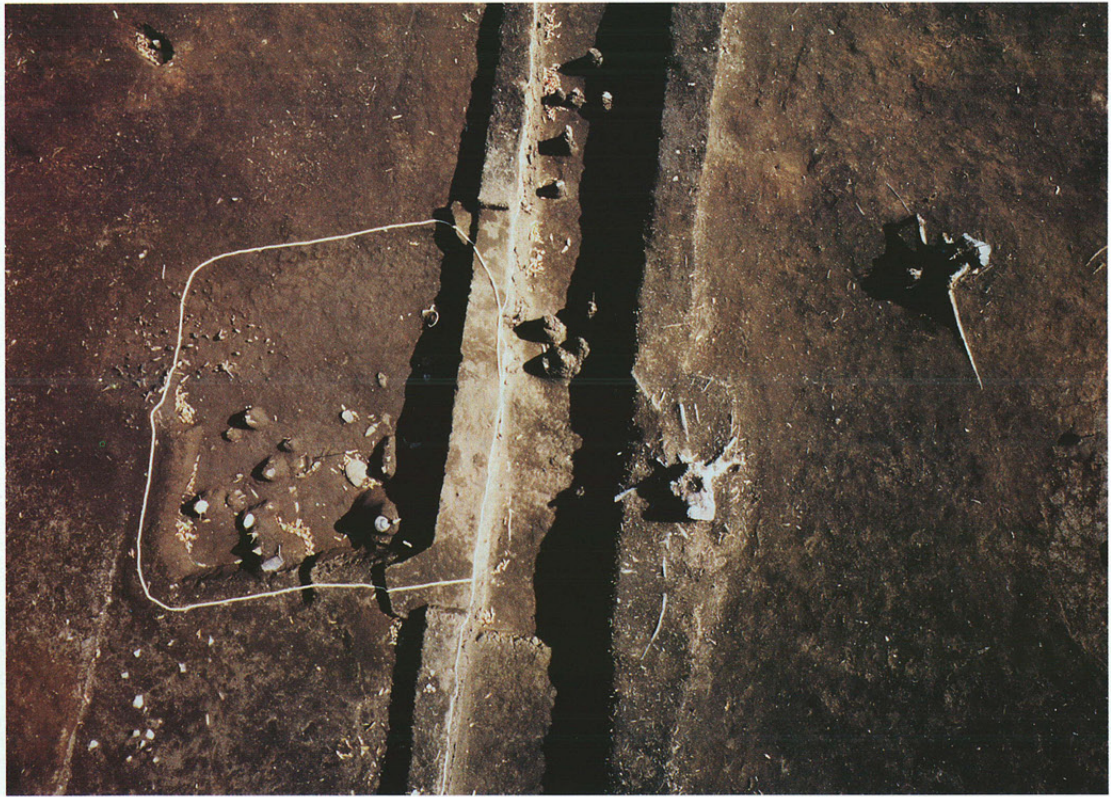
岩戸五ヶ村遺跡



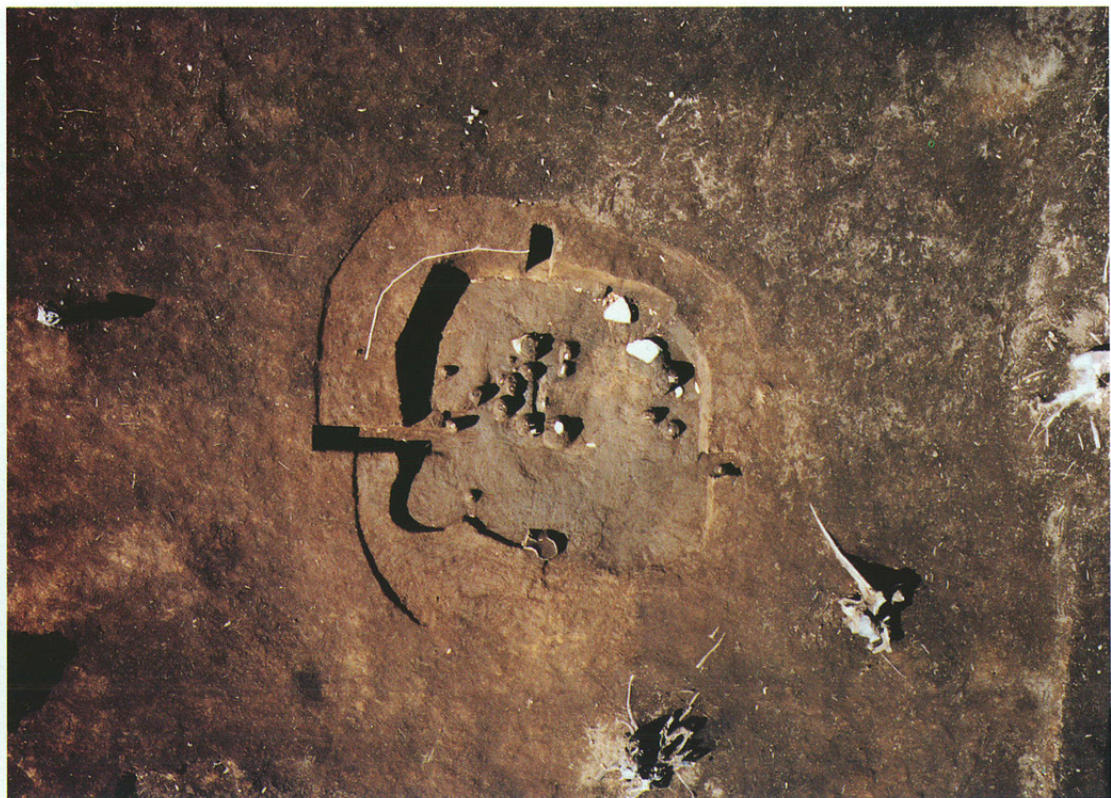
岩戸五ヶ村遺跡空中写真遠景



岩戸五ヶ村遺跡空中写真近景



2号竖穴住居跡 縄文正気堂



1号竖穴住居跡 縄文正気堂



1表



1裏



2表



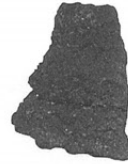
2裏



3表



3裏



4表



4裏



5表



5裏



6表



6裏



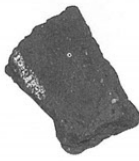
7表



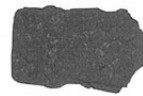
7裏



8表



8裏



9表



9裏



10表



10裏



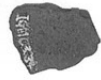
11表



11裏



12表



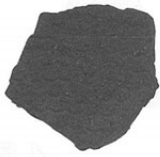
12裏



13表



13裏



14表



14裏



15表



15裏



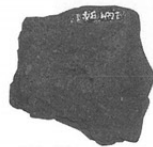
16表



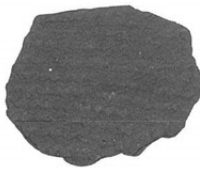
16裏



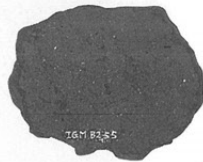
17表



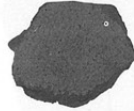
17裏



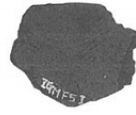
18表



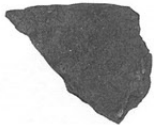
18裏



19表



19裏



20表



20裏



21表



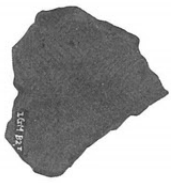
21裏



22表



22裏



23表



23裏



24表



24裏



25表



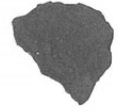
25裏



26表



26裏



27表



27裏



28表



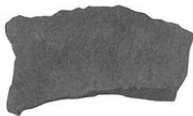
28裏



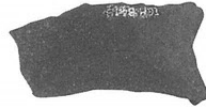
30表



30裏



29表



29裏



32表



32裏



31表



31裏



33表



33裏



34表



34裏



35表



35裏



36表



36裏



37表



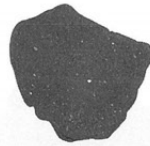
37裏



38表



38裏



39表



39裏



40表



40裏



41表



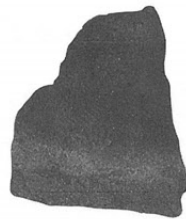
41裏



42表



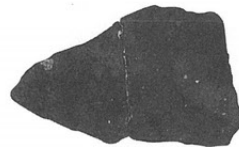
42裏



43表



43裏



44表



44裏



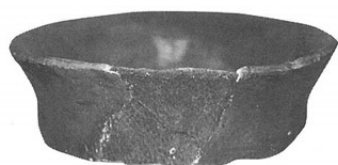
45表

45裏

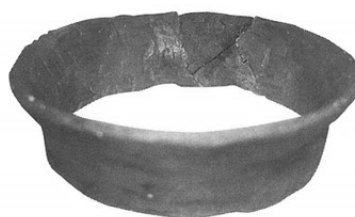


46表

46裏



47表



47裏



48表



48裏



49表



49裏



50表



50裏



51表



51裏



52表



52裏



53表



53裏



54表



54裏



55表



55裏



56表



56裏



57表



57裏



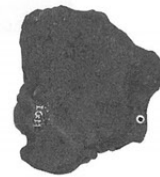
58表



58裏



59裏



59表



60表



60裏



61表



61裏



62表



62裏



63表



63裏



64表



64裏



65表



65裏



66表



66裏



67表



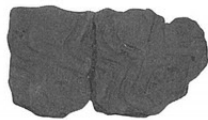
67裏



68表



68裏



69表



69裏



70表



70裏



71表



71裏



72表



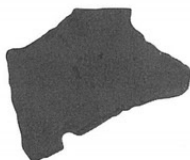
72裏



73表



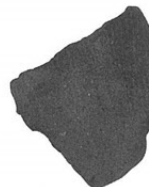
73裏



74表



74裏



75表



75裏



76表



76裏



77表



77裏



78表



78裏



79表



79裏



80表



80裏



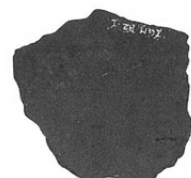
81表



81裏



82表



82裏



83表



83裏



84表



84裏



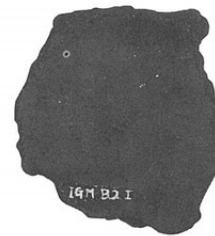
85表



85裏



86表



86裏



87表



87裏



88表



88裏



89表



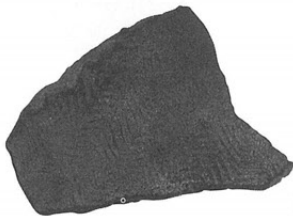
89裏



90表



90裏



91表



91裏



92表



92裏



93表



93裏



94表



94裏



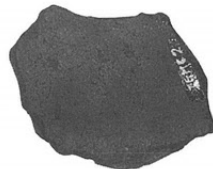
95表



95裏



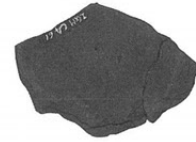
96表



96裏



97表



97裏



98表



98裏



99表



99裏



100表



100裏



101表



101裏



102表



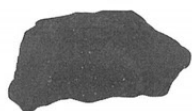
102裏



103表



103裏



104表



104裏



105表



105裏



106表



106裏



107表



107裏



108表



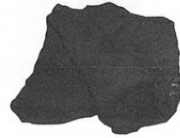
108裏



109表



109裏



110表



110裏



111表



111裏



112表



112裏



113表



113裏



114表



114裏



115表



115裏



116表



116裏



117表



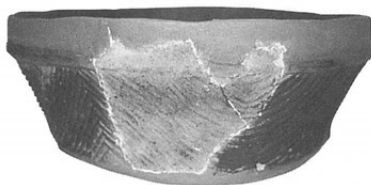
117裏



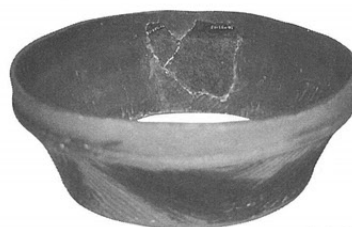
118表



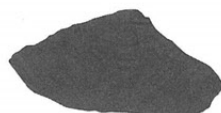
118裏



119表



119裏



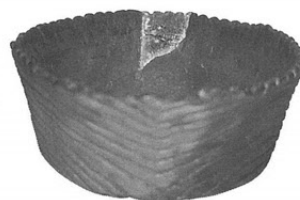
120表



120裏



121表



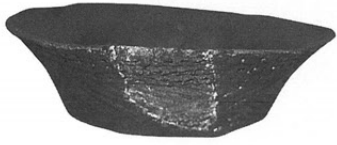
121裏



122表



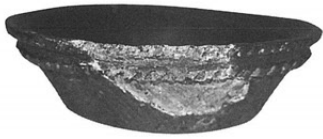
122裏



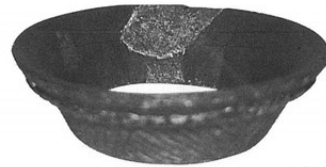
123表



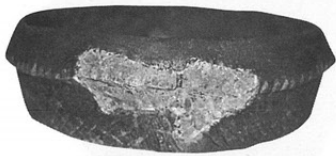
123裏



124表



124裏



125表



125裏



126表



126裏



127表



127裏



128表



128裏



129表



129裏



130表



130裏



131表



131裏



132表



132裏



133表



133裏



135表



135裏



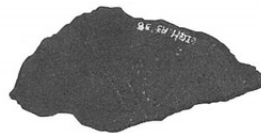
136表



136裏



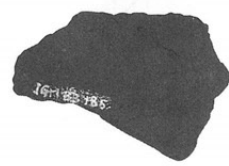
134表



134裏



137表



137裏



138表



138裏



139表



139裏



142表



142裏



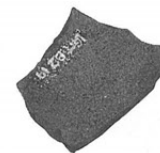
140表



140裏



143表



143裏



141表



141裏



144表



144裏



145表



145裏



146表



146裏



147表



147裏



148表



148裏



149表



149裏



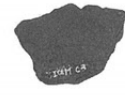
150表



150裏



151表



151裏



152表



152裏



153表



153裏



154表



154裏



155表



155裏



156表



156裏



157表



157裏



158表



158裏



159表



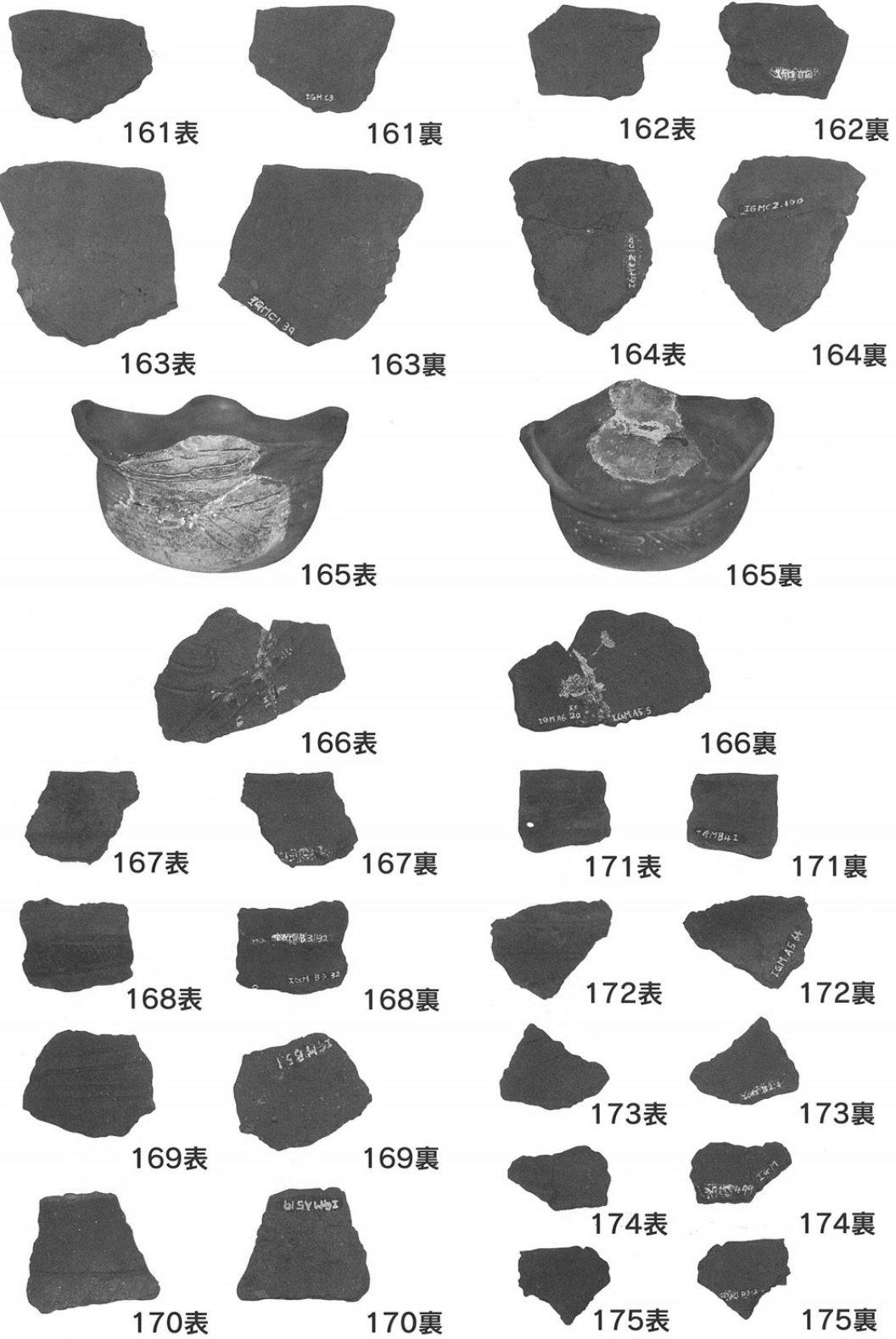
159裏



160表

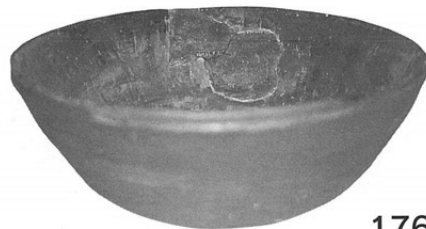


160裏

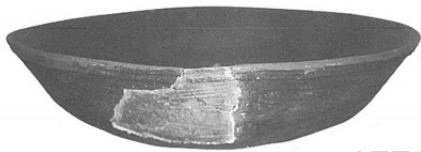




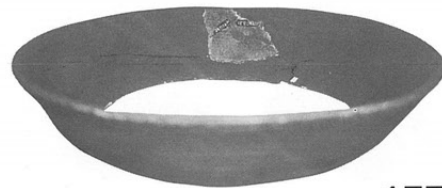
176表



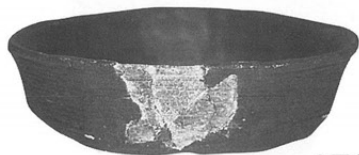
176裏



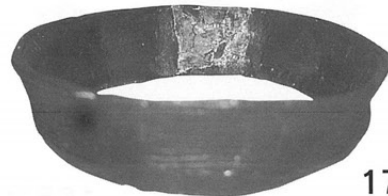
177表



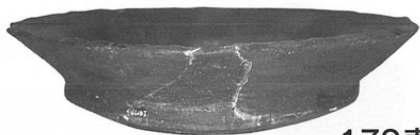
177裏



178表



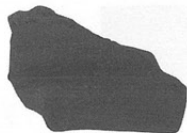
178裏



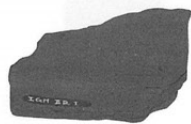
179表



179裏



180表



180裏



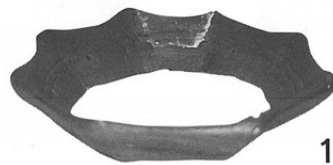
181表



182表



182裏



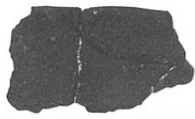
181裏



183表



183裏



184表



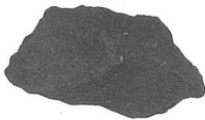
184裏



185表



185裏



186表



186裏



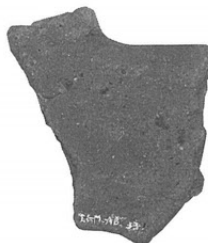
187表



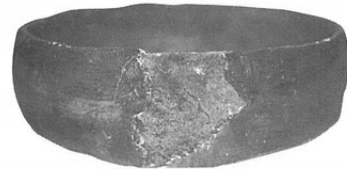
187裏



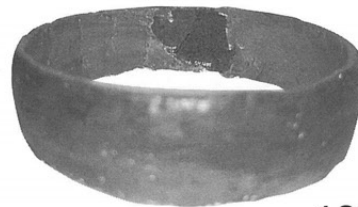
188表



188裏



189表



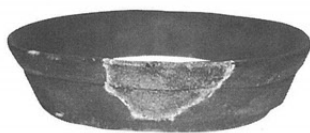
189裏



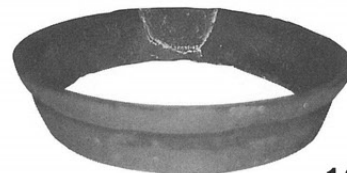
190表



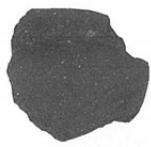
190裏



191表



191裏



192表



192裏



193表



193裏



194表



194裏



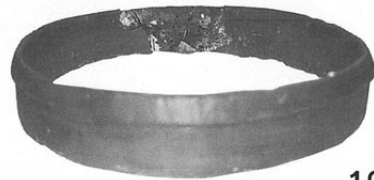
195表



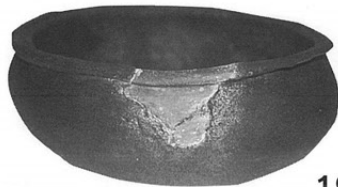
195裏



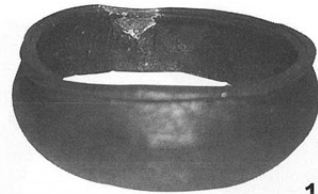
196表



196裏



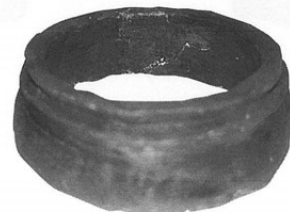
197表



197裏



198表



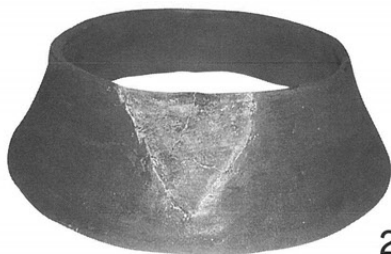
198裏



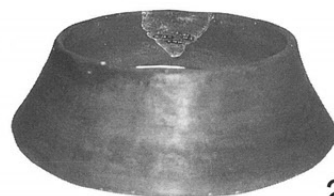
199表



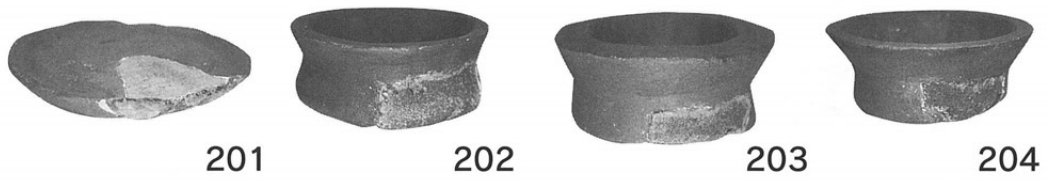
199裏



200表



200裏



201

202

203

204



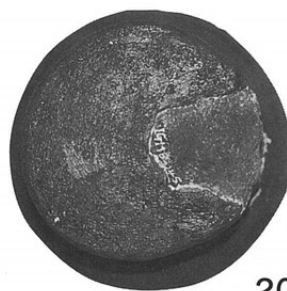
205

206

207



208



208底



209

210

211



212

213

214



215

216

217

217底



218表



218裏



219上



220



221



219



222表



222裏



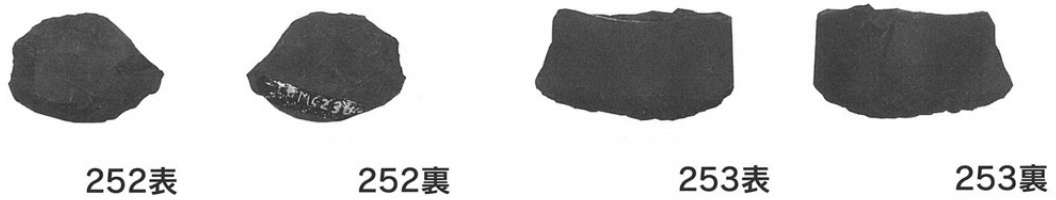
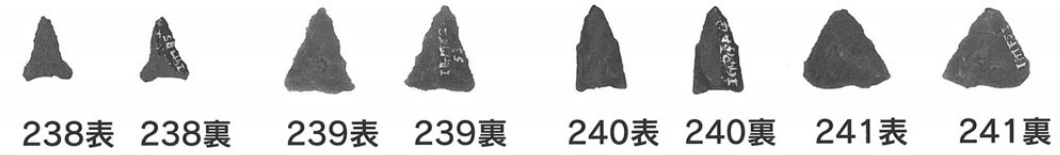
223



224



225





254表



254裏



255表



255裏



256表



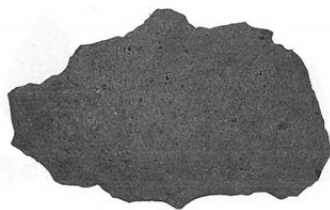
256裏



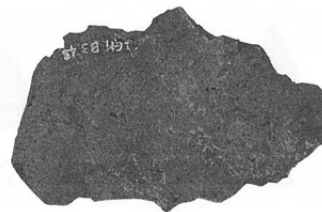
257表



257裏



258表



258裏



259表



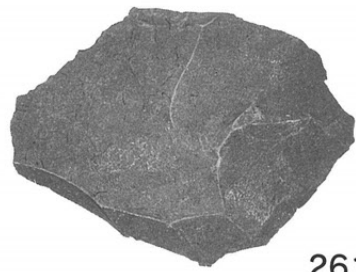
259裏



260表



260裏



261表



261裏



262表



262裏



263表



263裏



264表



264裏



265表



265裏



266表



266裏



267表



267裏



268表



268裏



269表



269裏



270表



270裏



271表



271裏



272表



272裏



273表



273裏



274表



274裏



275表



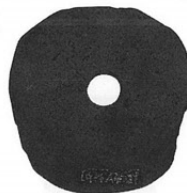
275裏



276表



276裏



277表



277裏

自然遺物編

岩戸五ヶ村遺跡

株式会社 古環境研究所

I. 岩戸五ヶ村遺跡の地質調査およびテフラ検出分析

1. はじめに

高千穂町岩戸五ヶ村遺跡の発掘調査に伴って作成された土層断面について、野外地質調査を行い地質層序を記載するとともに、テフラ検出分析を行ってすでに噴出年代が明らかにされている示標テフラ層の層位の認定を試みた。

2. 地質層序

調査分析の対象とした地点は、深掘トレンチと尾根部の2地点である。深掘トレンチの土層柱状図を図1に示す。ここでは下位より褐色火山灰土(層厚 5 cm以上)、灰色粗粒火山灰土層(層厚 6 cm、試料番号 4)、褐色火山灰土(層厚 6 cm)、風化の進んだ黄白色細粒火山灰層(層厚 11 cm、試料番号 3)、褐色火山灰土(層厚 33 cm)、暗灰色粗粒火山灰層(層厚 0.9 cm、試料番号 2)、褐色火山灰土(層厚 71 cm)、暗褐色火山灰土(層厚 7 cm)、黒褐色火山灰土(層厚 29 cm)、暗褐色火山灰土(層厚 14 cm)、遊離結晶に富む黄色細粒火山灰層(層厚 12 cm、試料番号 1)、ガラス質の褐色火山灰土(層厚 16 cm)、褐色火山灰土(層厚 16 cm)、暗褐色火山灰土(層厚 18 cm)、黒褐色火山灰土(層厚 17 cm)の連続が認められた。

一方尾根部では、褐色火山灰土(層厚 8 cm以上、試料番号 2)の上位に、下位より灰色がかった暗褐色土(層厚 24 cm)、黄色細粒火山灰層(層厚 1.1 cm、試料番号 1)、ガラス質の褐色火山灰土(層厚 9 cm)、暗褐色火山灰土(層厚 9 cm)、暗褐色火山灰土(層厚 8 cm)が認められた。

3. テフラ検出分析

(1) 分析試料と方法

2地点において上述のように採取された試料合計6点を対象に、すでに噴出年代が明らかにされている示標テフラとの同定を行うために、テフラ検出分析を行った。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料 15 g を秤量。
- 2) 超音波洗浄装置により泥分を除去。
- 3) 80 °C で恒温乾燥。
- 4) 実体顕微鏡下で、テフラ粒子の特徴を観察。

(2) 分析結果

テフラ検出分析の結果を表1に示す。深掘トレンチの試料番号4には、最大径 2.1 mm の透明や白色の軽石が比較的多く含まれている。軽石は繊維束状やスポンジ状にあく発泡している。また火山ガラスも多く含まれている。火山ガラスの多くは透明であるが、少量褐色を帯びたものも認められる。平板状のいわゆるバブル型ガラスや繊維束状の軽石型のものも認められる。重鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石のほか角閃石が少量認められる。試料番号3にも火山ガラスが多く含まれている。火山ガラスは透明で、バブル型や繊維束状の軽石型の形態をもつ。重鉱物としては、斜方輝石、単斜輝石、角閃石が認められる。

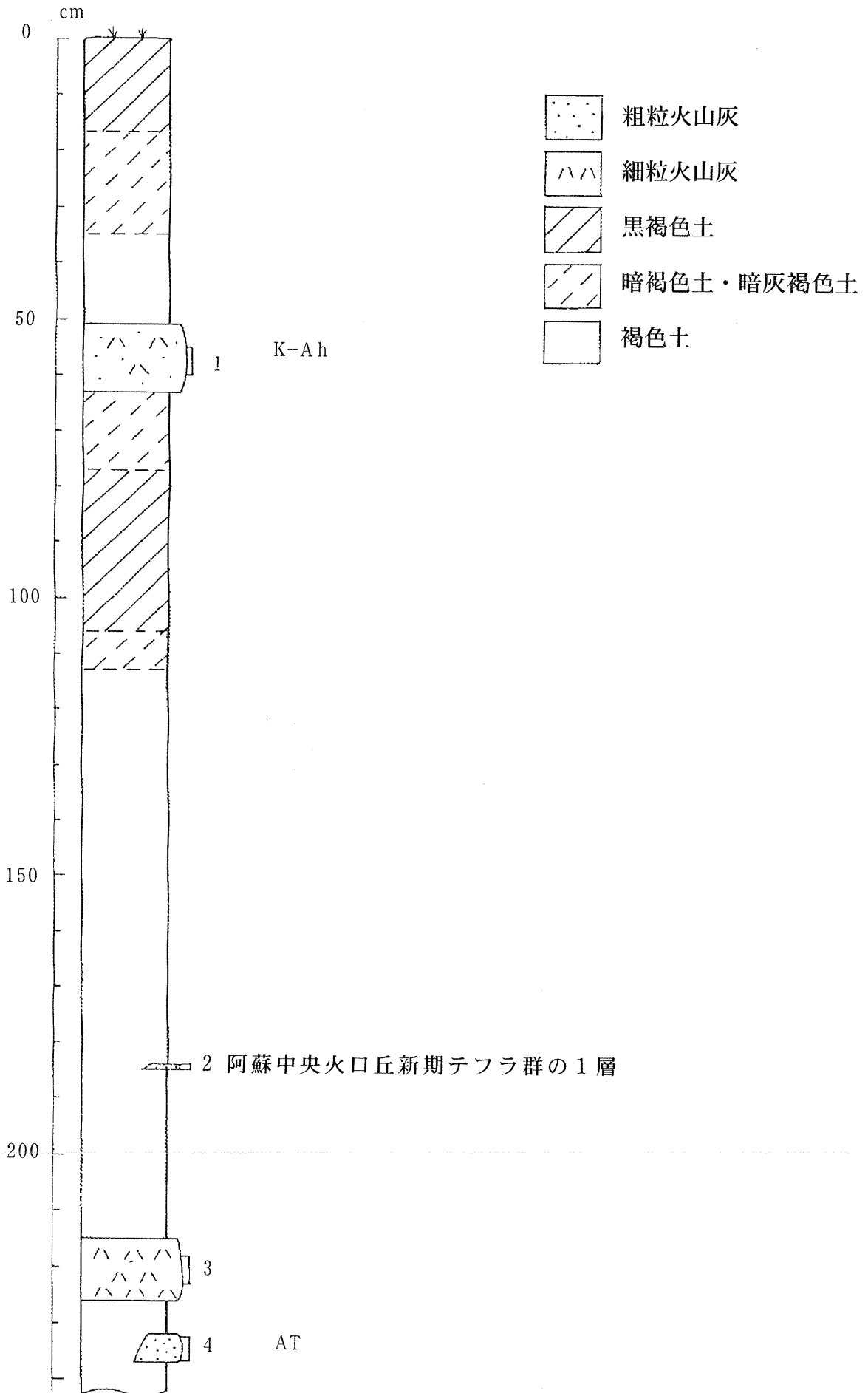


図1 岩戸五ヶ村遺跡深掘トレンチの土層柱状図
数字は、テフラ検出分析の試料番号

深掘トレンチの試料番号2の火山灰には、遊離結晶が多く認められる。ほかに岩片も比較的多い。火山ガラスはごく少量認められる。色調は透明で、バブル型や繊維束状の軽石型が認められる。量が非常に少ないために、この火山ガラスが本質物質である可能性は小さく、何らかの作用により上下の土層から混入した可能性が大きいと思われる。重鉱物としては斜方輝石、単斜輝石、カンラン石、角閃石が認められる。

試料番号1には、非常に多くの火山ガラスが認められる。とくに粗大(最大径0.9mm)のものは白色で繊維束状やスポンジ状に発泡した軽石型である。比較的細粒のものには、バブル型ガラスが多い。色調は透明や淡褐色である。淡褐色のガラスのうち、厚い部分の色調はとくに濃い。

尾根部の試料番号2の土層には、火山ガラスが比較的多く認められる。淡褐色や透明のバブル型ガラスに富むが、前者の量の方が後者よりも多い。この点で、深掘トレンチの試料番号1に含まれる火山ガラスとは特徴を異にする。一方、試料番号1の火山灰層には、非常に多くの火山ガラスが認められる。とくに粗粒(最大径0.9mm)のものは白色で繊維束状やスポンジ状に発泡した軽石型である。比較的細粒なものには、バブル型ガラスが多い。色調は透明や淡褐色である。淡褐色のガラスのうち厚い部分の色調はとくに濃い。

4. 考察

岩戸五ヶ村遺跡においてテフラ検出分析の対象とした試料のうち、とくに深掘トレンチの試料番号4、2、1および尾根部の試料番号1については、示標テフラ層に同定される可能性が大きいと考えられる。

深掘トレンチの試料番号4は、透明のバブル型火山ガラスに富むこと、重鉱物とくに斜方輝石や単斜輝石を比較的多く、また角閃石をわずかに含むことなどから約2.1~2.5万年前に始良カルデラから噴出した広域テフラ、始良Tn火山灰(AT, 町田・新井, 1976, 町田・新井, 1992)に同定される可能性が大きい。また試料番号2はその層相などから、阿蘇火山中央火口丘から噴出した阿蘇中央火口丘新时期テフラ群(町田・新井, 1992)のうち、AT上位のテフラの可能性が考えられる。ただし、阿蘇中央火口丘新时期テフラ群の層序や分布については、まだ不明な点が多い。阿蘇カルデラや高千穂地域での今後の重要課題の一つである。

試料番号1については、その層位や層相さらに含まれる火山ガラスの特徴などから、約6,300年前に鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah, 町田・新井, 1978)に同定される。尾根部の試料番号1についても、火山ガラスの特徴などから鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah, 町田・新井, 1978)に同定されよう。このことは尾根部の試料番号2に認められるバブル型ガラスの特徴が、K-Ahよりもむしろ約8万年前に阿蘇カルデラから噴出した阿蘇4火山灰(Aso-4, 町田ほか, 1985, 町田・新井, 1985)に由来すると思われる火山ガラスが多く検出されており、この土層がK-Ahより下位にあると考えられていることなどからも支持されよう。

なお試料番号3については、火山ガラスが多く含まれることや火山ガラスの色調さらにその形態などの特徴かがATに極似している。いわゆるATの噴火は、これまでの研究で大隈降下軽石の噴出、妻屋火砕流の発生、入戸火砕流の発生と続いたと考えられている。そしてATは入戸火砕流の上部の火山灰に由来する降下テフラと考えられている。(町田・新井, 1976, 1992)。さらにこれらのテフラの間には土壌など時間間隙を示すものがみとめられないことから、若干妻戸火砕流と入戸火砕流の間にわずかな時間間隙があったとされてはいるものの、長い時間間隙はなかったと考えられている(町田・新井, 1992)。このことかが

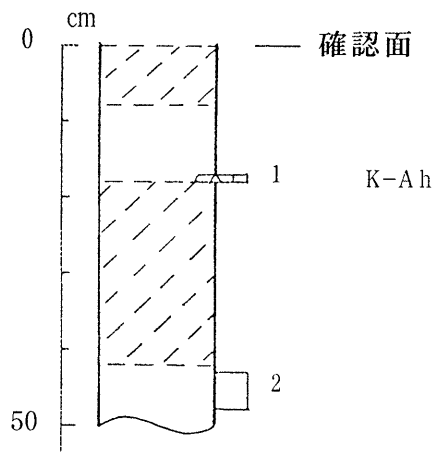


図2 岩戸五ヶ村遺跡尾根部の土層柱状図
数字は、テフラ検出分析の試料番号

事実とするならば、試料番号3は二次堆積の火山灰ということになる。しかし最近の研究ではいわゆるATは少なくとも3層に区分されることも明らかにされており(町田・新井,1992)、実際はかなり複雑なようである。このためATについてのさらに詳細な研究が必要となっている。今後、比較的入戸火砕流堆積物の層厚が薄い宮崎県中部さらに宮崎県北部での、ATについての詳細な研究が期待される。

5. まとめ

岩戸五ヶ村遺跡において地質調査とテフラ検出分析を併せて行った。その結果、下位より始良Tn火山灰(AT, 約2.1~2.5万年前)、阿蘇火山中央丘起源のテフラ、そして鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah, 約6,300年前)の3層の示標テフラが検出された。ATとK-Ahの2層はすでに宮崎県下の多くの遺跡で確認されているが、阿蘇火山中央火口丘起源のテフラの検出は初めてと思われる。このことは、宮崎県北地域でのテフラを利用した編年学的研究がより詳細に展開できること、また熊本県東部ならびに大分県西部地域での同一時間軸を利用した研究の可能性を示唆するものである。宮崎県北部では、ATやK-Ahだけでなく阿蘇火山起源のテフラも視野に入れた火山灰編年学の展開が必要な段階を迎えている。

《文献》

町田洋・新井房夫(1976)広域に分布する火山灰～始良Tn火山灰の発見とその意義～, 科学, 46, p339~347.

町田洋・新井房夫(1978)南九州鬼界カルデラから噴出した広域テフラ～アカホヤ火山灰, 第四紀研究, 17, p143~163.

町田洋・新井房夫(1992)火山灰アトラス, 東京大学出版会, p276.

町田洋・新井房夫・百瀬貢(1985)阿蘇4火山灰～分布の広域性と後期更新世示標層としての意義～. 火山, 30, p.49~70.

表1 岩戸五ヶ村遺跡のテフラ検出分析結果

地点	試料	軽石			火山ガラス		
		量	色調	最大径	量	色調	形態
深掘	1	—	—	—	++++	白, 透明, 淡褐	bw > pm
	2	—	—	—	+	透明	pm > bw
	3	—	—	—	+++	透明	bw > pm
	4	++	透明, 白	2.1	+++	透明	bw > pm
尾根部	1	—	—	—	++++	白, 透明, 淡褐	bw > pm
	2	—	—	—	++	淡褐 > 透明	bw > pm

++++:とくに多い, +++F13:多い, ++:中程度, +:少ない, -:認められない。最大径の単位は、m。

bw:バルブ型ガラス, pm:軽石型ガラス。

II. 岩戸五ヶ村遺跡の植物珪酸体分析

1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸(SiO_2)が蓄積したものであり、植物が枯れた後も微化石(プラント・オパール)となって土壤中に半永久的に残っている。この微化石は植物により様々な形態的特徴を持っていることから、土壤中暗部から検出してその組成や量を明らかにすることで過去の植生環境を復元することができる(杉山, 1987)。

ここでは、岩戸五ヶ村遺跡の試料について植物珪酸体分析を行い、イネ科栽培植物の検討および遺跡周辺の高植生・古環境の推定を試みた。

2. 試料

試料は、深掘トレンチの現表土(試料1)から始良Tn火山灰(AT, 約2.1~2.5万年前)直下層(試料21)までの層準について、計21点が採取された。採取層準の詳細については第I章を参照されたい。

3. 分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法(藤原, 1976)をもとに次の手順で行った。

- 1) 試料の絶乾($105^\circ\text{C}\cdot 24$ 時間)
- 2) 試料約1gを秤量、ガラスビーズ添加(直径約 $40\mu\text{m}$ 、約0.02g)
※電子分析天秤により1万分の1gの精度で秤量
- 3) 電気炉灰化法による脱有機物処理
- 4) 超音波による分散($300\text{W}\cdot 42\text{kHz}\cdot 10$ 分間)
- 5) 沈底法による微粒子($20\mu\text{m}$ 以下)除去、乾燥
- 6) 封入剤(オイキット)中に分散、プレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体をおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、この値に試料の仮比重(1.0と仮定)と各植物の換算係数(機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位 10^{-5}g)をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物珪酸体生産量を算出した。換算係数は、イネは赤米、キビ族はヒエ、ウシクサ族はススキの値を用いた。その値はそれぞれ2.94(種実重は1.03)、8.40、1.24である。タケ亜科については数種の平均値を用いた。ネザサ節の値は0.48、クマザサ属は0.75である。

4. 分析結果

分析試料から検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を表1、表2および図1に示した。写真図版に主要な顕微鏡写真を示す。

[イネ科]

イネ、キビ族(ヒエ属など)、ウシクサ族(ススキ属やチガヤ属など)、キビ族型、ウシクサ族型、ネザサ属型(おもにメダケ属ネザサ節)、クマザサ属型(おもにクマザサ属)、メダケ節型(メダケ属メダケ節・リュウキュウチク節、ヤダケ属)、未分類のタケ亜科、表皮毛起源、棒状珪酸体、茎部起源、未分類等

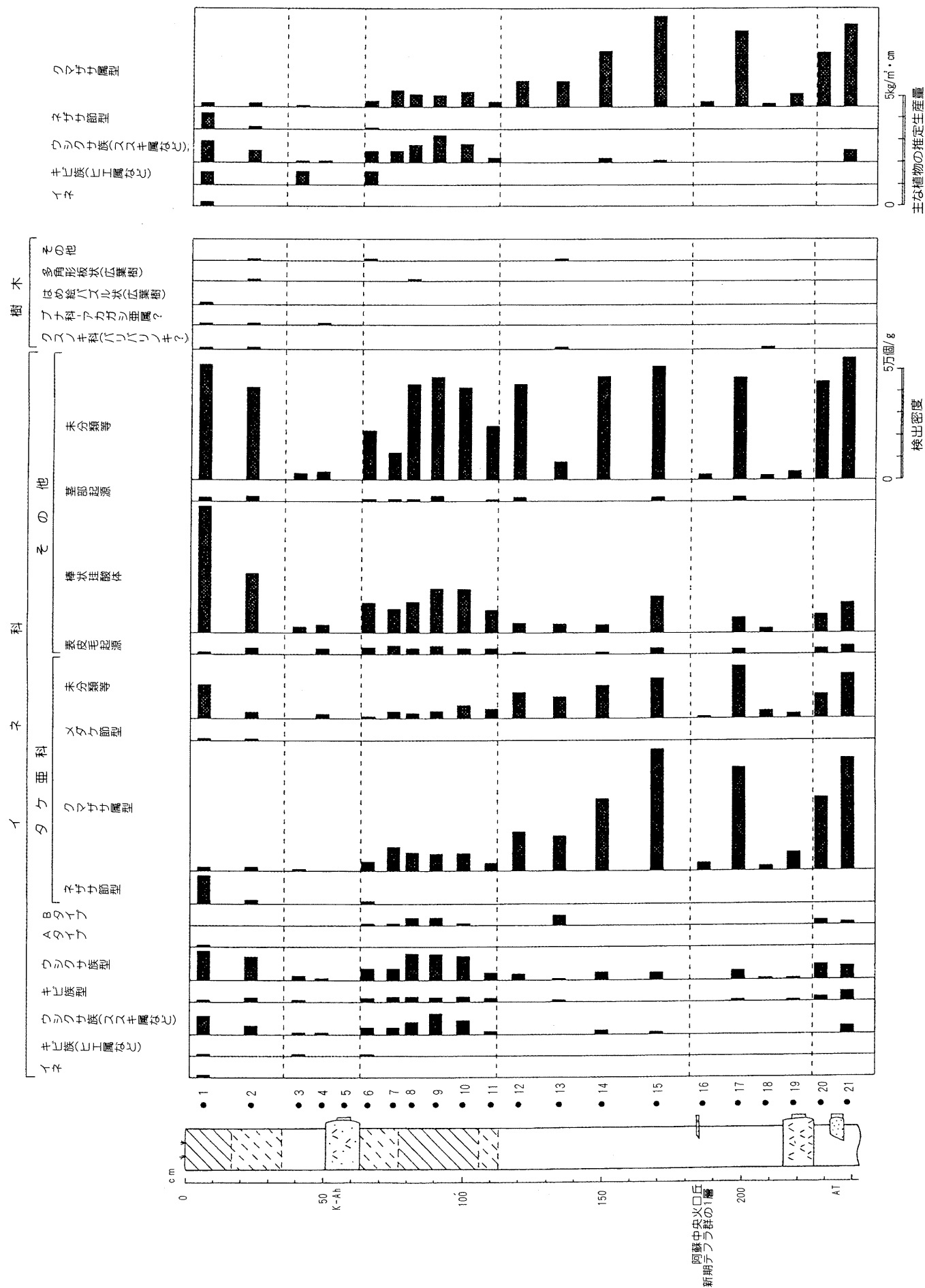


図1 宮崎県高千穂町、岩戸ヶ村遺跡深掘トレンチにおける植物珪酸体分析結果

〔樹木〕

クスノキ科(バリバリノキ?)、ブナ科(アカガシ亜属?)、はめ絵パズル状(広葉樹)、多角形板状(広葉樹)、その他

分析の結果、AT(約2.1～2.5万年前)の前後層(試料20、21)では、クマザサ属型が多量に検出され、ウシクサ族(ススキ属など)やウシクサ族型、キビ属型、イネ科Bタイプなども少量検出された。クマザサ属型はとくにAT直下層で多く検出され、密度は5万個/g以上にも達している。

ATより上位の褐色土層(試料12～18)でも、ほとんどの層準でクマザサ属型が多量に検出された。その他の分類群では、部分的にはウシクサ族型やキビ族型などが検出されたが、いずれも少量である。試料18や試料16では、検出される植物珪酸体の量が極端に少なくなっているが、これはその前後に堆積したテフラ層の影響と考えられる。クマザサ属型、阿蘇火山中央火口丘起源のテフラ直上で最も多くなっているが、その上位層ではしだいに減少している。なお、試料18と試料13ではクスノキ科(バリバリノキ?)が検出された。

鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah, 約6,300年前)より下位の黒ボク土層(試料6～11)では、クマザサ属型はさらに減少し、比較的少量となっている。同層準ではウシクサ族(ススキ属など)やウシクサ族型が比較的多く検出され、キビ族型やイネ科Bタイプなども見られた。なお、K-Ah直下層(試料6)ではキビ族も少量検出された。

K-Ah直上層(試料3、4)では、ウシクサ族(ススキ属など)やウシクサ族型などが検出されたが、いずれも少量である。なお、試料3ではキビ族が少量検出され、試料4ではブナ科(アカガシ亜属?)も見られた。

現表土(試料1)およびその下層(試料2)では、ウシクサ族(ススキ属など)やウシクサ族型が比較的多く検出され、試料1ではネザサ節型も比較的多く見られた。また、メダケ節型やクスノキ科(バリバリノキ?)、ブナ科(アカガシ亜属?)なども少量検出された。なお、試料1ではイネおよびキビ族が少量検出された。

おもな分類群の植物体量の推定値(表2)によると、下位の褐色土層ではおおむねクマザサ属型が卓越しているが、黒ボク土層ではウシクサ族(ススキ属など)が優勢となっていることが分かる。

5. 考察

以上の結果から、岩戸五ヶ村遺跡における堆積当時の植生と環境について推定すると次のようである。

AT(約2.1～2.5万年前)前後層の堆積当時は、クマザサ属を主体とするイネ科植生であり、ススキ属やチガヤ属などもある程度生育していたものと推定される。ATよりも上位の褐色土層の堆積当時は、クマザサ属が卓越するイネ科植生が継続されたものと考えられ、その他の分類群はあまり見られなかったものと推定される。クマザサ属は比較的寒冷な気候環境で推移したものと推測される。

K-Ah(約6,300年前)より下位の黒ボク土層では、クマザサ属はあまり見られなくなり、かわってススキ属やチガヤ属は日当たりの悪い森林の林床では生育が困難である。このことから、当時の遺跡周辺は森林で覆われたような状態ではなく比較的開かれた環境であったものと推定される。

このような植生変化は、関東周辺および県内の調査例でも認められており(杉山ほか, 1992、佐瀬ほか,

1987)、いずれも約1万年前を境にクマザサ属主体のイネ科植生からネザサ節・ススキ属を主体とする草原植生に移行している。今回の結果もこれと対応しているものと考えられるが、ネザサ節がほとんど見られないことなどの点で異なっており、当時の植生環境の地域的な変遷を考える上で注目される。

その後、K-Ah層の堆積によって一時的にイネ科植生から破壊されたものと考えられるが、ススキ属などは比較的早い時期に再生したものと推定される。現表土およびその下層の堆積当時は、ススキ属やチガヤ属、ネザサ節を主体としてメダケ節なども見られるイネ科植生であったものと考えられ、周辺ではクスノキ科(バリバリノキ?)やブナ科(アカガシ亜属?)などの照葉樹もある程度生育していたものと推定される。現表土では稲作が行われていたものと考えられるが、遺跡の立地や周辺の植生からここで行われた稲作は畑作の系統、陸稲、であったものと推定される。

現表土やK-Ah前後層ではキビ族が検出された。キビ族にはヒエやアワ、キビなどの栽培種が含まれるが、現時点ではこれらの栽培種とイヌビエやエノコログサなどの野・雑草とを完全に識別するには至っていない(杉山ほか, 1988)。また、密度も1,000個/g未満と低い値であることから、これらの層準でヒエなどのキビ族植物が栽培されていた可能性は考えられるものの、イヌビエなどの野・雑草に由来するものである可能性も否定できない。

植物珪酸体分析で同定される分類群のうち栽培植物が含まれるものには、上記のイネやキビ族以外にも、オオムギ族(ムギ族が含まれる)、ジュズダマ族(ハトムギが含まれる)、オヒシバ属(シコクビエが含まれる)、モロコシ属、トウモロコシ属などがあるが、これらの分類群はいずれの試料からも検出されなかった。

遺跡周辺に多く生育していたと考えられるクマザサ属やススキ属、チガヤ属などのイネ科植物は、その有用性から燃料や道具、住居の屋根材や建築材、敷物などとして盛んに利用されていたものと考えられる。特に笹類は鹿などの草食動物の食料としても重要であったものと考えられる。

《参考文献》

佐瀬隆・細野衛・宇津川徹・加藤定男・駒村正治(1987)武蔵野台地成増における関東ローム層の植物珪酸体分析。第四紀研究, 26: p. 11.

杉山真二(1987)遺跡調査におけるプラント・オパール分析の現状と問題点。植生史研究, 第2号: p. 27 ~ 37

杉山真二(1987)タケ亜科植物の機動細胞珪酸体。富士竹類植物園報告, 第31号: p. 70 ~ 83.

杉山真二・松田隆二・藤原宏志(1988)機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用。古代農耕追究のための基礎資料として。考古学と自然科学, 20: p. 81. ~ 92.

杉山真二・前原豊・大工原豊(1992)植物珪酸体(プラント・オパール)分析による遺跡周辺の古環境推定。日本文化財科学会第9回大会研究発表要旨集, p. 14 ~ 15.

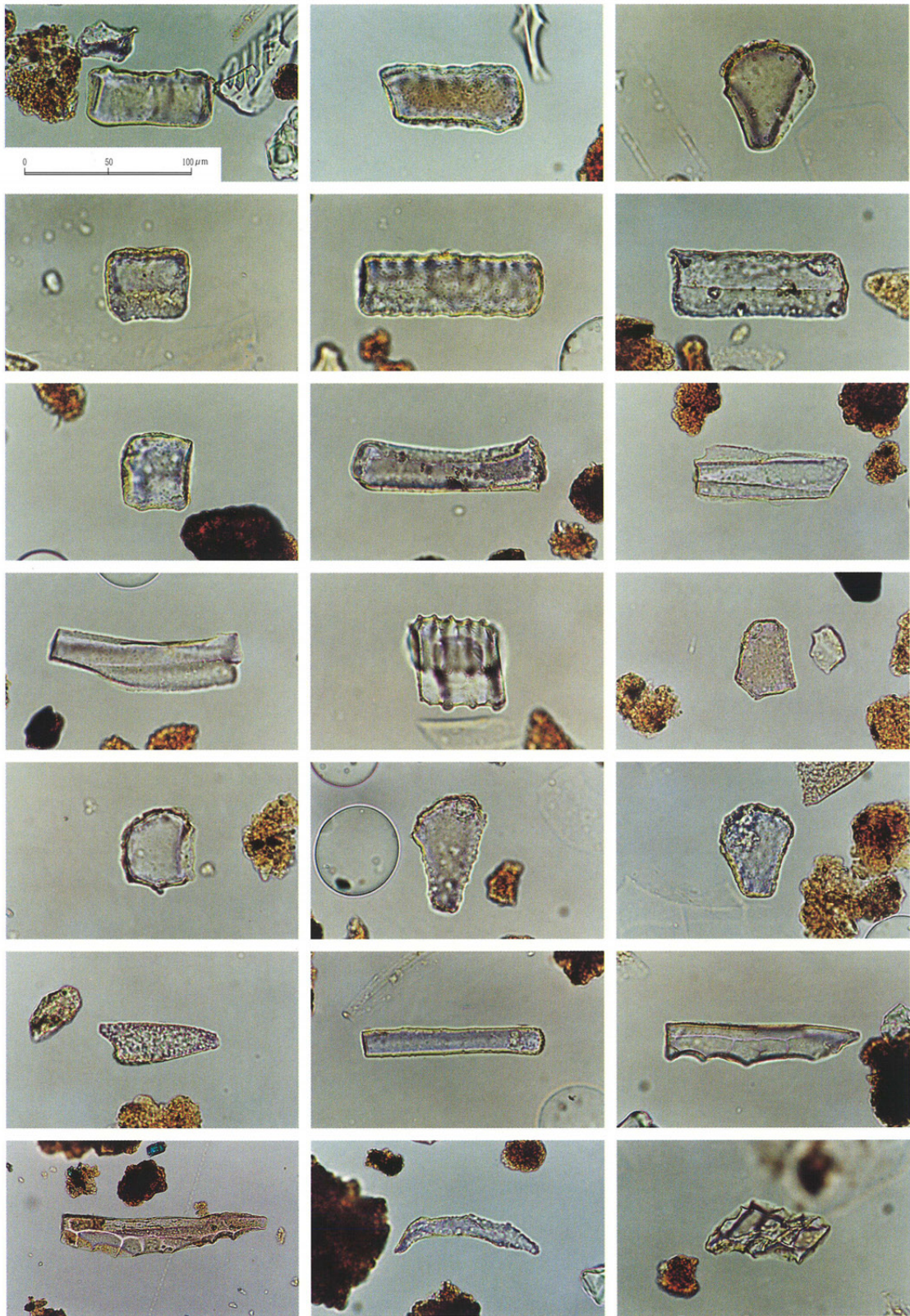
藤原宏志(1976)プラント・オパール分析の基礎的研究(1)―数種イネ科栽培植物の珪酸体標本の定量分析法―。考古学と自然科学, 9: p. 15 ~ 29.

藤原宏志(1979)プラント・オパール分析の基礎的研究(3)―福岡・板付遺跡(夜臼式)水田および群馬・日高遺跡(弥生時代)水田におけるイネ(*O. sativa* L.)生産総量の推定―。考古学と自然科学, , 12: p. 29 ~ 41.

近藤鍊三・ピアスン友子(1981)樹木葉のケイ酸体に関する研究(第2報)―双子葉被子植物木葉の植物ケイ酸体について―。帯広畜産大学研究報, 12: p. 217 ~ 229.

植物珪酸体の顕微鏡写真(倍率はすべて400倍)

No.	分類群	試料名
1	キビ族(ヒエ属など)	1
2	キビ族(ヒエ属など)	3
3	ウシクサ族(ススキ属など)	2
4	ウシクサ族(ススキ属など)	2 1
5	キビ族型	1 0
6	キビ族型	2 1
7	ウシクサ族型	8
8	Aタイプ	1
9	Bタイプ(茎部起源?)	9
1 0	Bタイプ(茎部起源?)	7
1 1	ネザサ節型	1
1 2	クマザサ属型	1 4
1 3	クマザサ属型	2 1
1 4	メダケ節型	1
1 5	タケ亜科(不明)	2 1
1 6	表皮毛起源	1 5
1 7	棒状珪酸体	6
1 8	クスノキ科(バリバリノキ?)	1
1 9	クスノキ科(バリバリノキ?)	1 8
2 0	ブナ科-アカガシ亜属?	1
2 1	モクレン科?	6



プラントオパール写真(左上から1.2.3...右下が21)

報告書抄録

ふりがな	いわとごかむらいせき							
書名	岩戸五ヶ村遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	高千穂町文化財調査報告書							
シリーズ番号	第12集							
編著者名	竹井(旧姓:戸高)真知子・緒方俊輔・早田勉・杉山真二							
編集機関	高千穂町教育委員会							
所在地	〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13番地 Tel.0982-73-1205							
発行年月日	西暦2000年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		m ²	
いわとごかむらいせき 岩戸五ヶ村遺跡	みやざきけん 宮崎県 にしうすきぐん 西臼杵郡 たかちほちよう 高千穂町 おおあざいわと 大字岩戸 あざさいばる 字才原	45441		32° 43' 19"	132° 20' 50"	19920720 ? 19921124	5,500	町営「天 岩戸温泉 館」建設 に伴う事 前調査。
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
岩戸五ヶ村遺跡	集落	縄文時代早期 弥生時代後期	集石遺構 竪穴住居跡	縄文土器(押型文) 石器 弥生土器 把手付小型壺 工字突帯甕		畿内第IV様式 大野川上流域		

高千穂町文化財調査報告書第12集
岩戸五ヶ村遺跡
 【編集・発行】
 〒882-1192 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13番地
 高千穂町教育委員会 社会教育課 文化財係
 【印刷】
 〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井721番地
 川辺印刷所
 【発行年月日】
 平成12(西暦2000)年3月31日

